

## 第3章

# アンケート調査結果

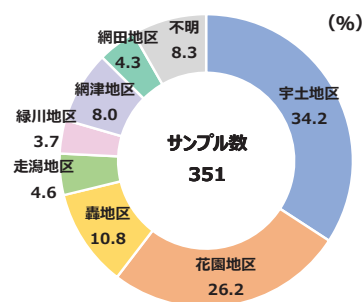
## 3-1 市民アンケート調査

### (1) 調査結果概要

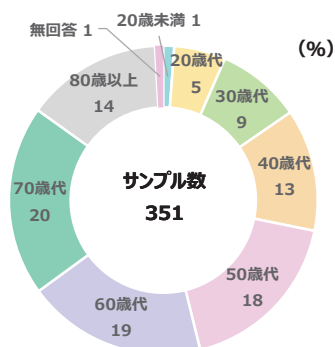
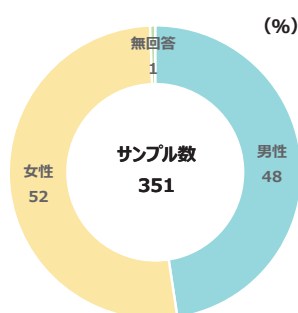
|         |                                                                                                                                                                                       |
|---------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 調査対象    | <b>■地域住民（18 歳以上）</b><br><b>■配布数：1,000 世帯（人）</b><br>1 世帯当たり世帯票 1 票,個人票 1 票<br>※調査対象は,地区毎の居住者の年齢構成に配慮の上で無作為抽出<br><b>■回収実績：351 票（回収率 35.1%）</b>                                          |
| 配布・回収方法 | <b>■郵送による配布・回収</b>                                                                                                                                                                    |
| 調査方法    | <b>■調査票への記入式</b>                                                                                                                                                                      |
| 調査期間    | <b>■令和 3 年 8 月 20 日（金）～9 月 5 日（日）</b>                                                                                                                                                 |
| 調査内容    | <b>■世帯票</b><br>・世帯構成員,世帯構成員の属性（性別,年齢,職業,免許保有状況など）<br>・日常の行動特性<br><b>■個人票</b><br>・属性（性別,年齢,職業,自動車保有状況など）<br>・運転免許証について<br>・日常の交通行動<br>・地域公共交通の利用状況,利用する・しない理由,ニーズ,<br>今後の利用意向,協力の意向 など |

#### 〔世帯票〕

|      | 配布数   | サンプル数 | 回収率（%） |
|------|-------|-------|--------|
| 宇土地区 | 359   | 120   | 33.4   |
| 花園地区 | 276   | 92    | 33.3   |
| 轟地区  | 85    | 38    | 44.7   |
| 走潟地区 | 56    | 16    | 28.6   |
| 緑川地区 | 58    | 13    | 22.4   |
| 網津地区 | 85    | 28    | 32.9   |
| 網田地区 | 81    | 15    | 18.5   |
| 不明   |       | 29    | -      |
| 合計   | 1,000 | 351   | 35.1   |



#### 〔個人票〕



## (2) 世帯構成の状況(世帯票より)

- 世帯構成人員は、全体では 1 人世帯が約 2 割、2 人世帯が約 3 割となっています。
- 地区別では、走潟地区や緑川地区、網津地区、網田地区といった市街地から離れている地区で 1 人世帯が多い状況です。
- なお、世帯構成を見ると、緑川地区や網津地区などにおいて高齢者単独世帯（60 歳以上の単独世帯）が約 2 割を占める状況です。
- 全体的に、高齢者夫婦世帯や高齢者単独世帯は約 3 割となっています。

図 世帯構成人員

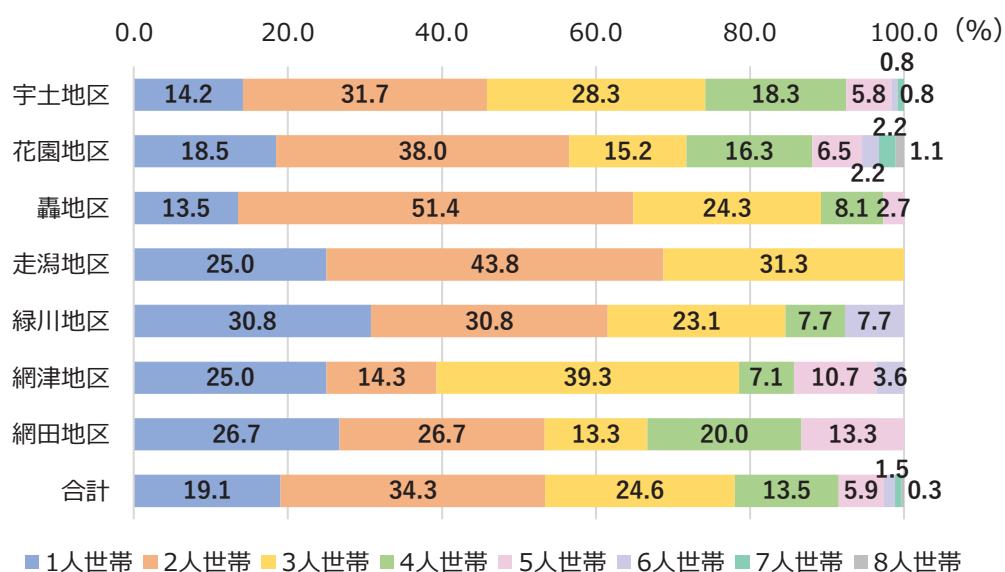
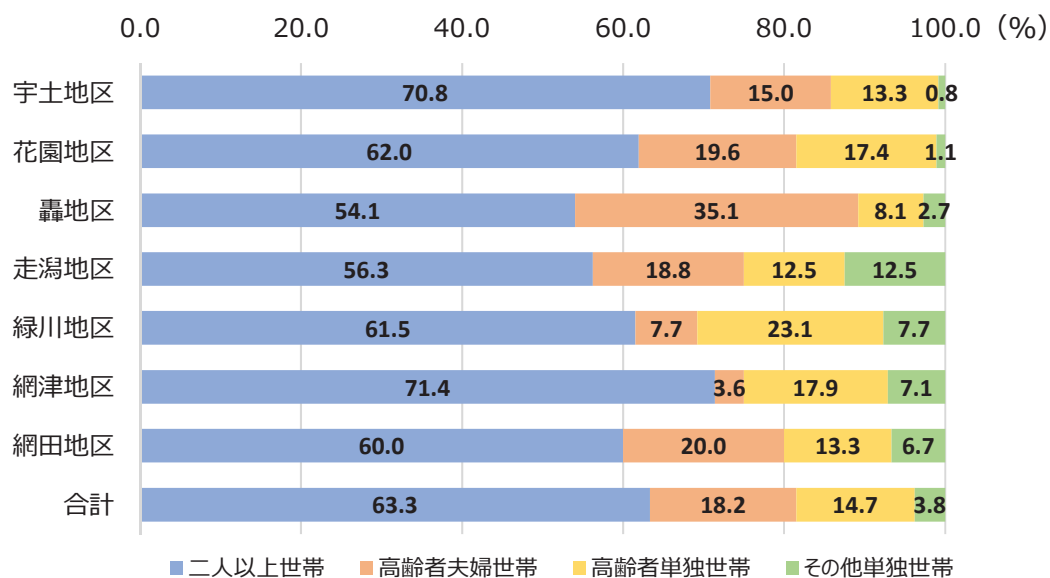


図 世帯構成



### (3) 世帯構成員の状況(世帯票より)

- 運転免許証の保有状況は、全体で約 8 割が保有している状況ですが、残り 2 割は保有していない状況です。
- 特に、宇土地区や花園地区、轟地区では未保有者が約 2 割と多くっており、市街地部に近いこと、家族などの送迎があること、公共交通が比較的充実していることなどが影響していることがうかがえます。
- 外出頻度は、全体で約 7 割がほぼ毎日（1 週間ほぼ毎日＋平日ほぼ毎日）外出している状況であり、地区によって大きな違いは見られませんが、緑川地区と網津地区で若干外出頻度が低い状況にあります。

図 運転免許証の保有状況

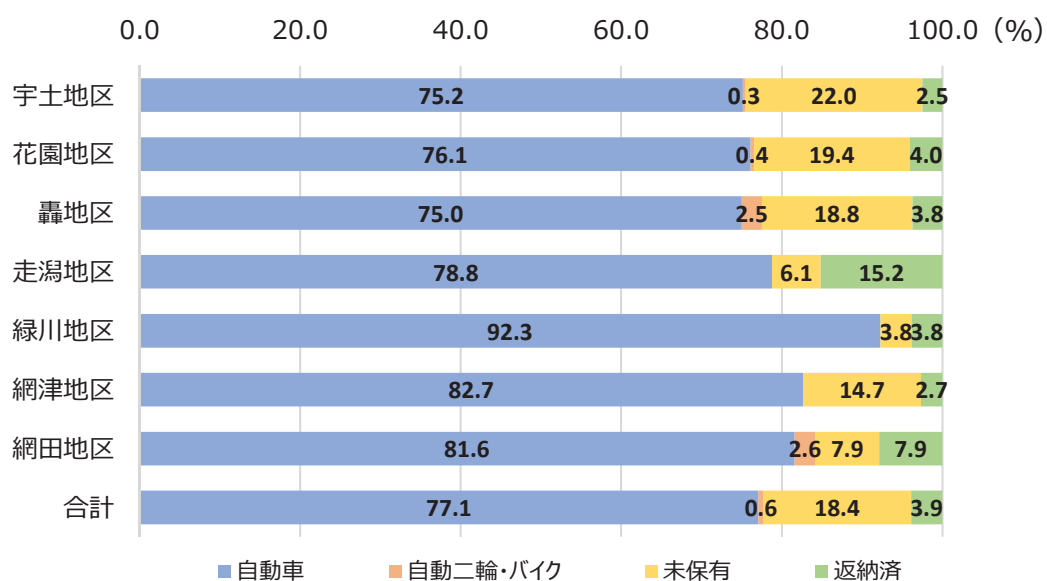
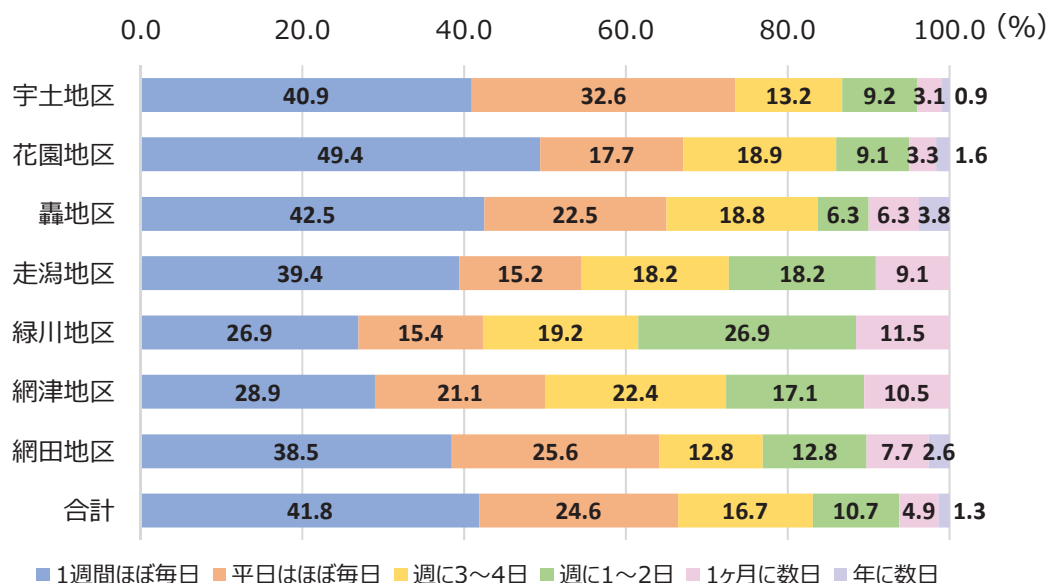
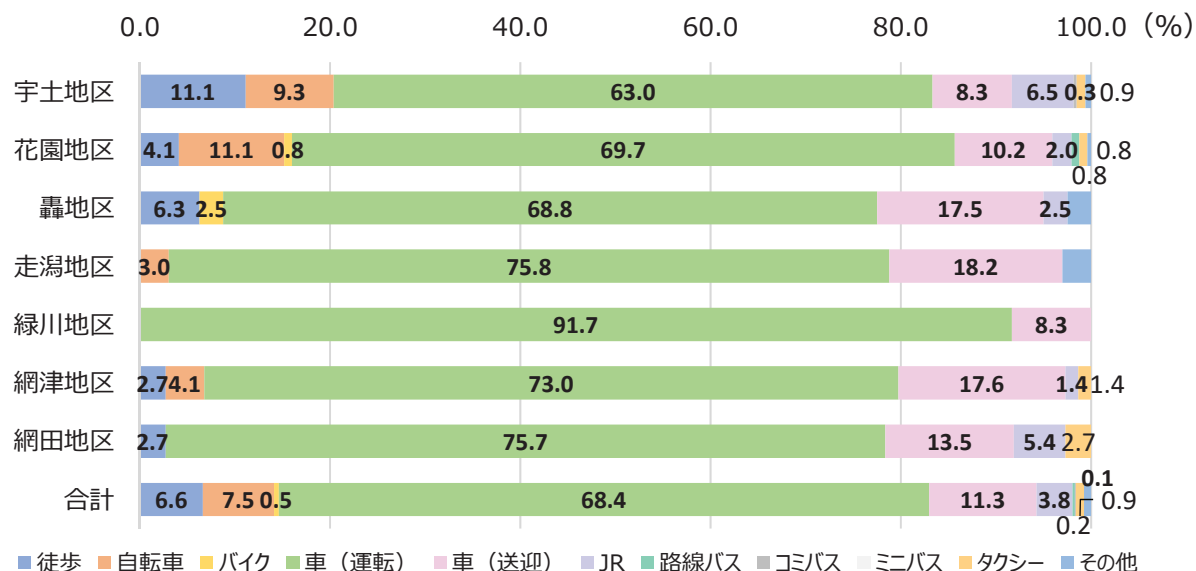


図 外出頻度



- 外出時の移動手段は、全体で約 7 割が車（運転）となっており、次いで車（送迎）が 1 割となっており、公共交通機関の利用は少ない状況です。
- 市街地に近い宇土地区や花園地区では、自転車での移動も約 1 割と比較的多くなっています。
- 公共交通機関の利用は、JR やタクシーの利用が多く、路線バスやコミバス、ミニバスの利用は少ない状況です。

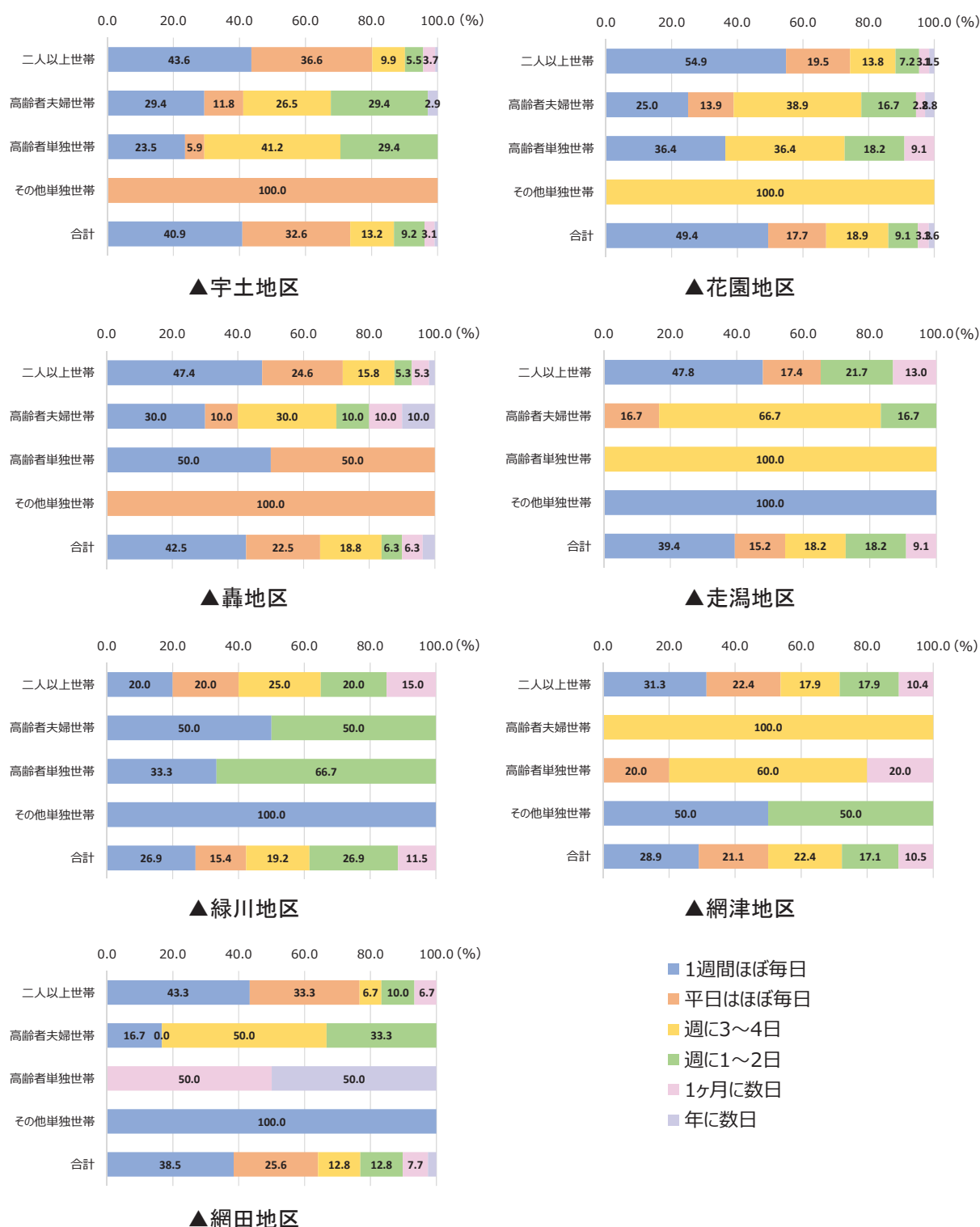
図 外出時の移動手段



#### (4) 地区別・世帯構成別の外出状況(世帯票より)

- ・多くの地区で,外出頻度が二人以上世帯＞高齢者夫婦世帯＞高齢者夫婦世帯の順に多くなっています。
- ・宇土地区や花園地区,轟地区,緑川地区ではほぼ毎日外出している人も見られますが,その他地区では外出頻度が大きく減少しており,網津地区や網田地区では 1 ヶ月に数日の人も見られる状況です。

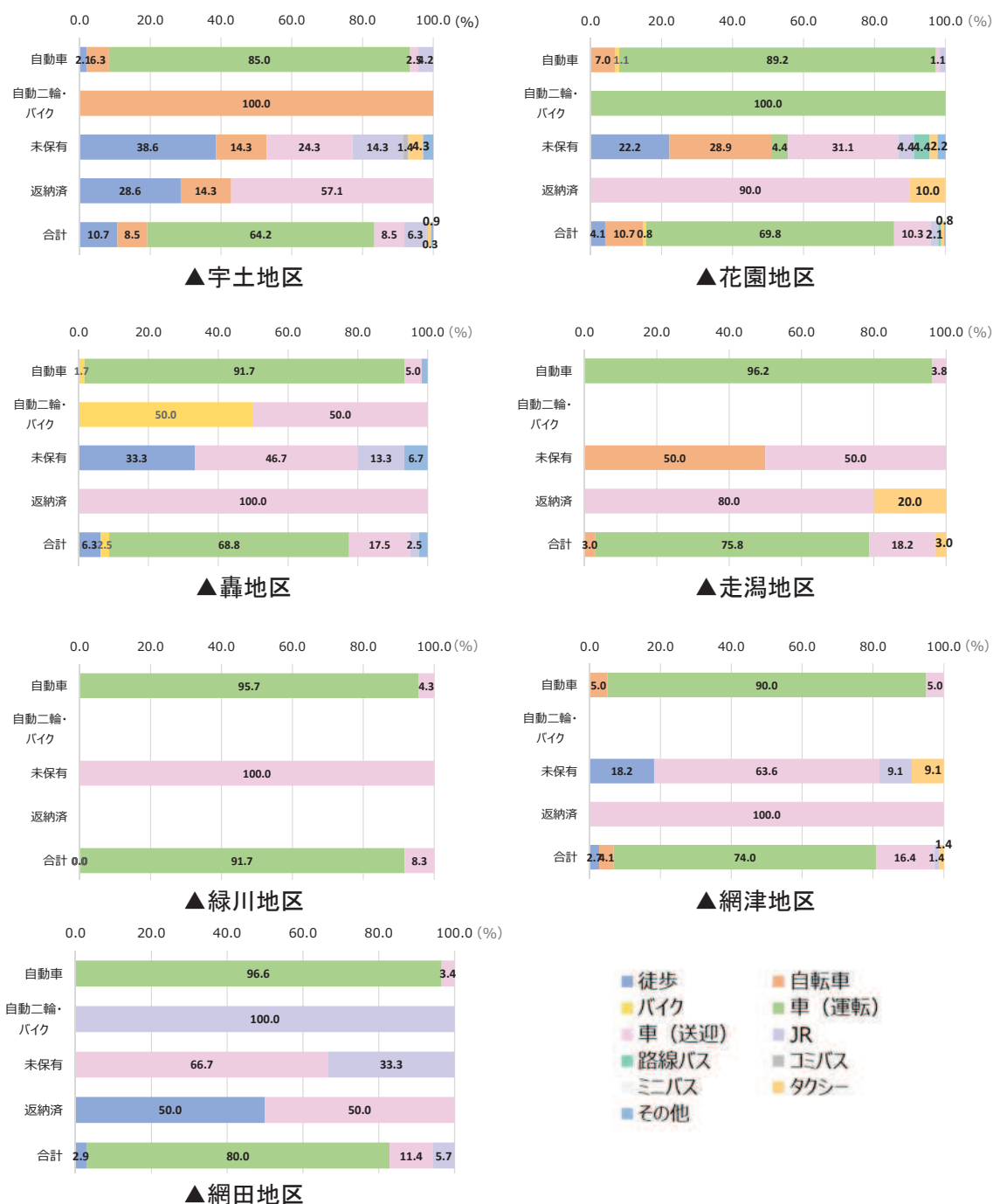
図 地区別・世帯構成別の外出状況



## (5) 地区別・免許保有別の移動手段(世帯票より)

- ・運転免許証未保有者の移動手段は、徒歩や自転車以外では車（送迎）に大きく依存している状況です。
- ・特に、運転免許証を返納した人においては、車（送迎）もしくはタクシーとなっており、公共交通の利用は見られない状況などから、免許返納前の生活様式などに依存していることがうかがえます。
- ・元々運転免許証を保有していない人で、JR や路線バスなどが利用可能な環境の人（宇土地区、花園地区、轟地区、網津地区、網田地区など）では、公共交通機関の利用も若干見られる状況です。

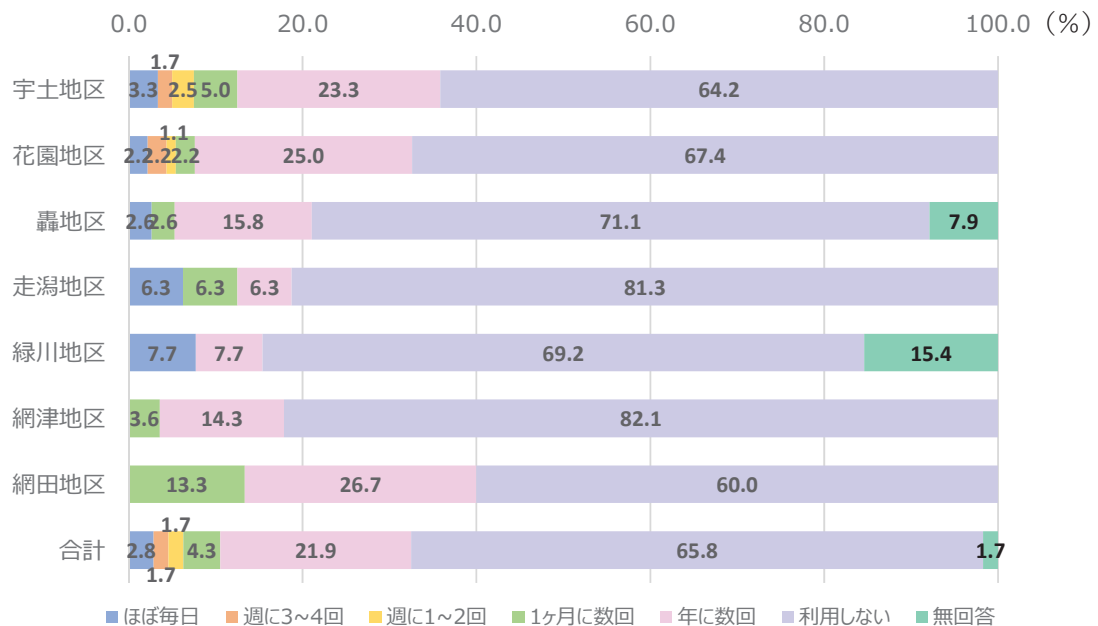
図 地区別・免許保有別の移動手段



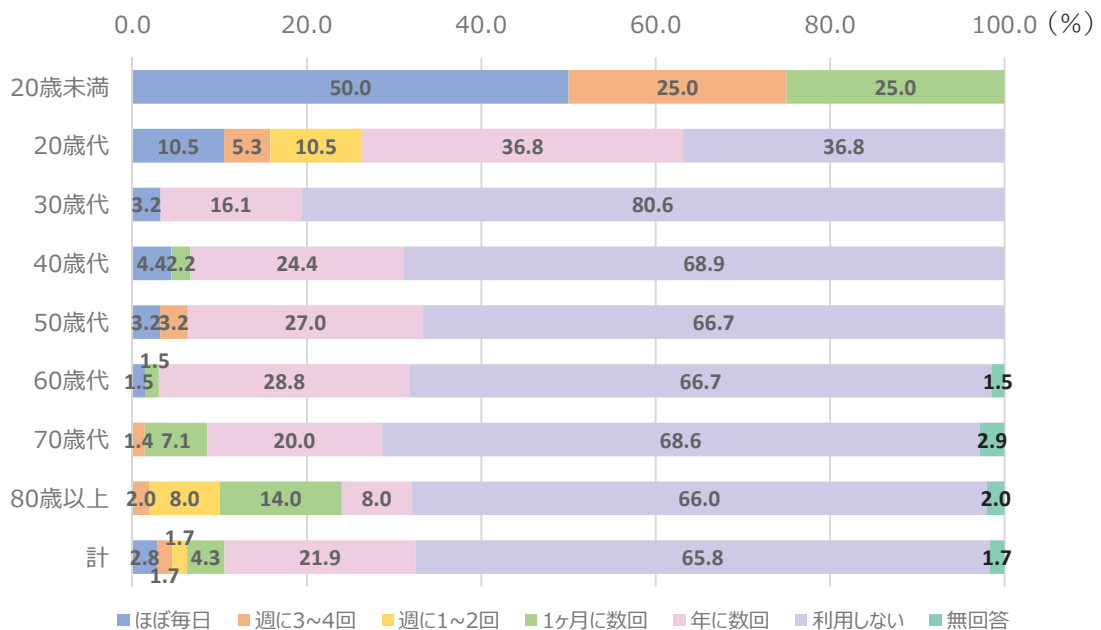
## (6)地域公共交通の利用状況(個人票より)

- ・地域公共交通の利用状況は,市全体で「利用しない」が6割以上を占めており,「年に数回」と併せると9割を占め,地域公共交通の利用は少ない状況です。
- ・地区別では,ほぼ毎日,通勤通学で利用している人も見られますが,全体的に少ない状況で,最も利用頻度が多い宇土地区でも,1ヶ月に1回以上の利用は約1割となっています。
- ・年代別でみると,20歳未満及び20歳代の学生や70歳以上の高齢者において,比較的利用頻度が多くなっていますが,80歳以上でも「利用しない」人が約7割となっています。

図 地域公共交通の利用状況



▲地区別

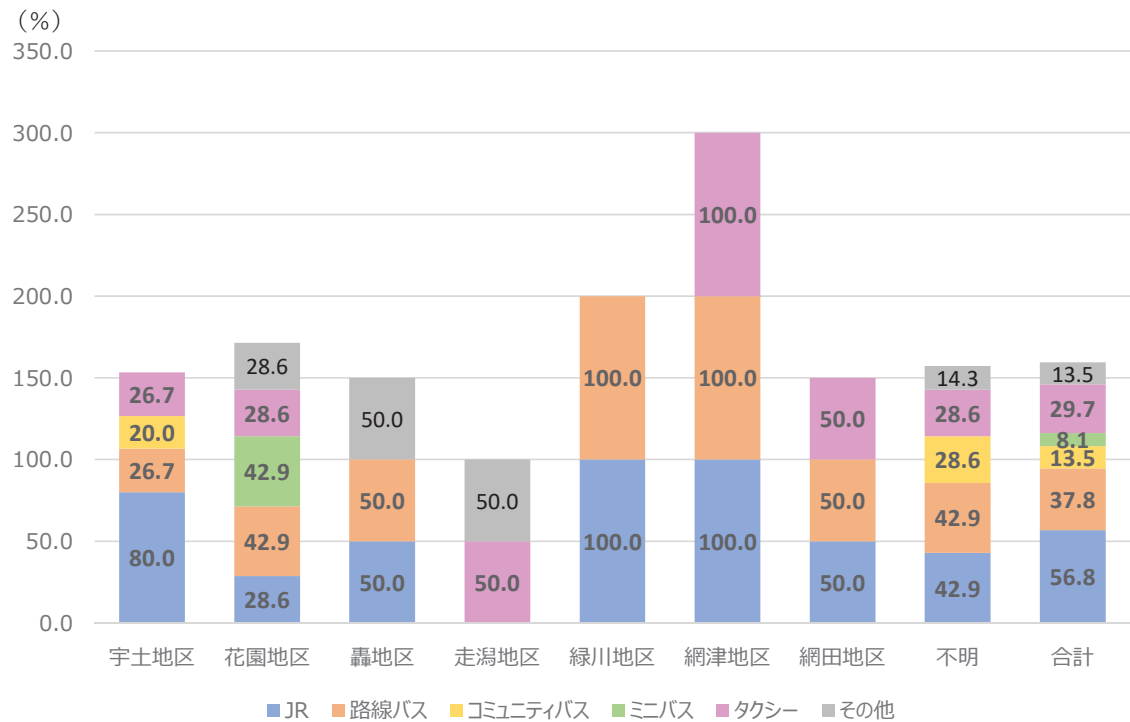


▲年代別



- 利用する地域公共交通は地区によってばらつきが見られますが、市全体として JR が最も多く、次いで路線バス、タクシーの順となっています。

図 利用する地域公共交通（複数回答）

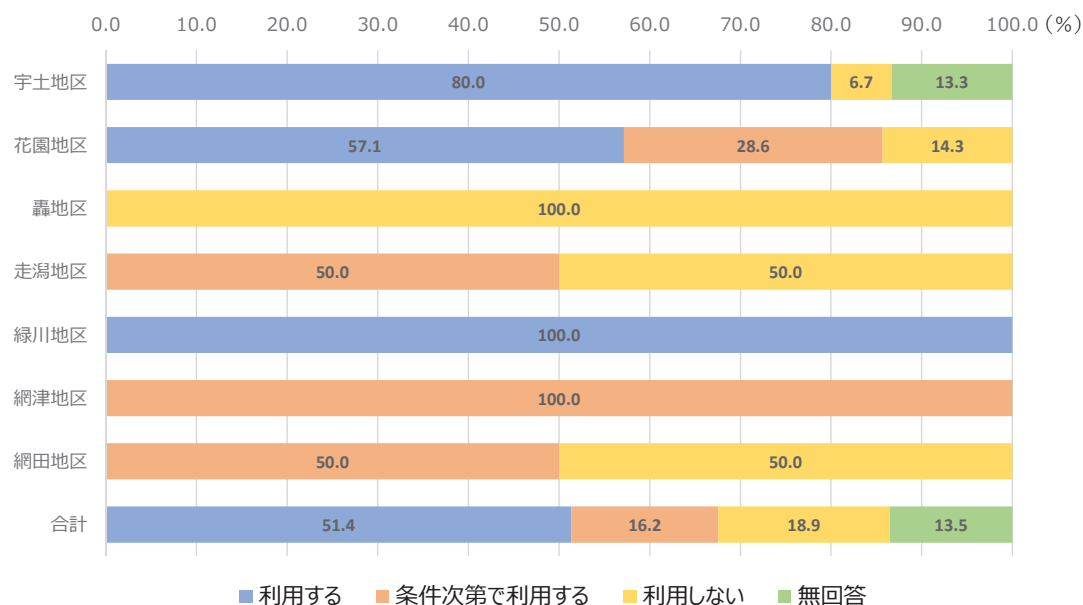


## (7)地域公共交通の今後の利用意向(個人票より)

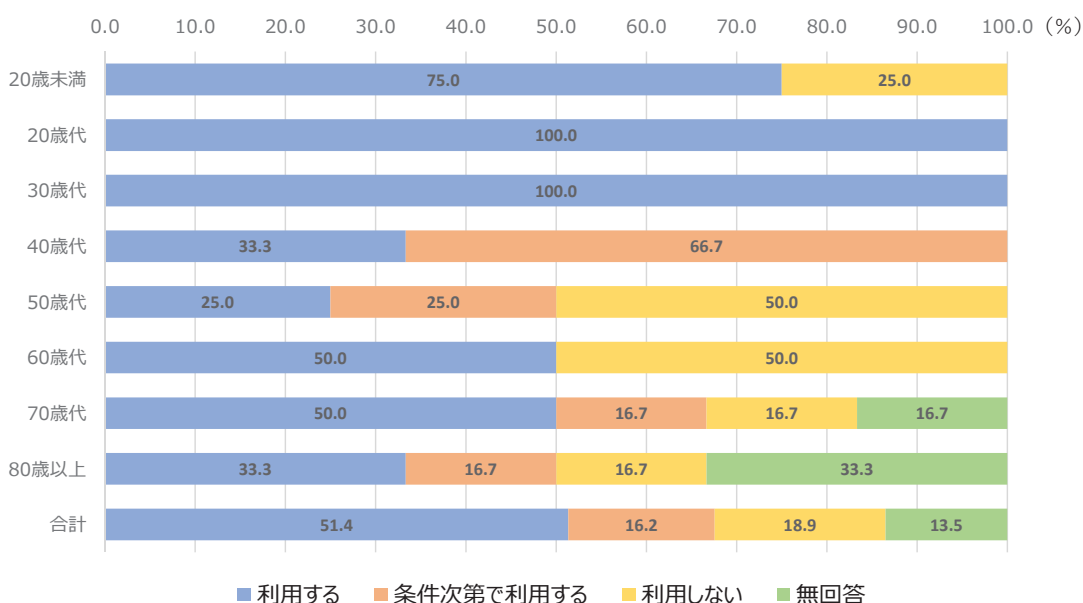
※仮に乗り継ぎを前提とした公共交通体系への利用意向

- 現在の地域公共交通利用者においては、市全体で約 5 割が今後も利用すると回答しており「条件次第で利用する」と併せると約 7 割となっていますが、約 2 割は利用しない意向です。
- 地区別でも、宇土・花園・緑川地区は、現在の地域公共交通が比較的充実しているためか利用意向が高いですが、それ以外の地域では低い状況です。
- また、年代別でも、30 歳代以下の比較的若い年齢層では利用意向が高くなっていますが、高齢者では利用意向が低く、乗り継ぎに伴う移動や待ち時間などの利用負担の影響がうかがえます。

図 地域公共交通の利用意向



▲地区別

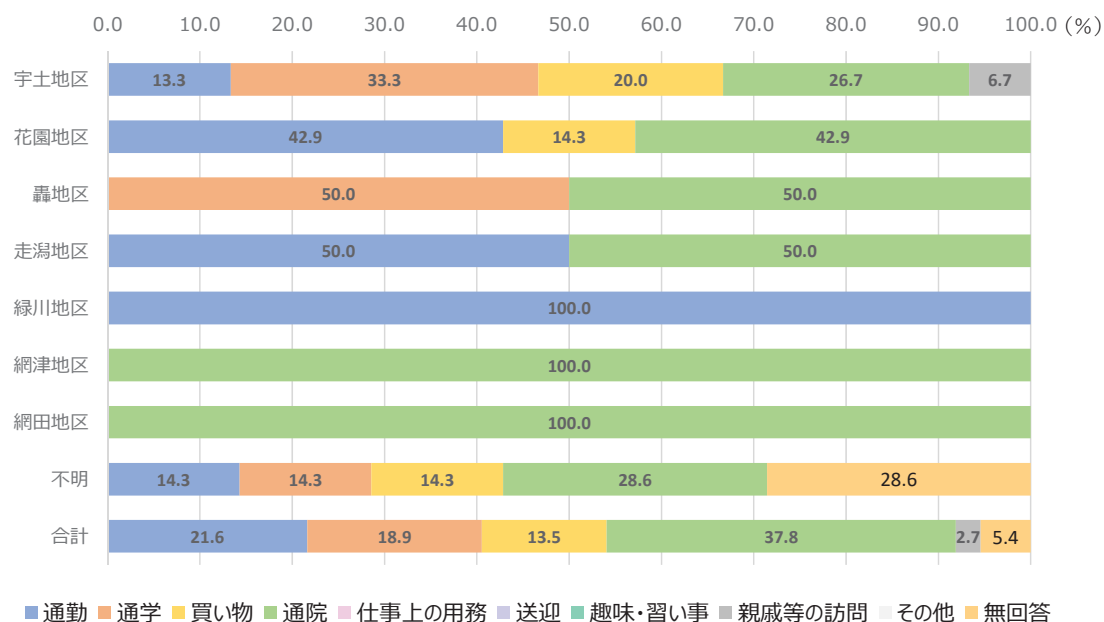


▲年代別

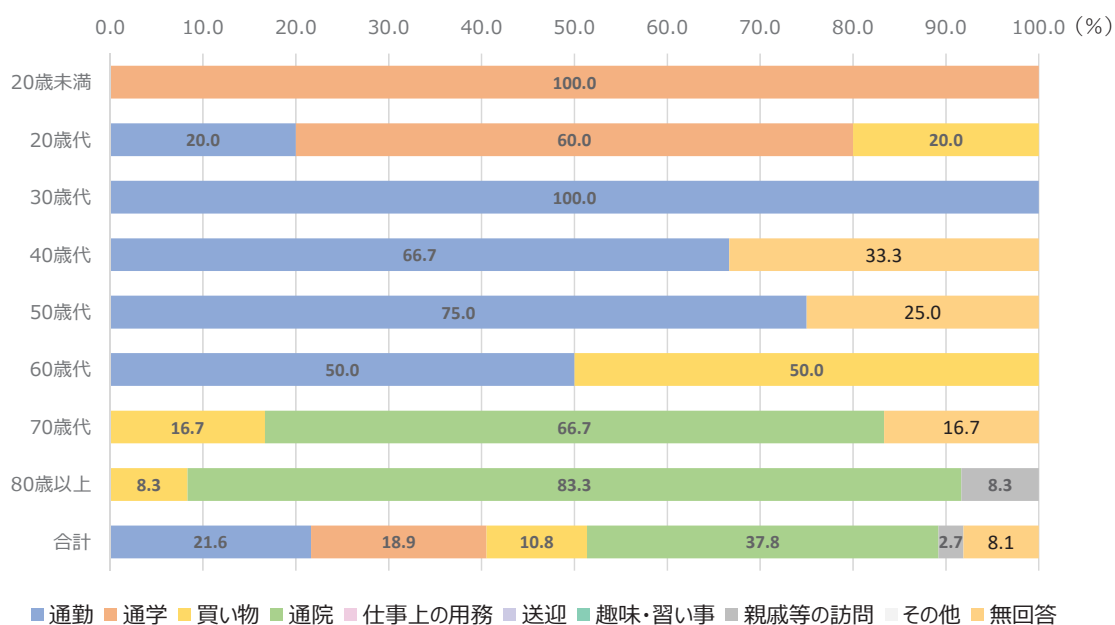
## (8)地域公共交通の利用目的と利用する理由(個人票より)

- ・地域公共交通の利用目的は,市全体で「通院」が最も多く,約 4 割を占めており,次いで「通勤」「通学」となっています。
- ・地区別では,宇土・花園・走潟・緑川地区などでは「通勤」目的も見られます。

図 地域公共交通の利用目的



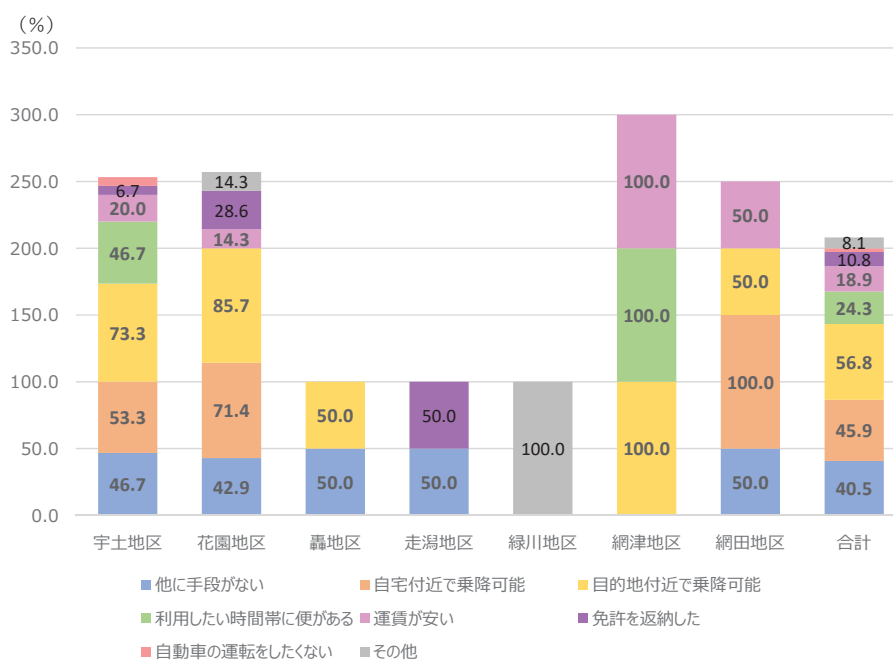
### ▲地区別



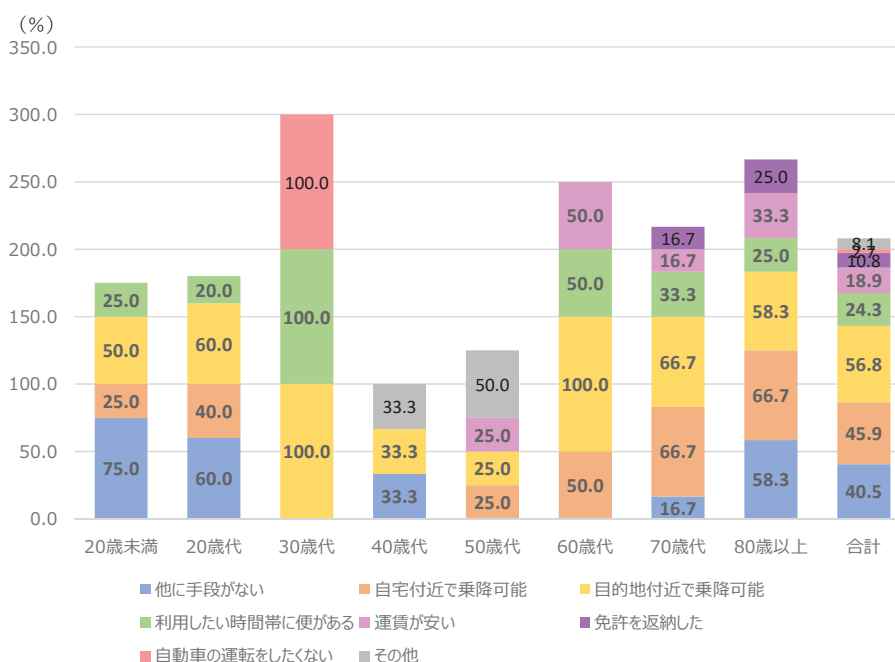
### ▲年代別

- ・地域公共交通を利用する理由としては、「目的地付近で乗降可能」が5割以上と最も多く、利用するにあたって重要視する項目でも「直接目的地までいける」が最も多くなっており、目的施設などへのアクセス性が重要視されている状況です。
- ・その他、「自宅付近で乗降可能」や「他に交通手段がない」といった理由が多くなっています。
- ・年代別では、20歳未満及び20歳代では「通学」、30～60歳代では「通勤」、70歳以上では「通院」が多くなっています。
- ・利用する理由としては、高齢になるほど「自宅付近で乗降可能」が占める割合が大きくなっています。

図 地域公共交通を利用する理由

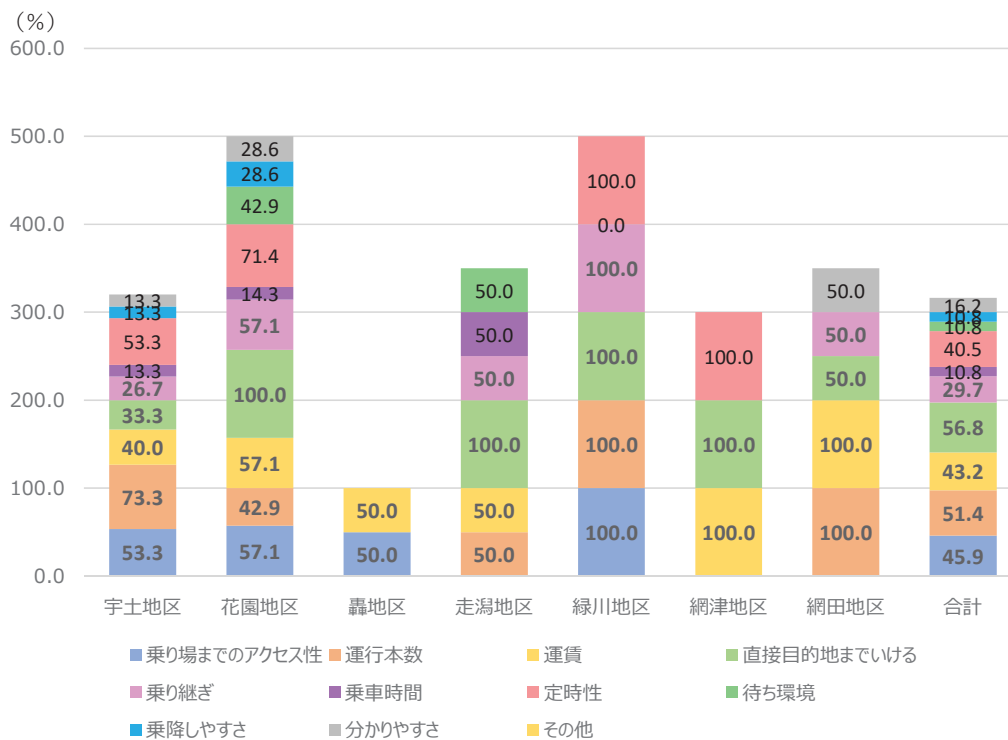


▲地区別

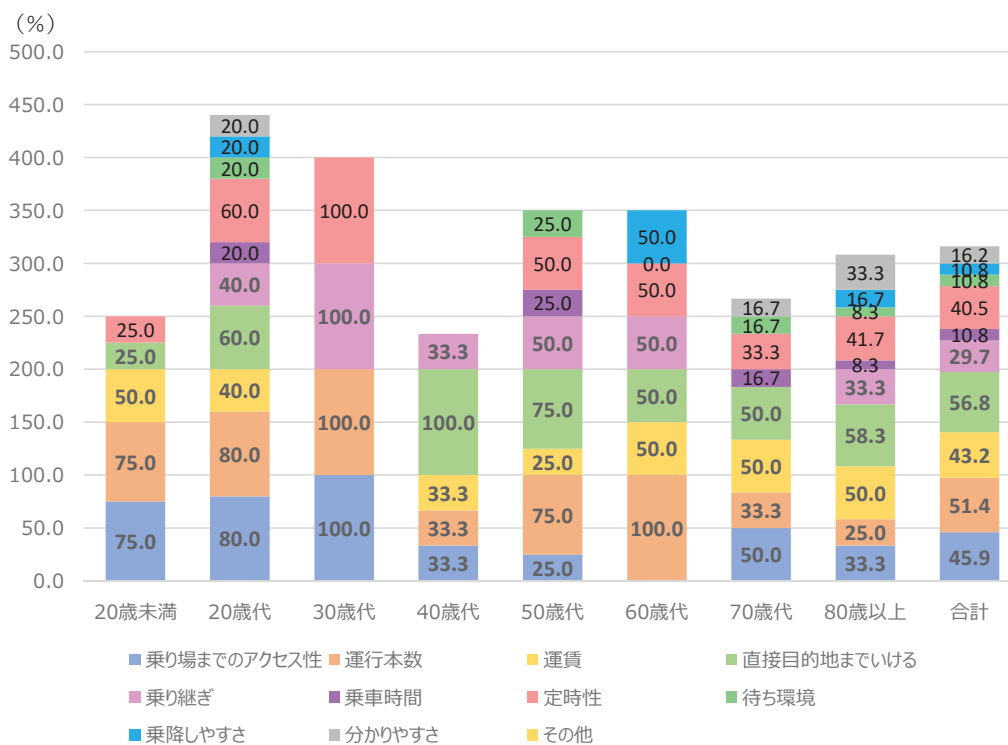


▲年代別

図 地域公共交通を利用するにあたって重要視する項目



▲ 地区別



▲ 年代別

## (9)地域公共交通の満足度(個人票より) ※利用者のみ

- ・地域公共交通に対する満足度は、市全体で見ると「運行間隔,運行本数」「運行時間帯」に対して約4割と比較的高くなっていますが、「運行ルート」に対しては満足度が低い状況です。
- ・地区別では、宇土地区において他地区と比較して「運行ルート」に対する満足度が若干低い状況です。

図 自宅からバス停・駅までの距離

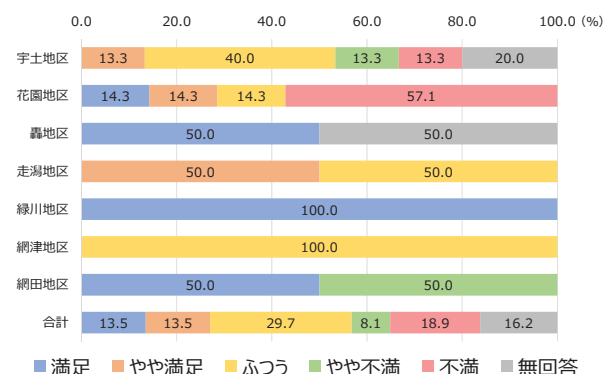


図 運行ルート

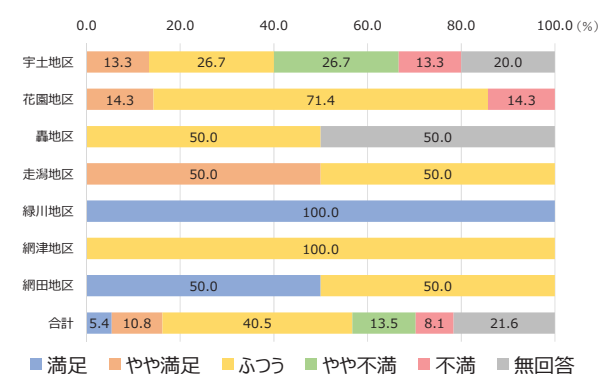


図 運行間隔, 運行本数

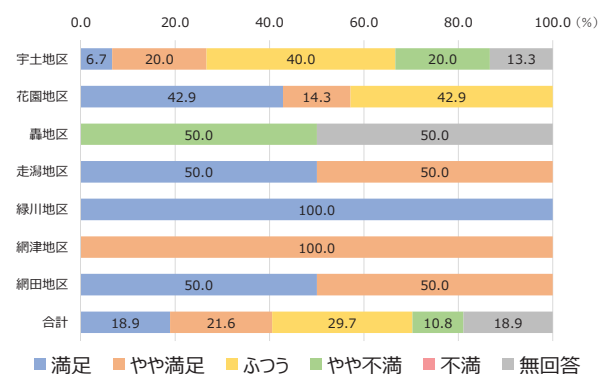


図 運行曜日

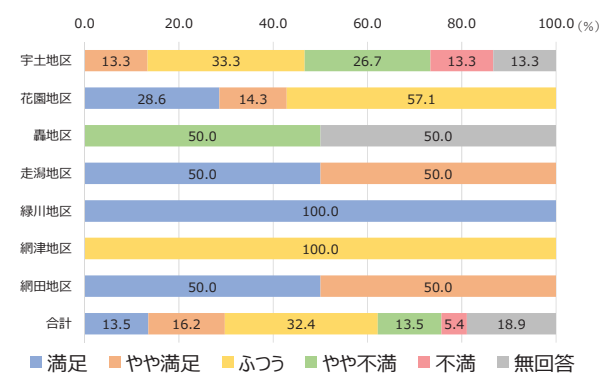


図 運行時間帯

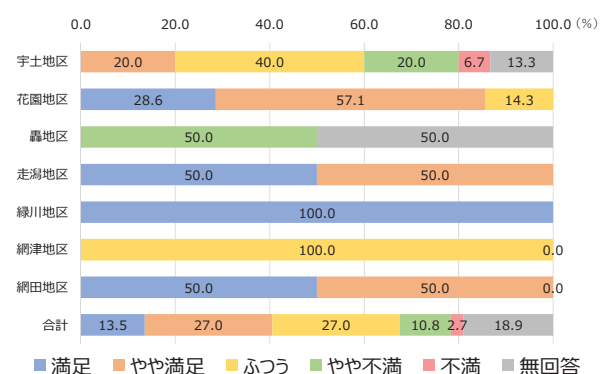
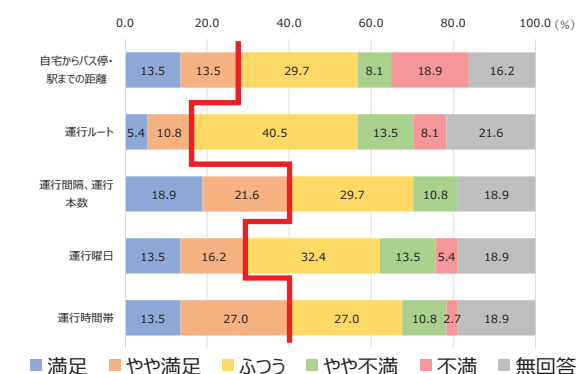


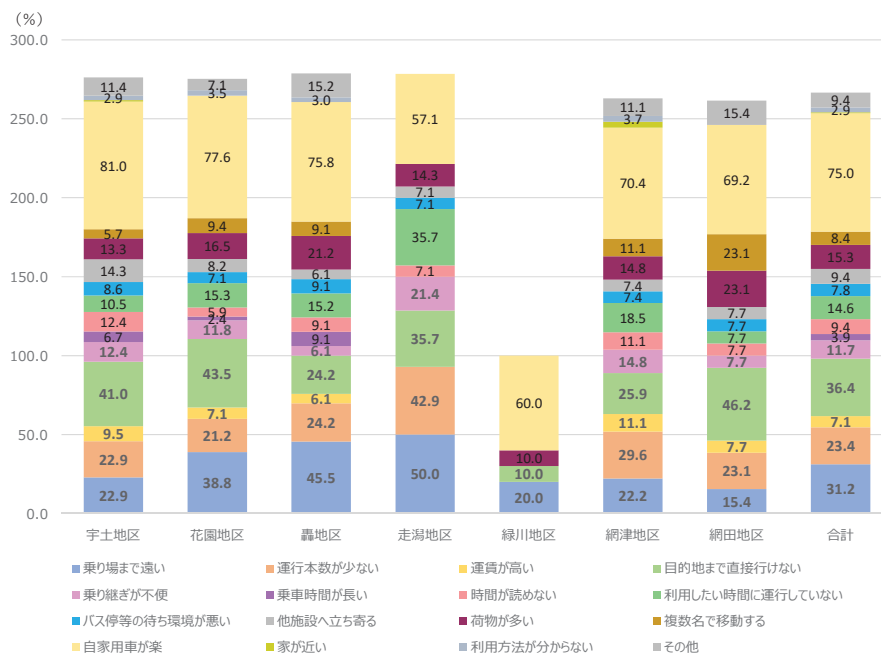
図 市全体：項目別



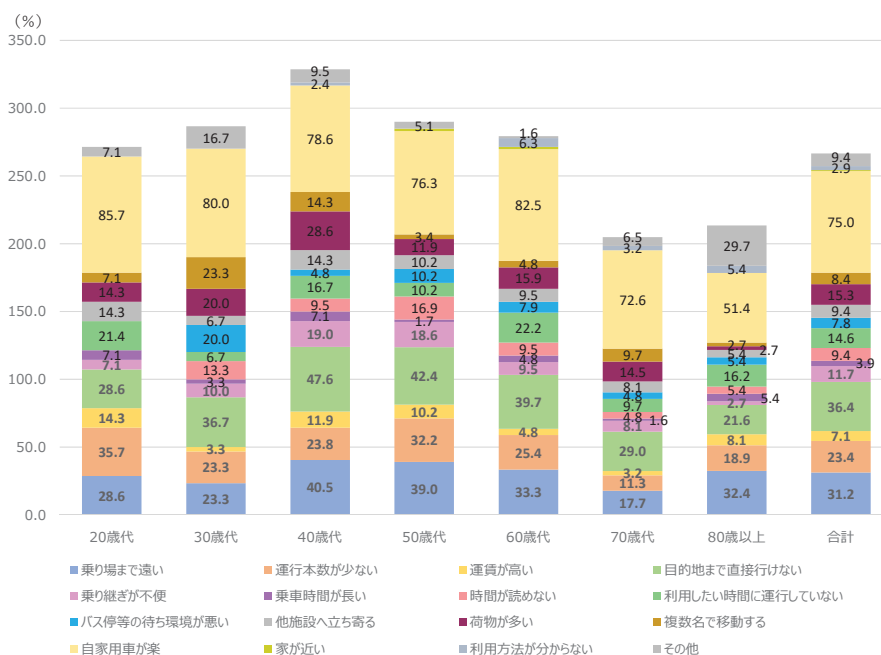
## (10)地域公共交通を利用しない理由と今後の利用意向等(個人票より)

- ・地域公共交通を利用しない理由としては,市全体で「自家用車が楽」といった回答が7割以上と最も多く,次いで「目的地まで直接行けない」と理由が挙がっています。
- ・地区別では,轟地区や走潟地区,緑川地区において,「乗り場まで遠い」が2番目に多く,他地区と異なる状況です。
- ・同様に,80歳以上の高齢者においても「乗り場まで遠い」が比較的多くなっています。

図 地域公共交通を利用しない理由



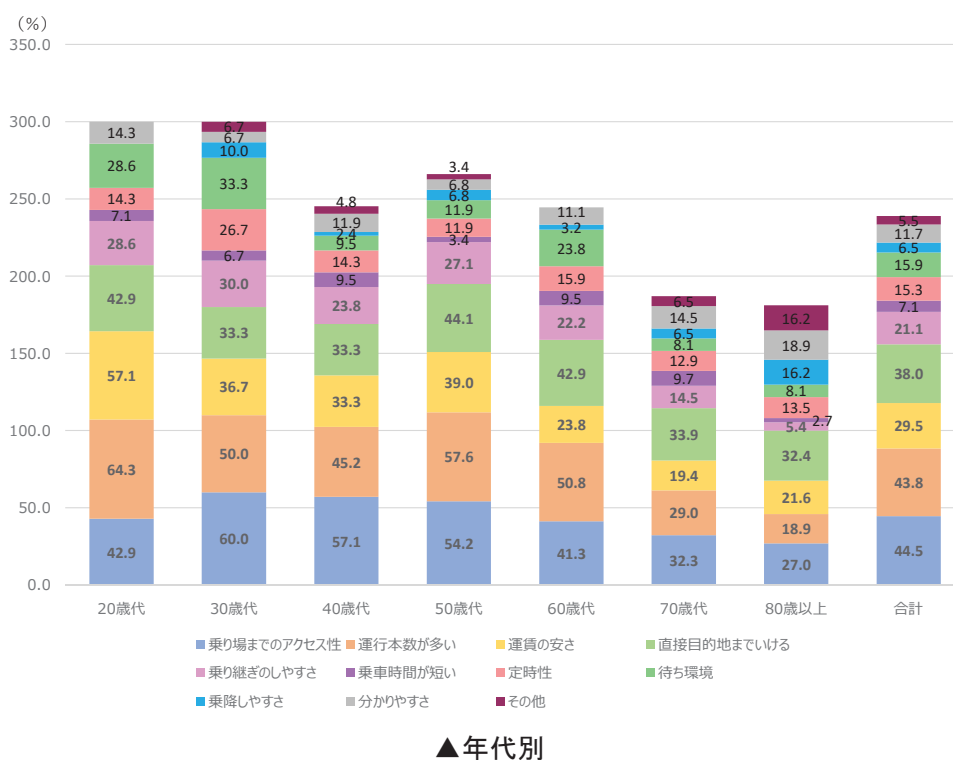
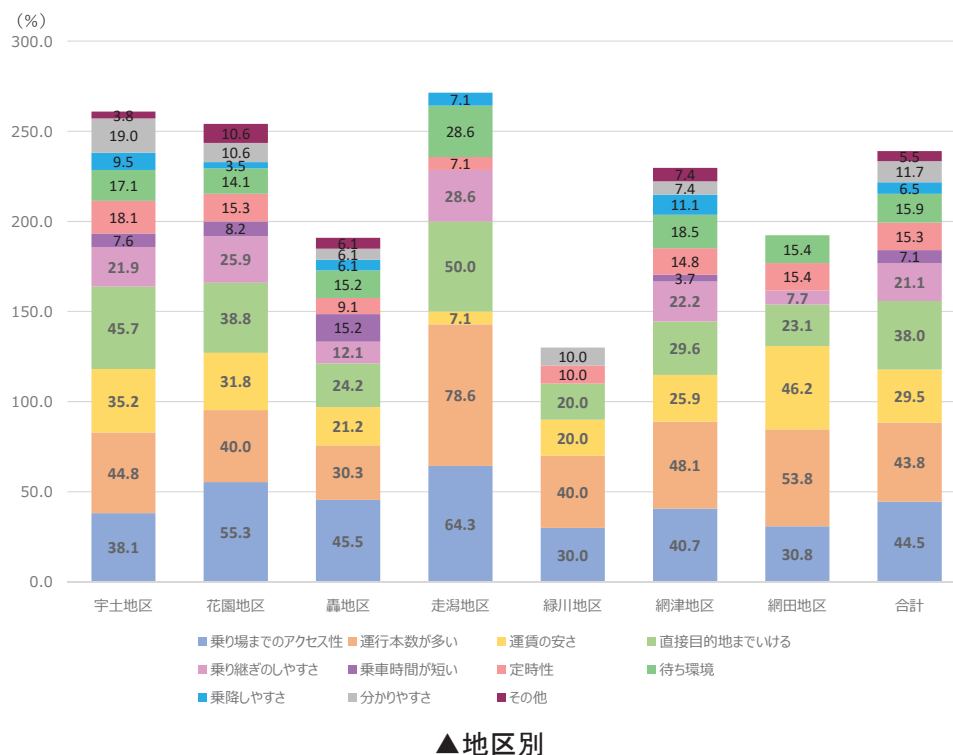
### ▲地区別



### ▲年代別

- ・地域公共交通を利用するにあたって求めるサービスは、「乗り場までのアクセス性」,「運行本数が多い」,「直接目的地までいける」の順で多くっており,走潟地区では特に運行本数を求める声が多くなっています。
- ・年代別で見ると,高齢になるほど「直接目的地までいける（施設へのアクセス性）」を重視する状況です。

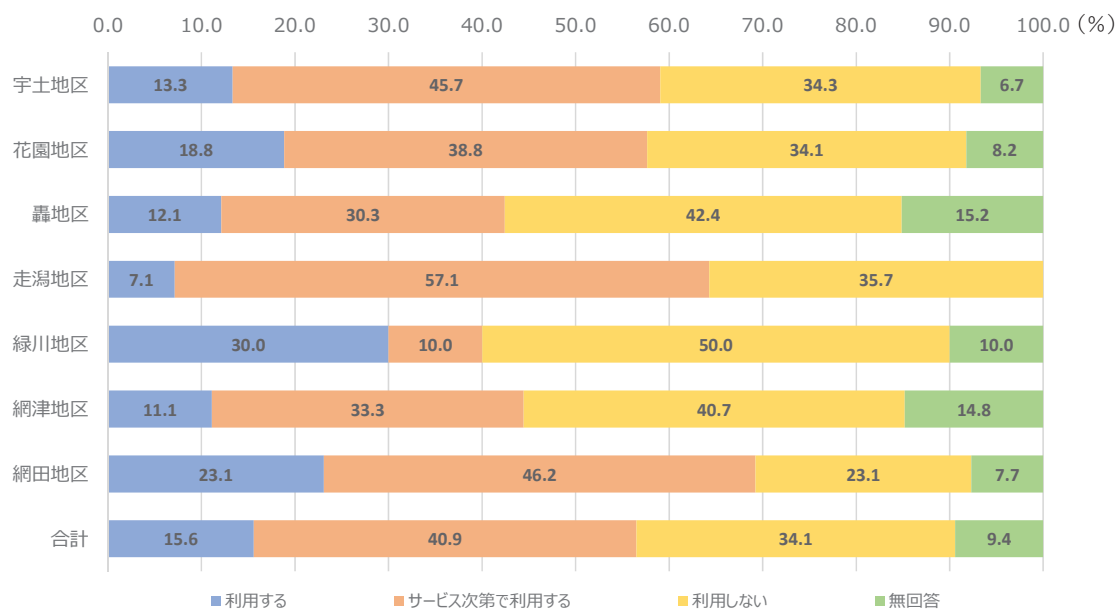
図 地域公共交通を利用するにあたって求めるサービス



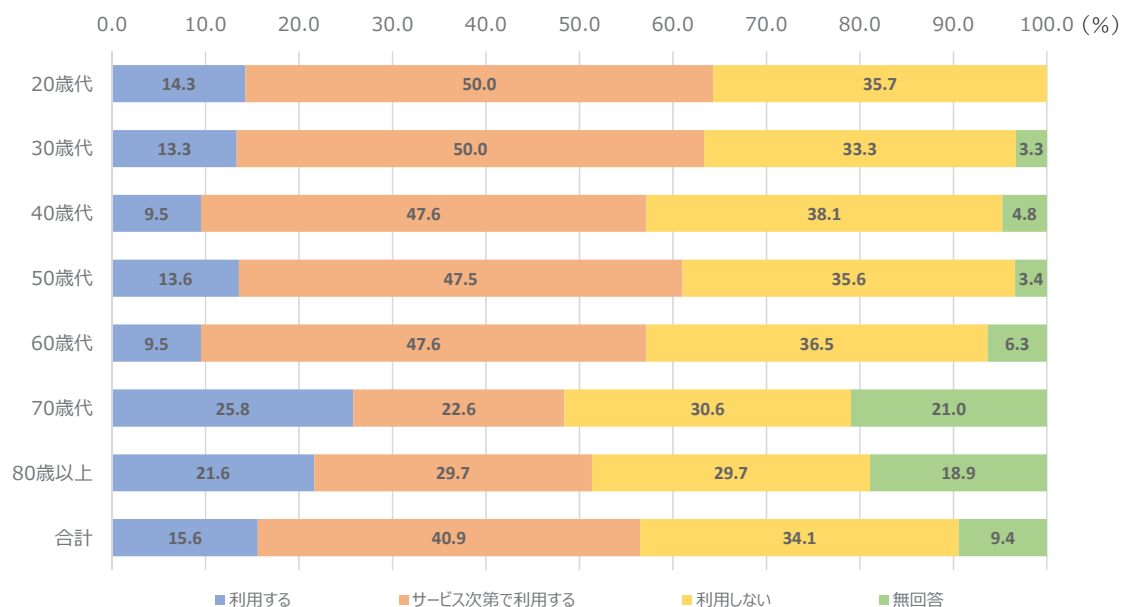


- ・地域公共交通の利用意向は、市全体で「利用する」が 1 割強となっており、「サービス次第で利用する」と「利用しない」で 7 割以上となっています。
- ・地区別では、緑川地区や網田地区で利用意向が高くなっており、年代別では 70 歳以上の高齢者で利用意向が高い状況です。

図 地域公共交通の利用意向



▲地区別

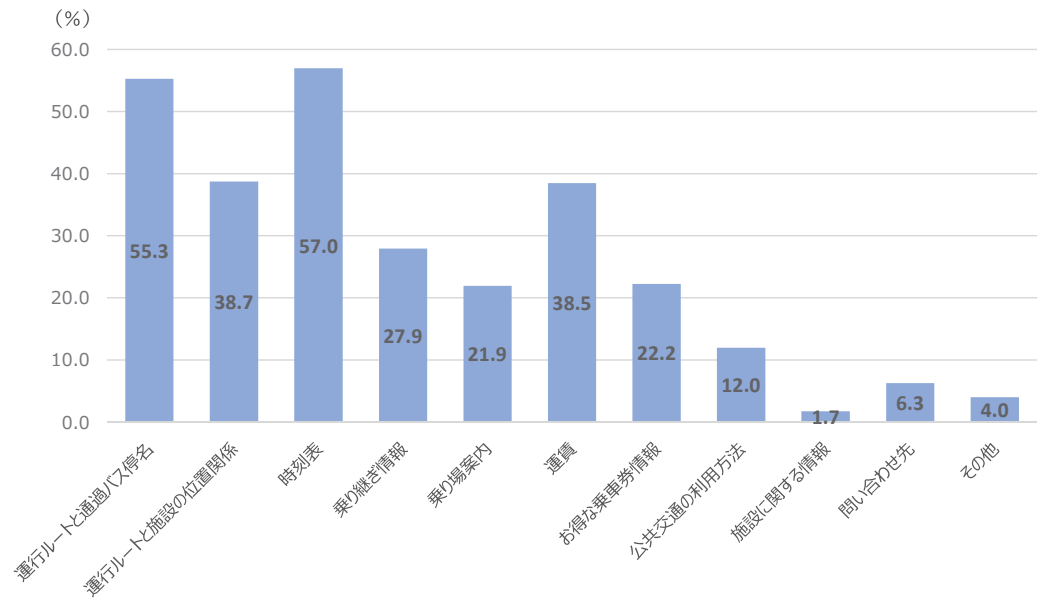


▲年代別

(11)地域公共交通を利用するにあたって必要な情報(個人票より)

- ・地域公共交通を利用するにあたって必要な情報としては、「時刻表」や「運行ルートと通過バス停名」が多くなっており,路線図などの分かりやすさが重要です。

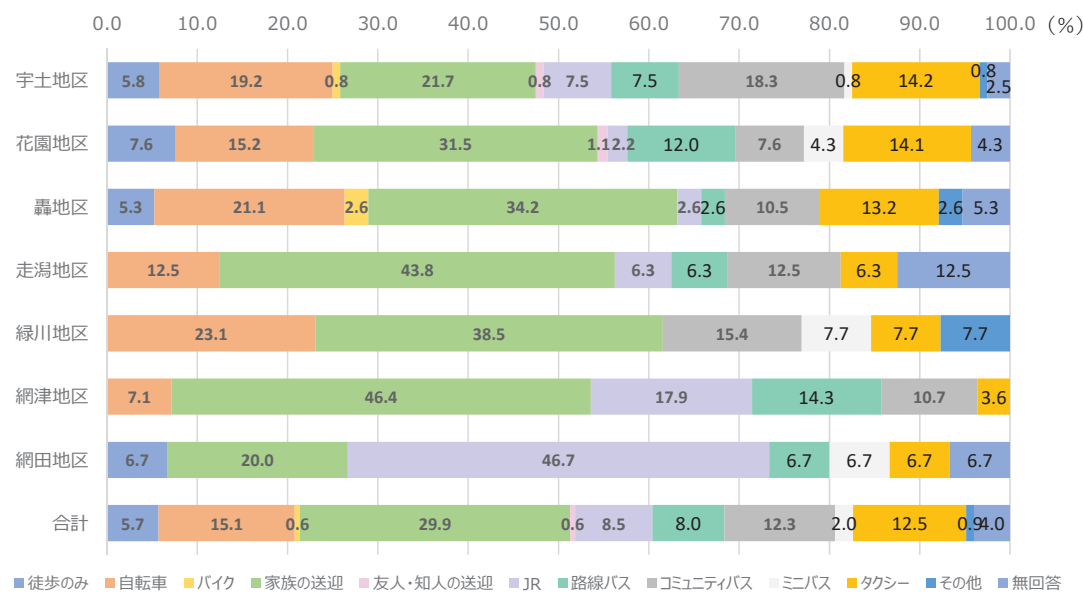
図 地域公共交通を利用するにあたって必要な情報



(12)地域公共交通などに対する今後のあり方等(個人票より)

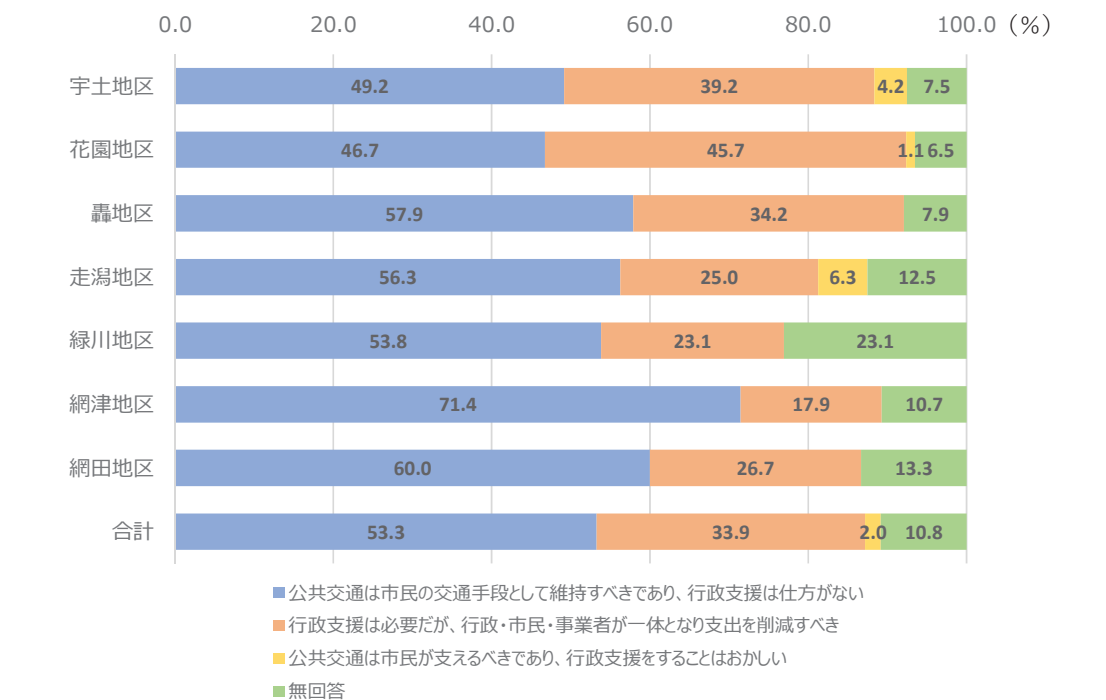
- ・自動車などの運転ができなくなった場合の将来的な移動手段として,「家族の送迎」を考えている人が約 3 割となっていますが,JR や路線バス,コミュニティバス,ミニバスなどの地域公共交通を考えている人も約 4 割存在する状況です。

図 将来的な移動手段

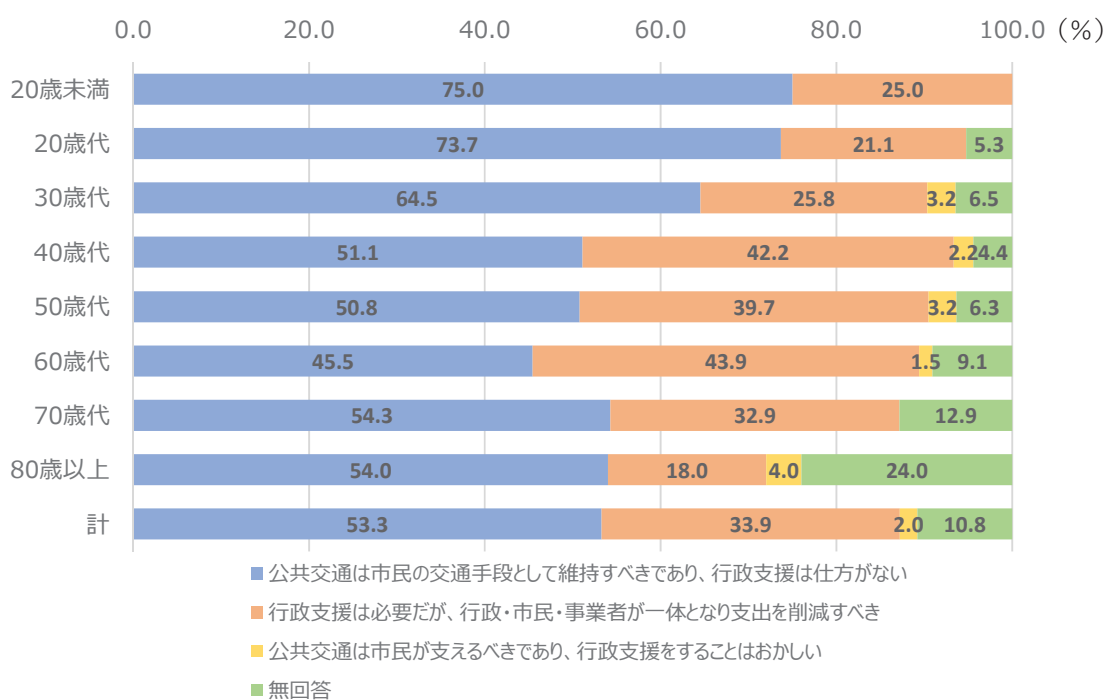


- ・地域公共交通の今後のあり方については、市全体で「公共交通は市民の交通手段として維持すべきであり、行政支援は仕方がない」が約 5 割となっており、地区別に大きな違いは見られない状況です。
- ・一方、年代別では、若い世代ほどそれらの意見が多い状況です。

図 地域公共交通の今後のあり方



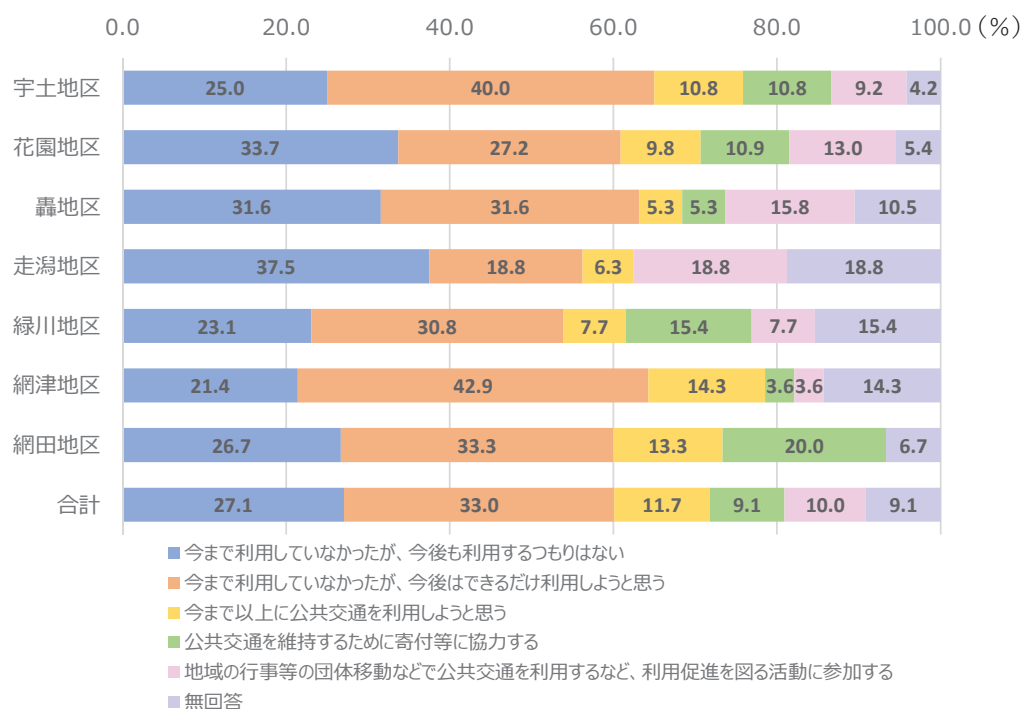
▲地区別



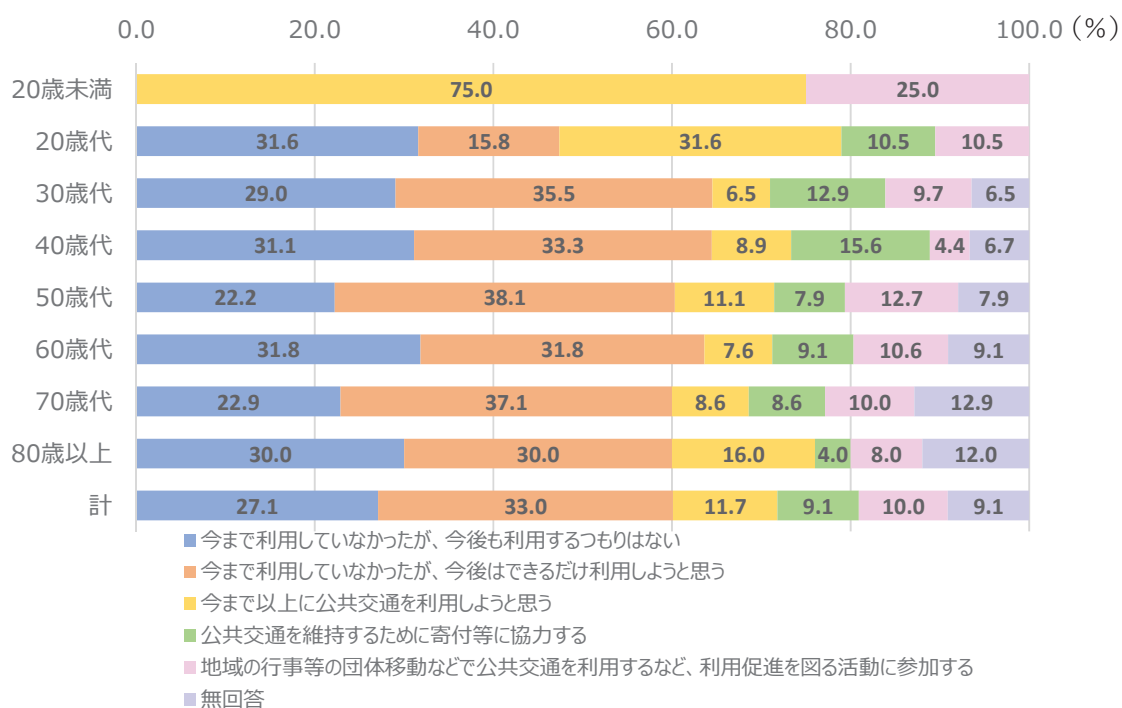
▲年代別

- ・今後の協力意向は、市全体で「今まで利用していなかったが、今後はできるだけ利用しようと思う」が約3割となっていますが、「今後も利用するつもりはない」も同程度を占めています。
- ・年代別では、若い世代や80歳以上の高齢者等において、「今まで以上に公共交通を利用しようと思う」と回答した人が、他の年代と比較して若干多い状況です。

図 地域公共交通に対する今後の協力意向



▲地区別



▲年代別

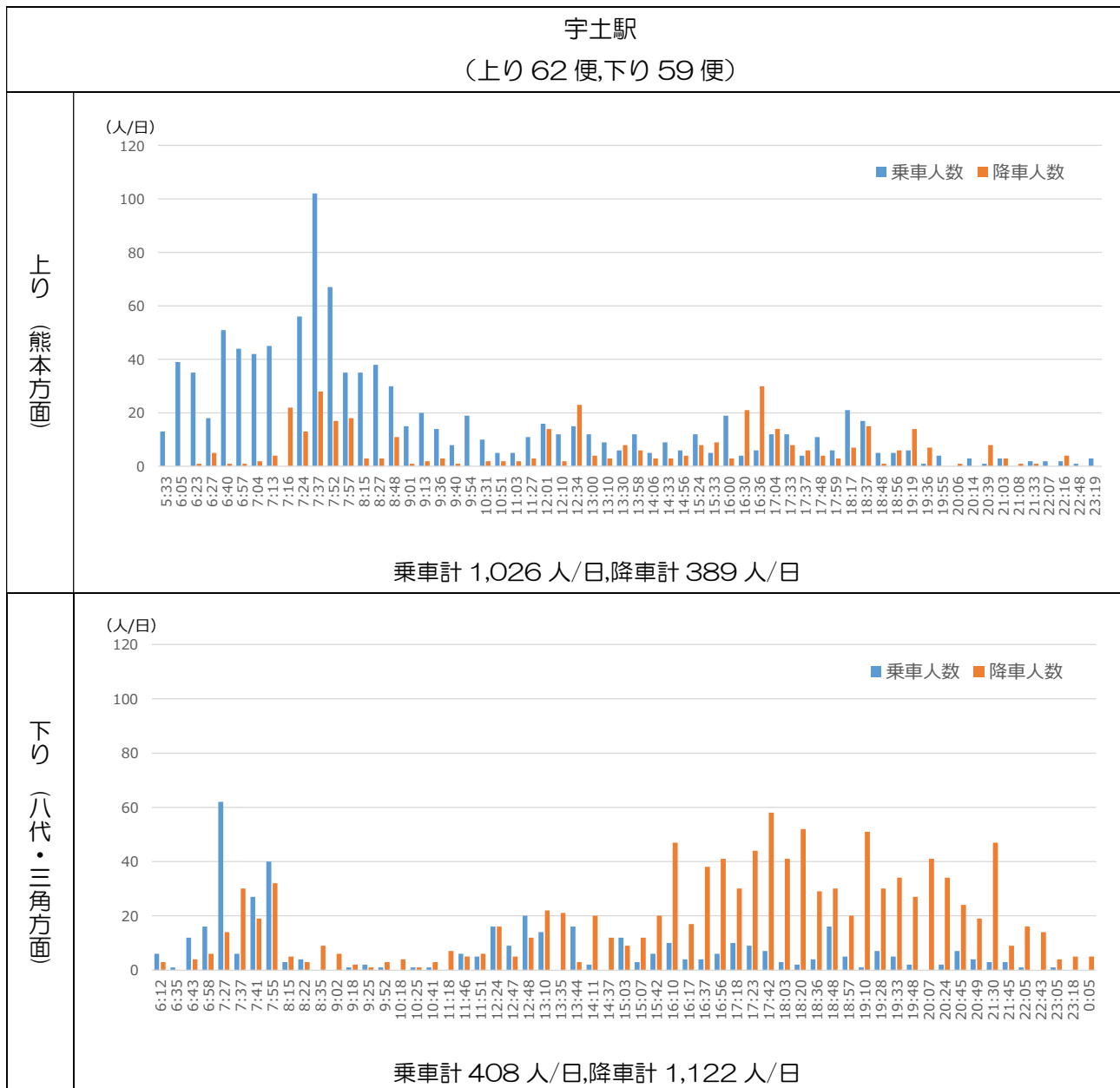
## (1) 地域公共交通の利用状況

|      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
|------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 調査対象 | <b>■駅利用者</b><br><b>■平日1日（3駅：宇土駅、住吉駅、網田駅）</b>                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 調査方法 | <b>■利用者による記入で調査を実施</b>                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| 調査期間 | <b>■令和3年10月7日（木）</b>                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| 調査内容 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・属性（居住地、性別、年齢、職業など）</li> <li>・利用状況（目的・目的地、頻度、利用区間、利用時間帯など）</li> <li>・自宅から乗車駅までの交通手段・距離 ※乗り継ぎの有無</li> <li>・降車駅から目的地までの交通手段・距離 ※乗り継ぎの有無</li> <li>・地域公共交通の満足度（運賃、便数、運行時間、経路、バス待ち・乗り継ぎ環境など）</li> <li>・地域公共交通へのニーズ（最低限必要なサービス）、今後の利用意向</li> <li>・地域公共交通に対する要望、意見 など</li> </ul> |

|      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 調査対象 | <b>■路線バス・コミュニティバス・ミニバスの利用者</b><br><b>■平日1日：全路線（宇土市＋宇城市の移動のみ）</b>                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| 調査方法 | <b>■調査員が車内に乗り込み、利用者による記入式</b><br>※コミュニティバス・ミニバスについては利用者が不特定日に利用することが想定されるため、車内に調査票を据え置き運転手に声掛けを依頼（1ヶ月間程度）                                                                                                                                                                                                                                   |
| 調査期間 | <b>■令和3年10月7日（木）～8日（金）</b>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| 調査内容 | ※乗車バス停、降車バス停は目視で全利用者把握 <ul style="list-style-type: none"> <li>・属性（居住地、性別、年齢、職業など）</li> <li>・利用状況（目的・目的地、頻度、利用区間、利用時間帯など）</li> <li>・自宅から乗車停留所までの交通手段・距離 ※乗り継ぎの有無</li> <li>・降車停留所から目的地までの交通手段・距離 ※乗り継ぎの有無</li> <li>・地域公共交通の満足度（運賃、便数、運行時間、経路、バス待ち・乗り継ぎ環境など）</li> <li>・地域公共交通へのニーズ（最低限必要なサービス）、今後の利用意向</li> <li>・地域公共交通に対する要望、意見 など</li> </ul> |

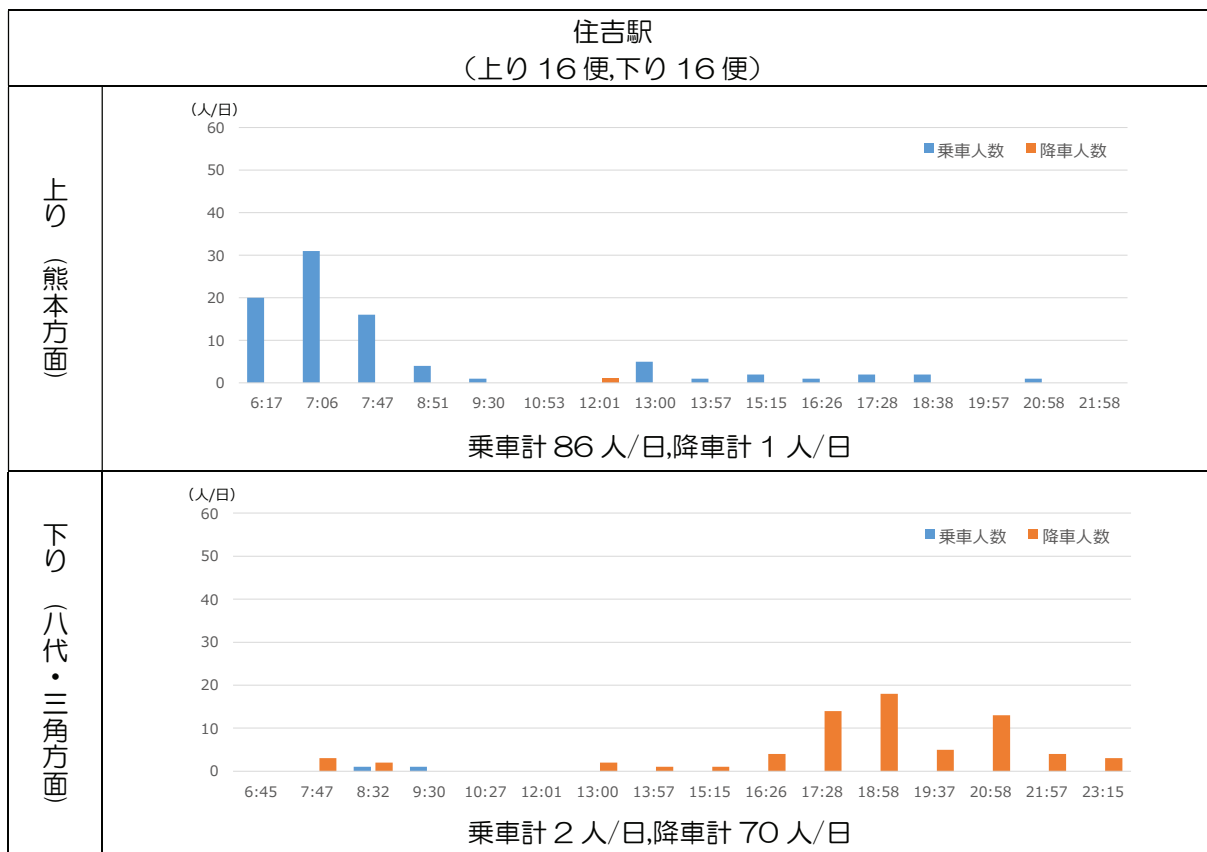
## 1) 鉄道駅の利用状況

図 鉄道駅の利用状況（宇土駅）



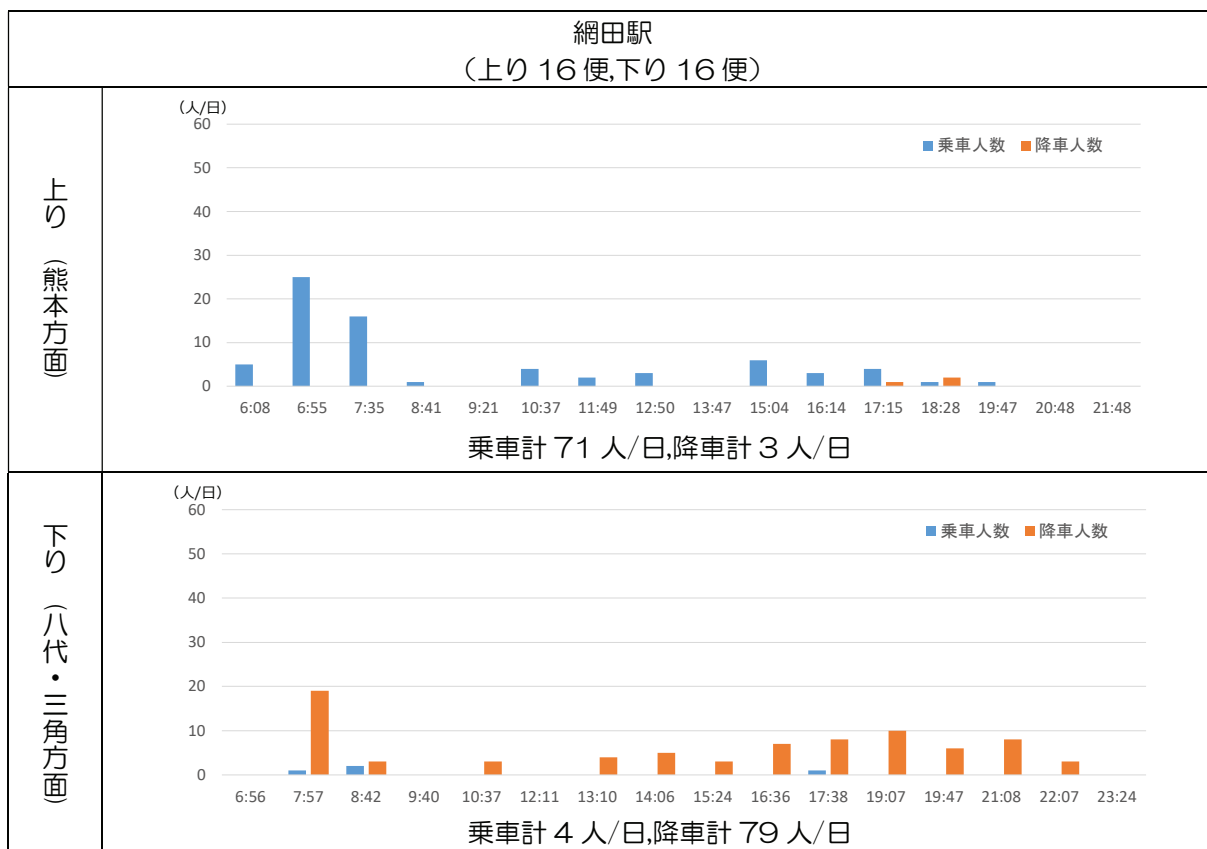
※調査員が現地で目視で観測可能な範囲で調査しており,実態と若干異なる可能性あり

図 鉄道駅の利用状況（住吉駅）



※調査員が現地で目視で観測可能な範囲で調査しており,実態と若干異なる可能性あり

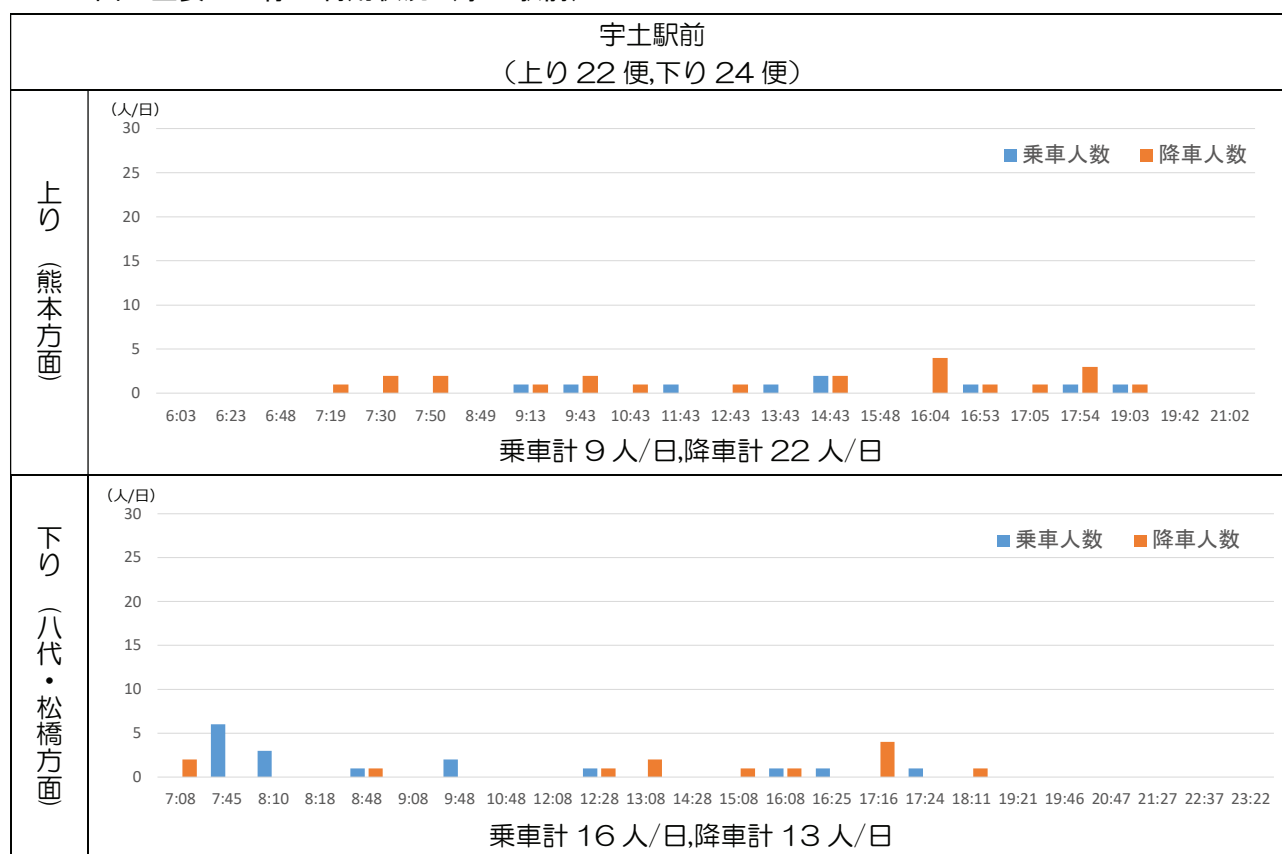
図 鉄道駅の利用状況（網田駅）



※調査員が現地で目視で観測可能な範囲で調査しており,実態と若干異なる可能性あり

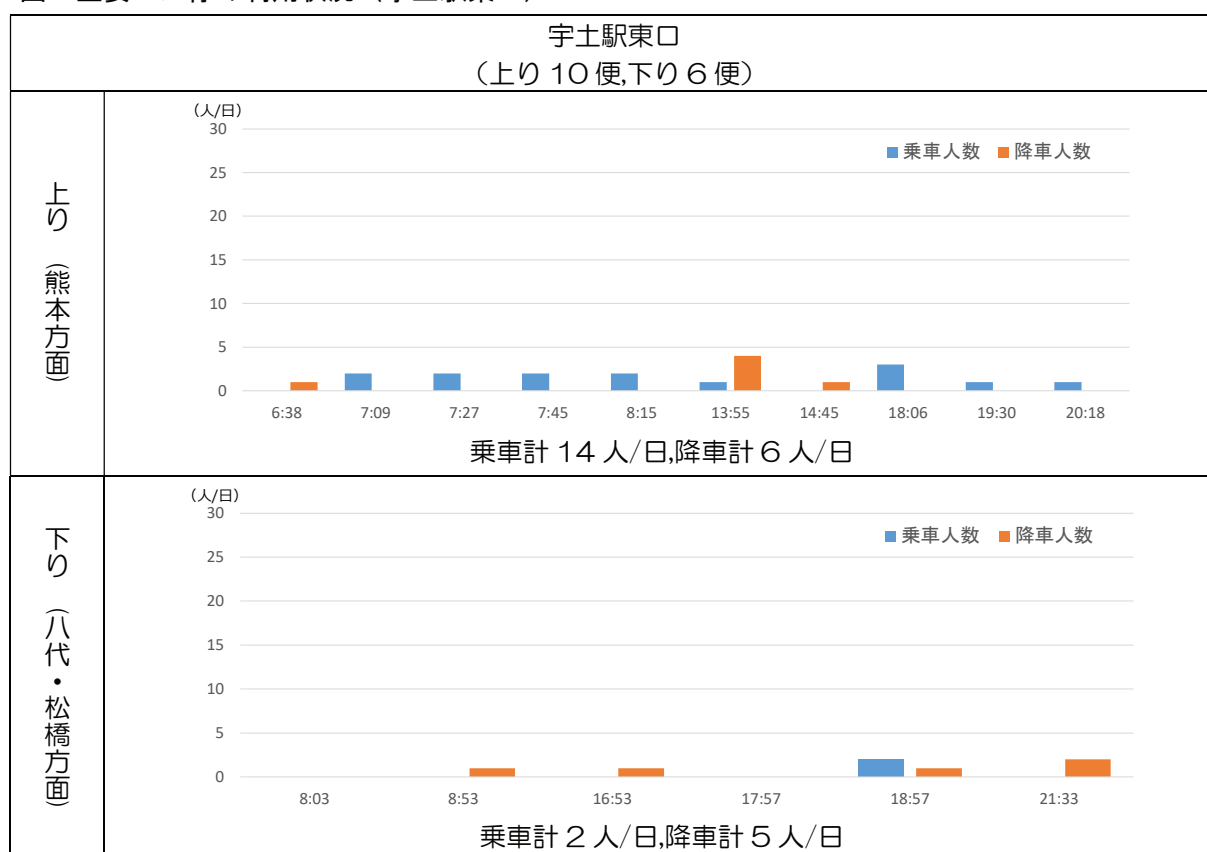
## 2) 主要バス停の利用状況

図 主要バス停の利用状況（宇土駅前）



※調査員が現地で目視で観測可能な範囲で調査しており,実態と若干異なる可能性あり

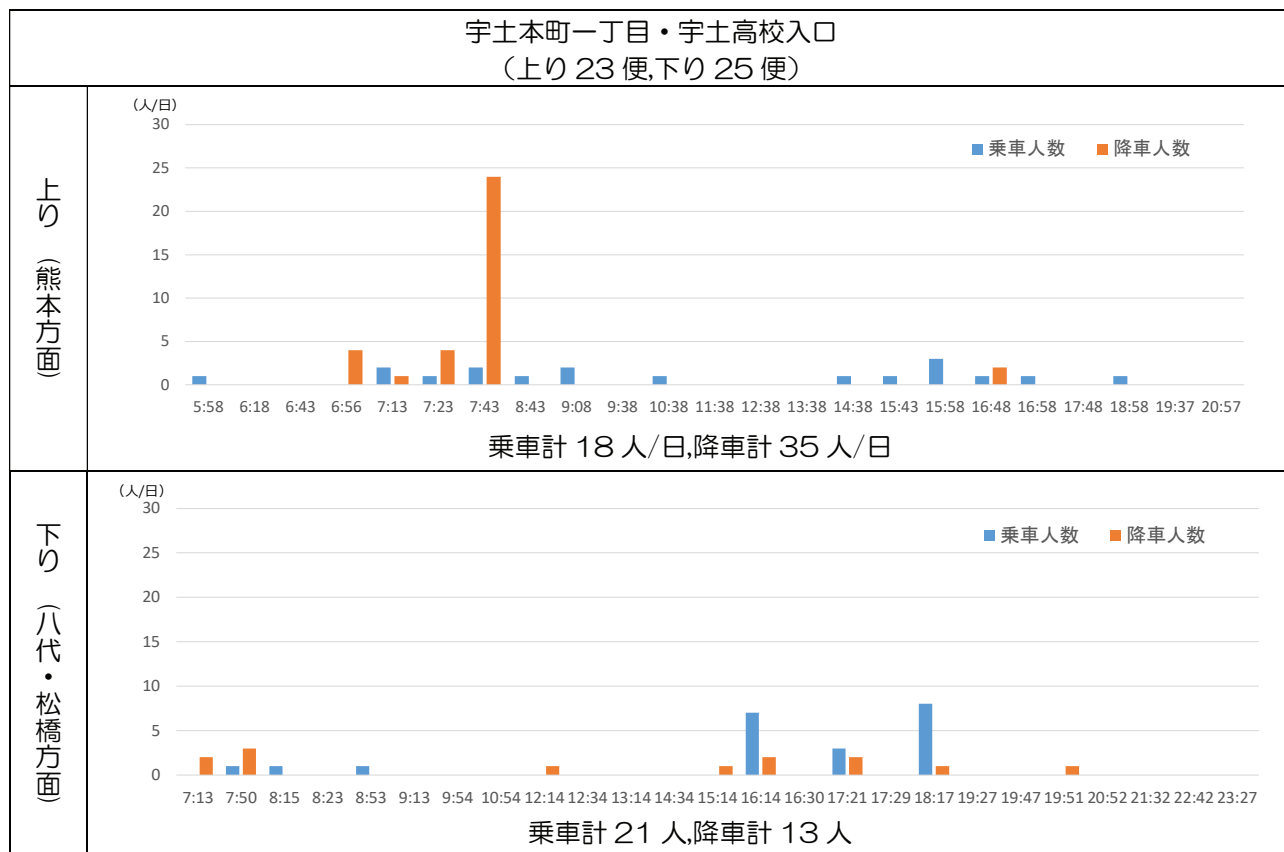
図 主要バス停の利用状況（宇土駅東口）



※調査員が現地で目視で観測可能な範囲で調査しており,実態と若干異なる可能性あり

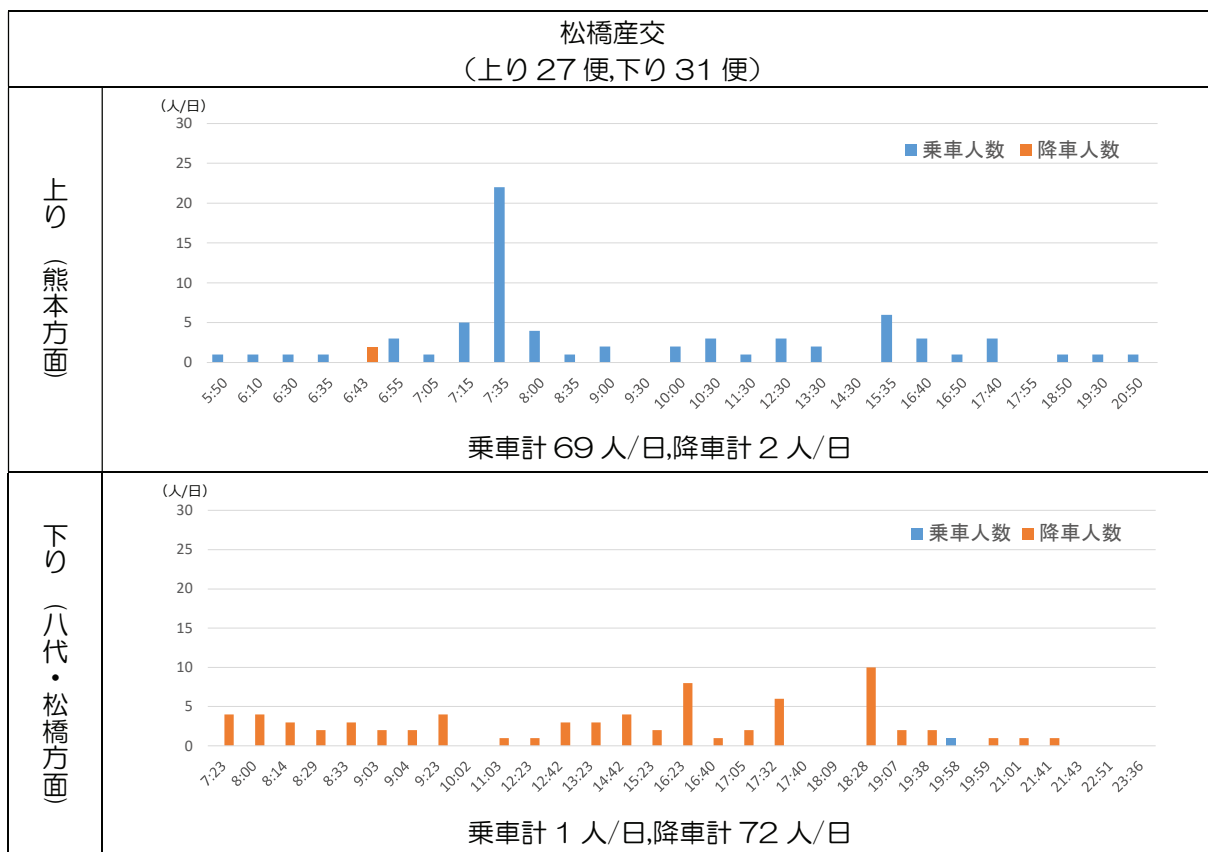


図 主要バス停の利用状況（宇土本町一丁目・宇土高校入口）



※調査員が現地で目視で観測可能な範囲で調査しており, 実態と若干異なる可能性あり

図 主要バス停の利用状況（松橋産交）



※調査員が現地で目視で観測可能な範囲で調査しており, 実態と若干異なる可能性あり

### 3) 路線バス・コミュニティバス・ミニバスの利用状況

図 路線バス停の利用状況

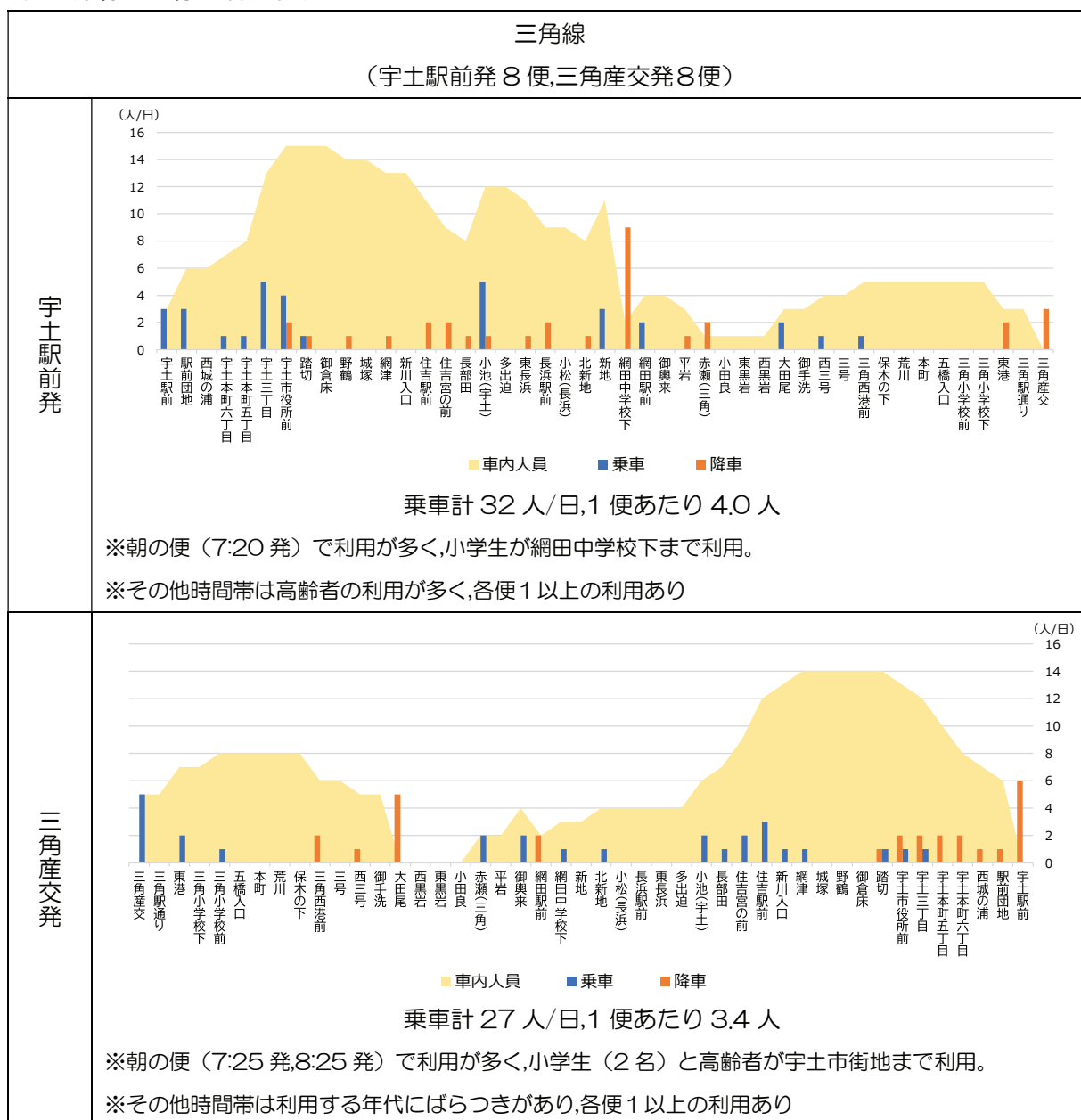


図 コミュニティバスの利用状況

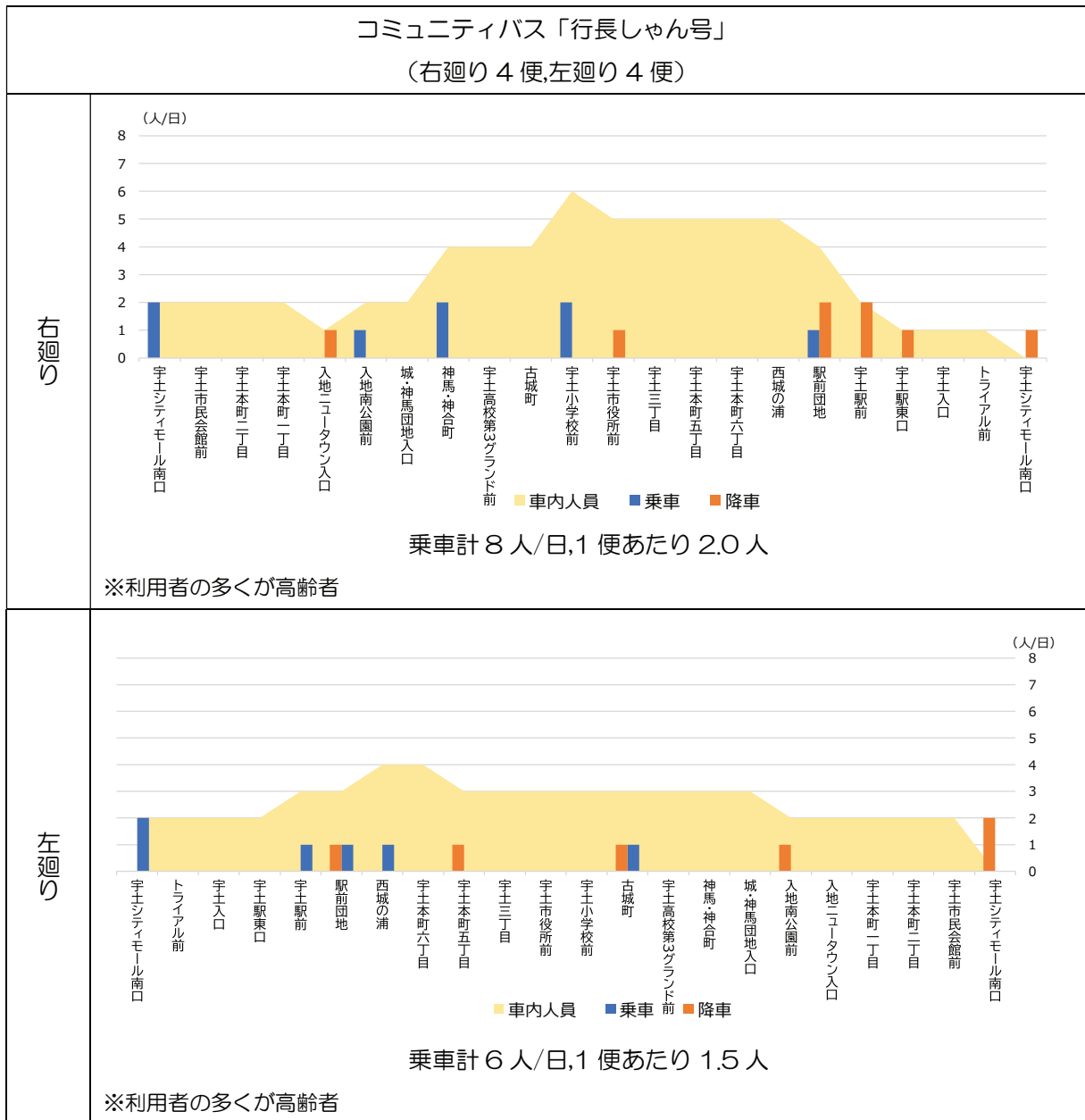


図 ミニバスの利用状況（花園南部線）

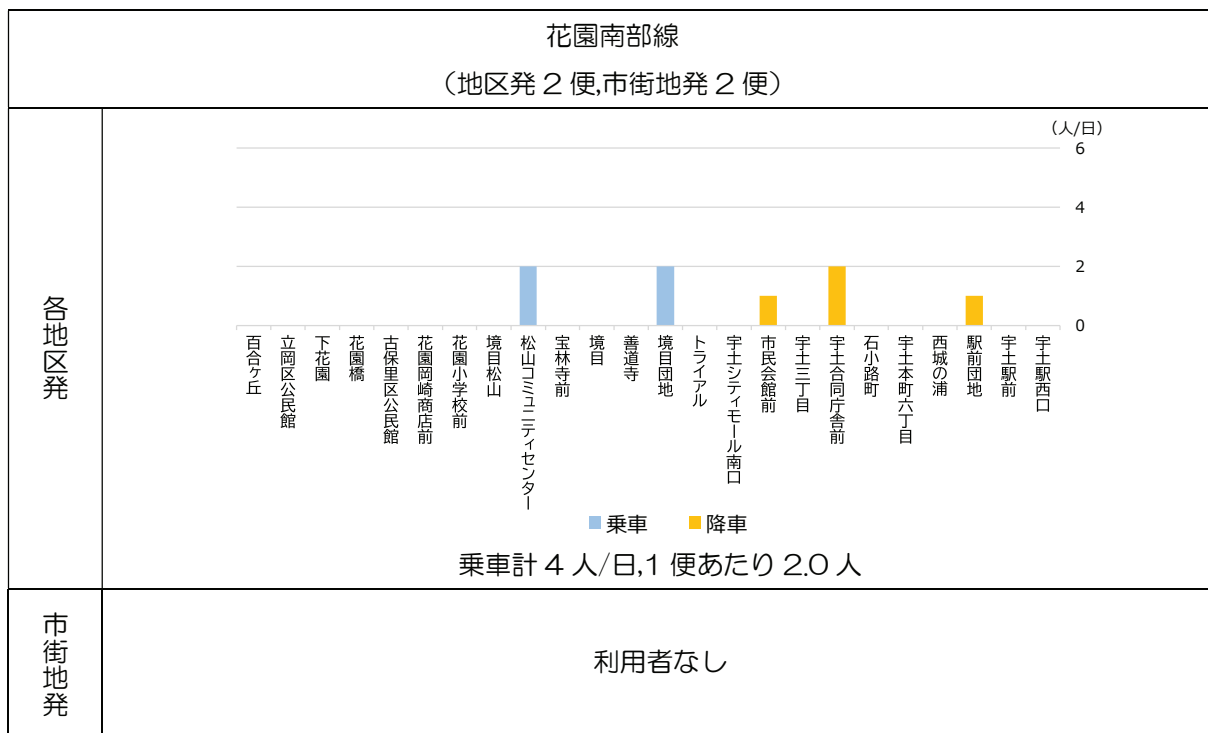


図 ミニバスの利用状況（花園北部線）

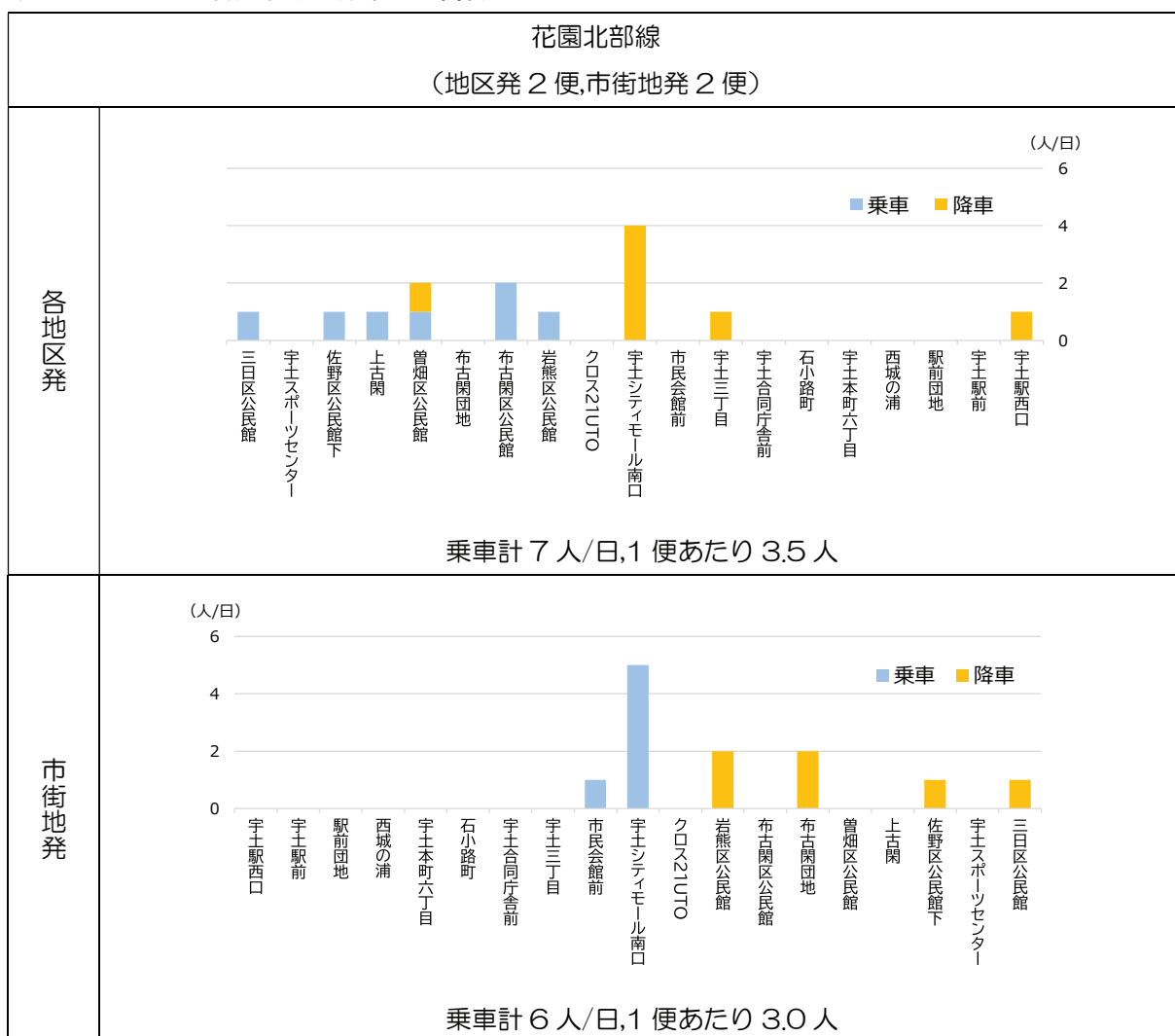


図 ミニバスの利用状況（轟線）

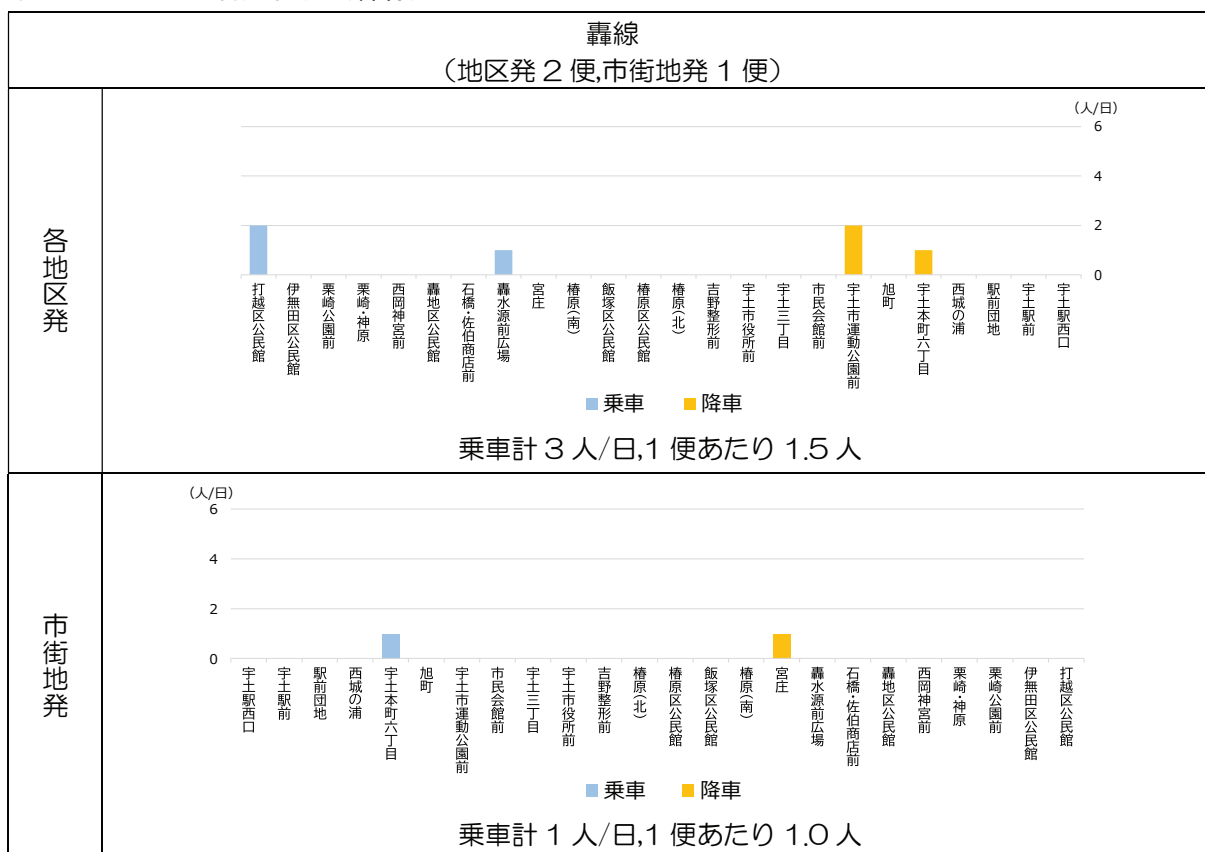


図 ミニバスの利用状況（宇土北部線）

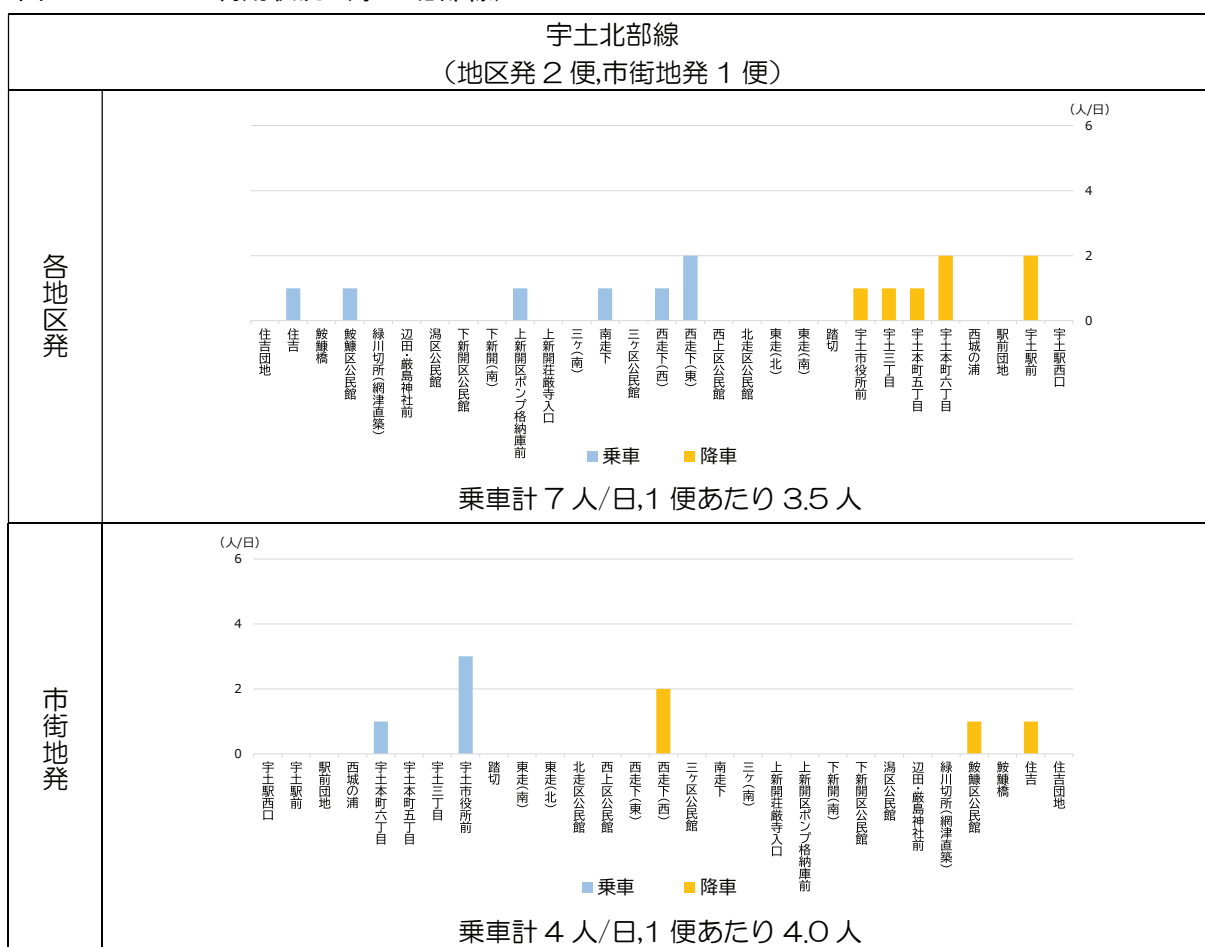
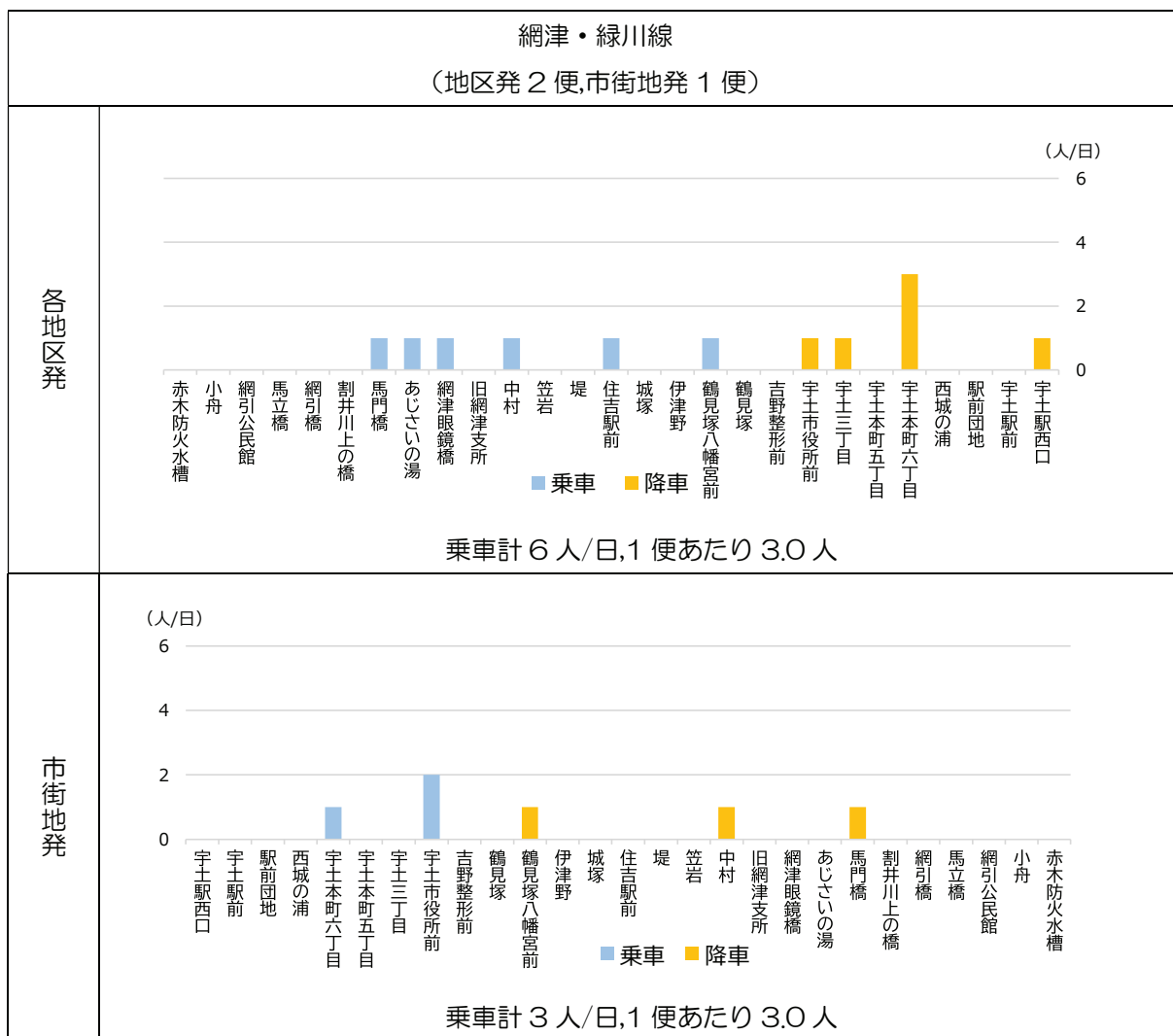


図 ミニバスの利用状況（網津・緑川線）

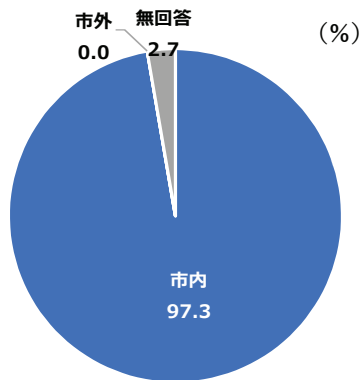


## (2) ミニバス「のんなっせ」アンケート調査結果

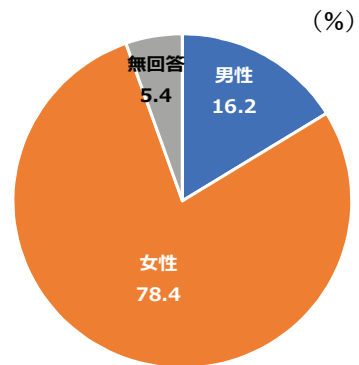
### 1) 利用者の属性

- ・ミニバス「のんなっせ」の利用者は、全て宇土市民となっており、市外の人利用はない状況です。
- ・利用者の約 8 割を女性が占めており、全て 60 歳以上（80 歳以上で約 7 割）の自動車の運転免許証を保有していない人が多く利用している状況です。

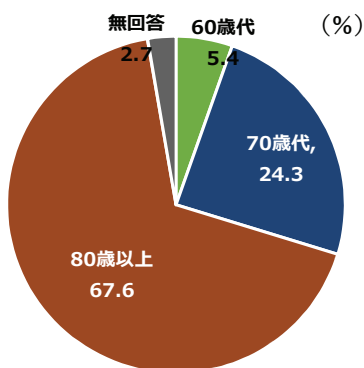
図 利用者の属性



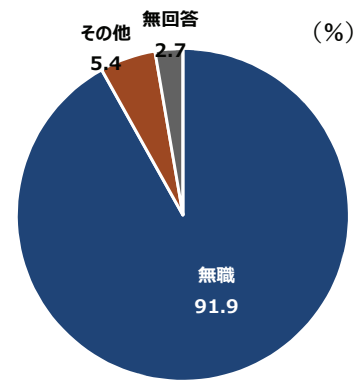
▲居住地 (n=37)



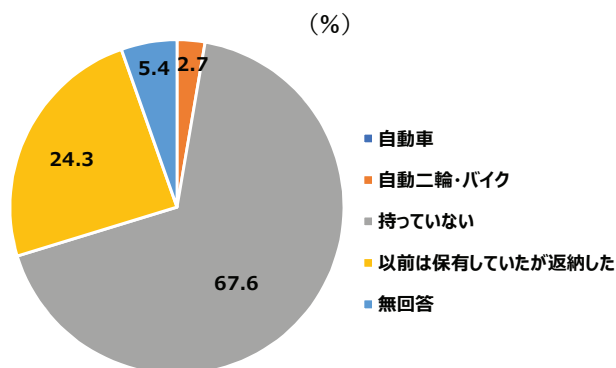
▲性別 (n=37)



▲年齢 (n=37)



職業 (n=37)

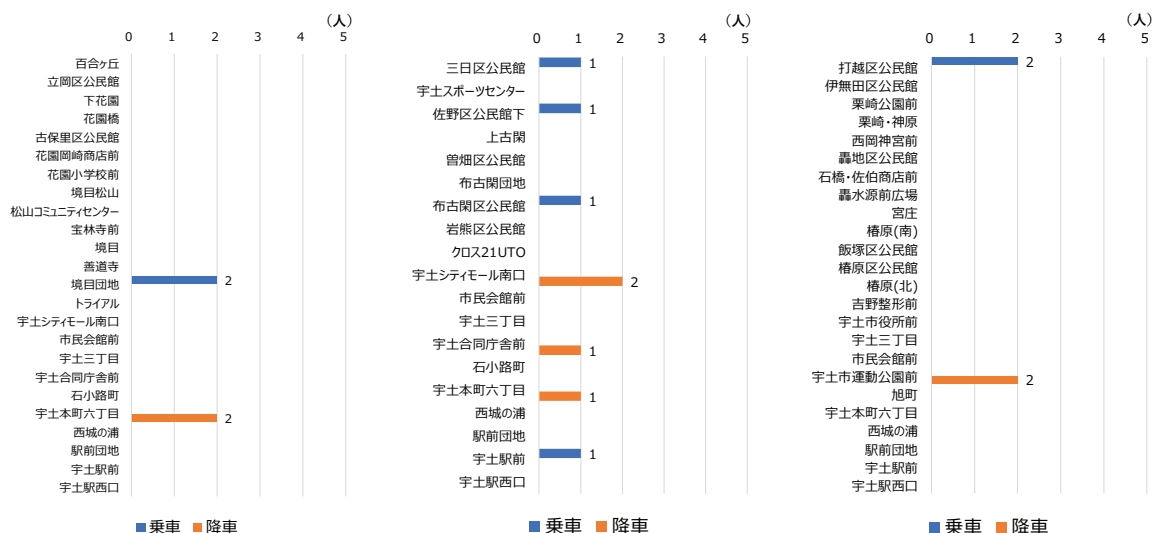


▲運転免許証の保有状況 (n=37)

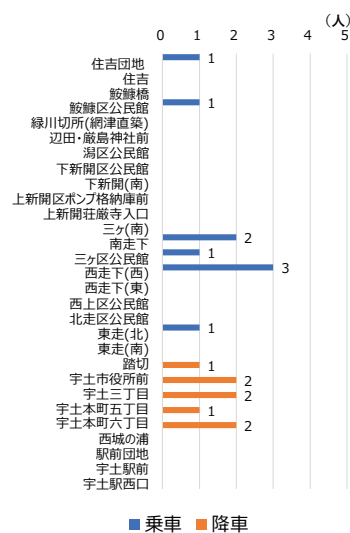
## 2) 利用実態(バス停の乗降状況) ※グラフから無回答は除く

- 全ての路線において、居住地から宇土市街地、もしくは宇土市街地から居住地での利用となっており、地区内での移動のための利用は見られません。
- また、宇土市街地側においても、宇土駅までの利用は少ない状況です。
- その他、花園南部線においては、境目団地より郊外側での利用が見られない状況とともに、轟線においては市街地に近い地域での利用が見られない状況です。

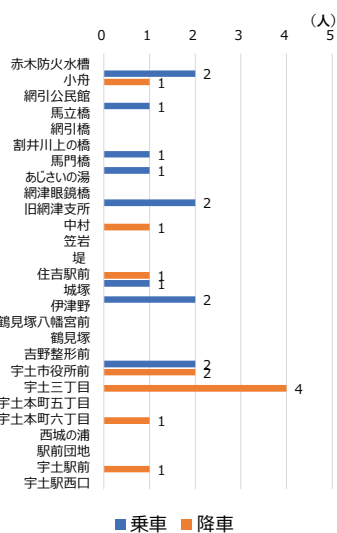
図 バス停の乗降状況



▲花園南部線 (n=3)



▲花園北部線 (n=5)



▲轟線 (n=2)

▲宇土北部線 (n=12)

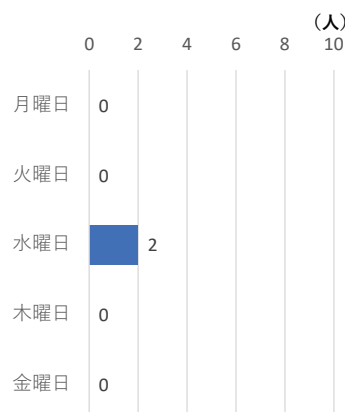
▲網津・緑川線 (n=15)



### 3) 利用実態(利用曜日) ※グラフから無回答は除く

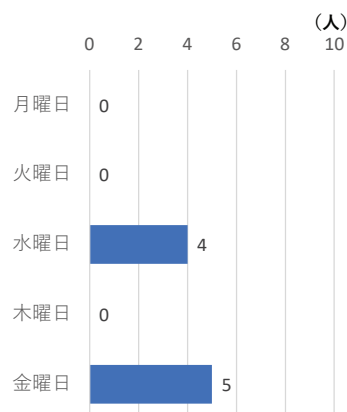
- 各路線,運行している曜日において万遍なく利用されている状況です。
- 一部路線においては,運行している曜日での利用はない状況です。

図 利用曜日



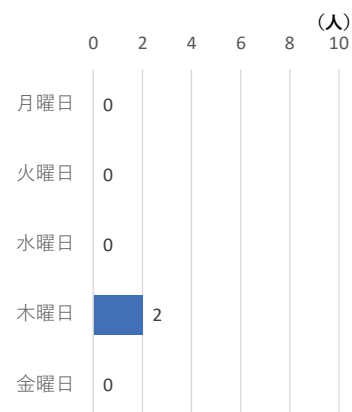
▲花園南部線 (n=3)

※水曜日・金曜日運行



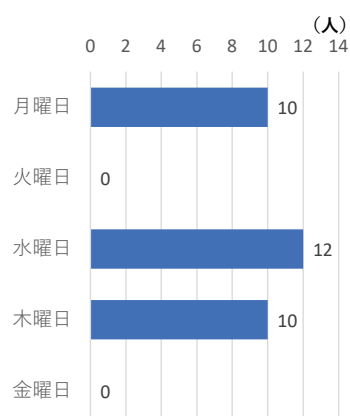
▲花園北部線 (n=5)

※水曜日・金曜日運行



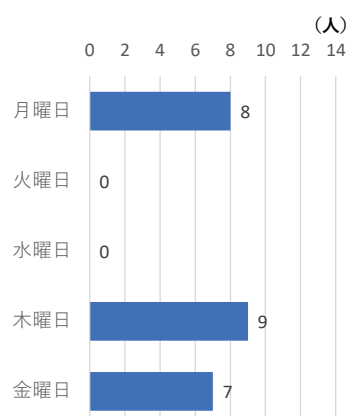
▲轟線 (n=2)

※木曜日運行



▲宇土北部線 (n=12)

※月曜日・水曜日・木曜日運行



▲網津・緑川線 (n=15)

※月曜日・木曜日・金曜日運行

#### 4) 利用実態(その他)

- 利用頻度に関しては、路線によってばらつきがあるものの、花園北部線や宇土北部線ではほぼ毎週が多い状況です。
- 利用目的に関しては、全ての路線で買い物、もしくは通院目的での利用となっています。
- 利用人数は、1 名利用（単独利用）が多い状況ですが、花園南部線や宇土北部線、網津・緑川線においては 3 名以上で利用される方もおられる状況です。

図 利用頻度

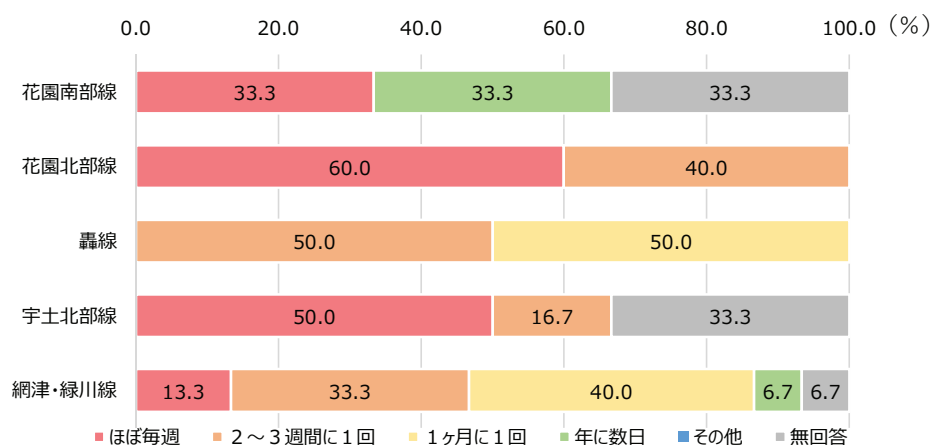


図 利用目的

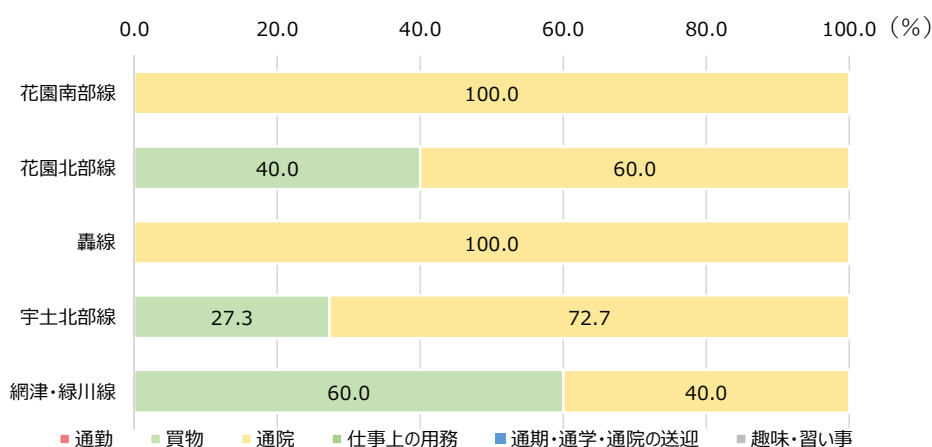
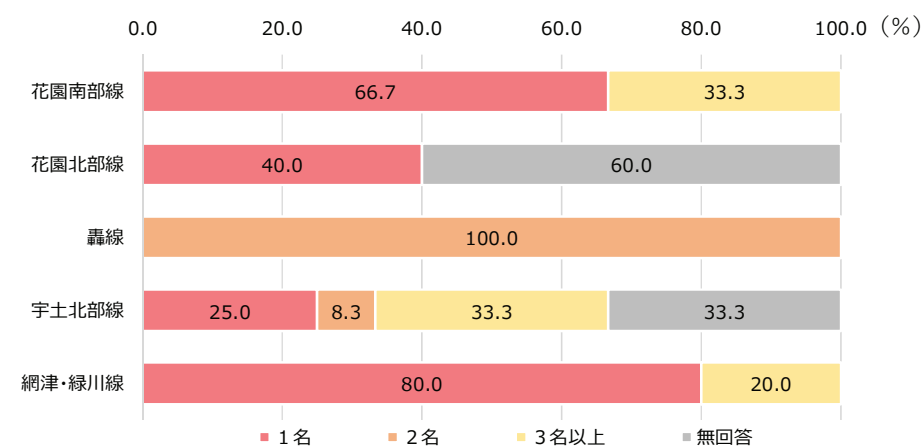


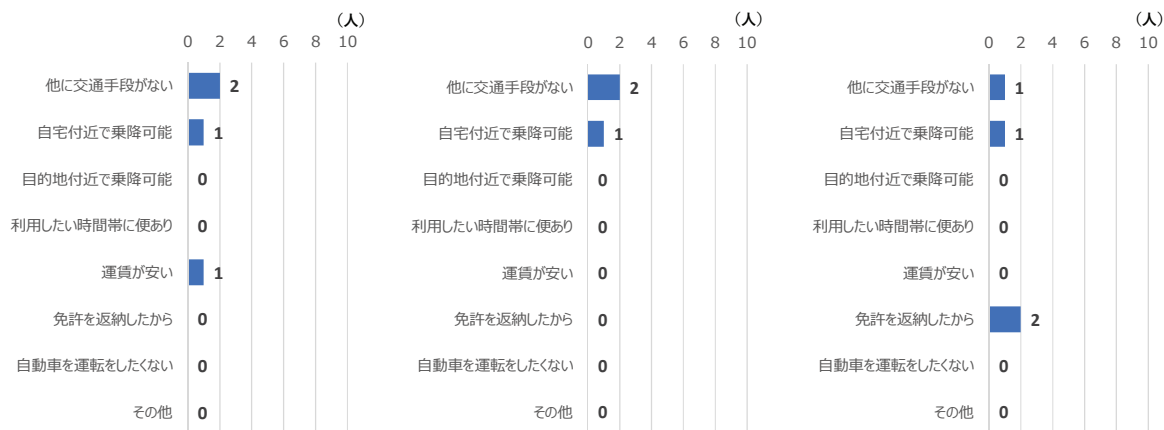
図 利用人数



## 5) 利用する理由

- ・ミニバス「のんなっせ」を利用する理由としては、高齢者で免許非保有者が利用しているため、全体的に「他に交通手段がない」や「免許を返納したから」といった理由が多くなっています。
- ・宇土北部線や網津・緑川線に関しては、「自宅付近で乗降可能」や「運賃が安い」が理由として挙がっており、利用するにあたって自宅からのアクセス性が重要であることがうかがえます。

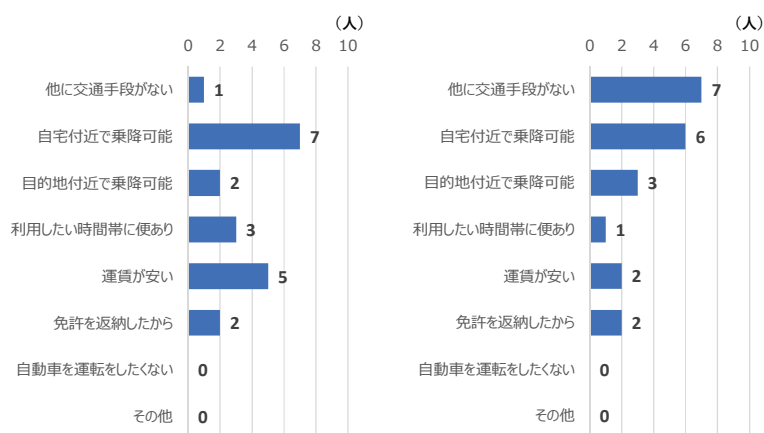
図 利用する理由



▲花園南部線 (n=3)

▲花園北部線 (n=5)

▲轟線 (n=2)



▲宇土北部線 (n=12)

▲網津・緑川線 (n=15)

## 6) 他公共交通との乗り継ぎの有無

- ・ミニバス「のんなっせ」と他公共交通との乗り継ぎについては、各路線において一部見られますが、全体的に乗り継ぎでの移動は少ない状況です。
- ・また、乗り継いで移動する場合の交通手段に関しては、約 7 割がタクシーとなっており、JR や路線バスとの乗り継ぎは見られない状況です。

図 乗り継ぎの有無

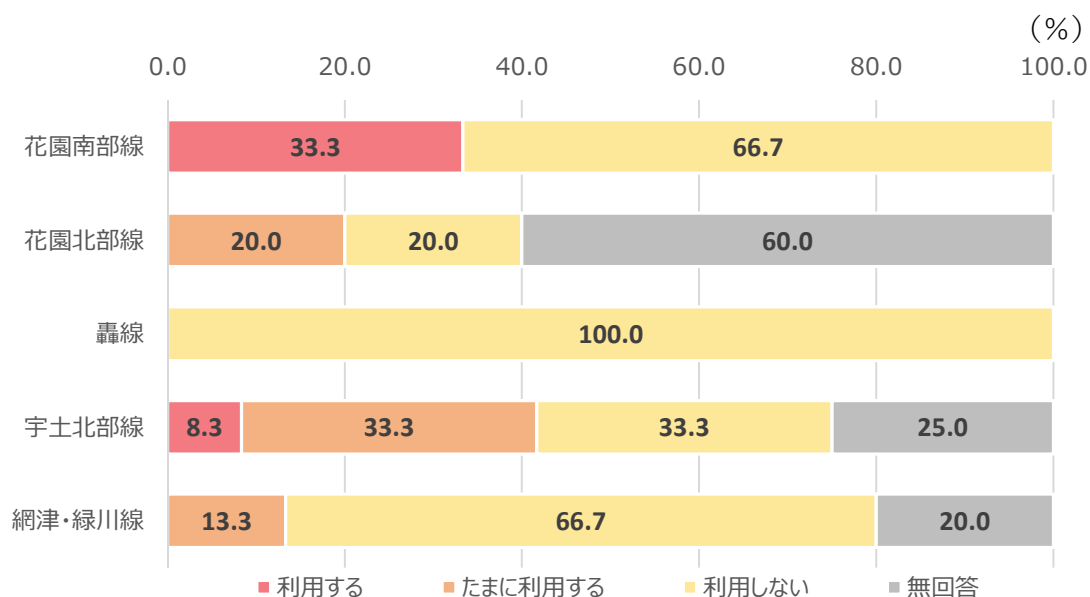
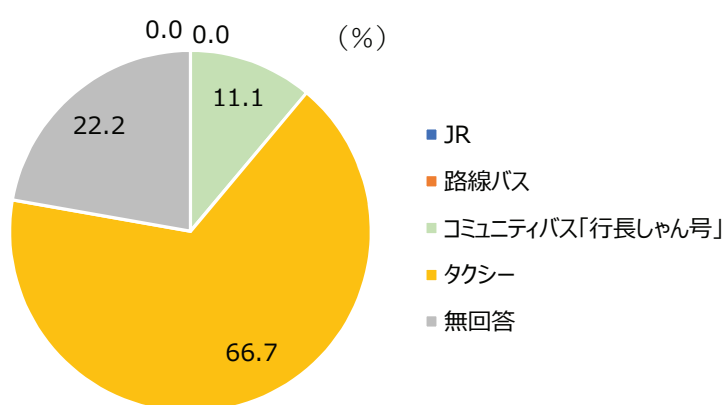


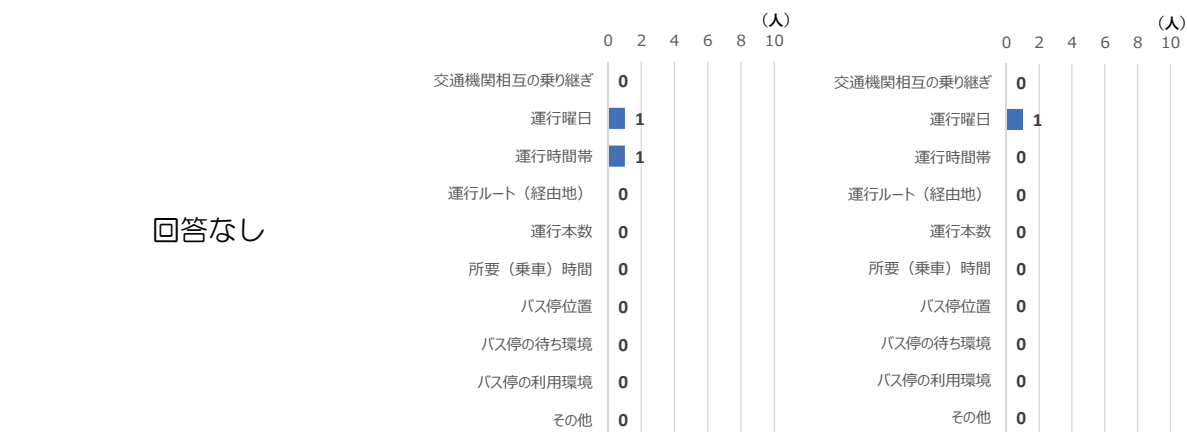
図 乗り継ぐ場合の他交通手段（全路線合計）



## 7) ミニバスの改善要望

- ・ミニバス「のんなっせ」を利用するにあたっての改善点としては、どの路線も「運行曜日」への意見が挙がっています。
- ・その他、宇土北部線や網津・緑川線に関しては、「運行本数」に対する意見も比較的多く挙がっている状況です。

図 改善要望



### ▲花園南部線 (n=3)

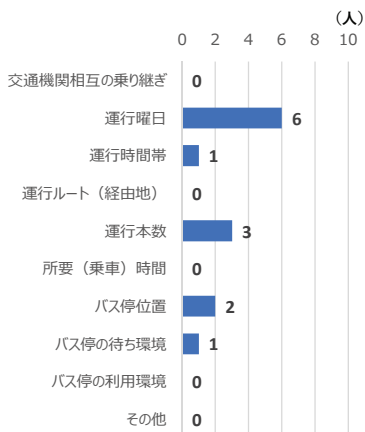
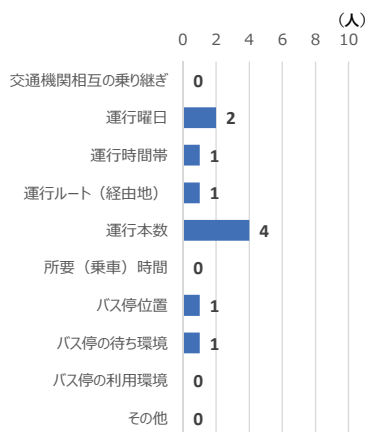
※水曜日・金曜日運行

### ▲花園北部線 (n=5)

※水曜日・金曜日運行

### ▲轟線 (n=2)

※木曜日運行



### ▲宇土北部線 (n=12)

※月曜日・水曜日・木曜日運行

### ▲網津・緑川線 (n=15)

※月曜日・木曜日・金曜日運行

## 8) ミニバス運行内容に伴う利用意向

- 予約型での運行に対しては、轟線では「必ず利用する」との回答が多く、他の路線でも「利用しない」という意見は少ないですが、花園南部線や網津・緑川線では、「利用するか分からない」という回答が多い状況です。
- 運行区間の短縮に対しては、「必ず利用する」との回答も見られる一方、「利用しない」という回答も多く見られ、目的地まで乗り継いで移動することへの抵抗が大きいことがうかがえます。

図 運行ルートや運行本数は同じのまま毎日運行するが、利用にあたっては予約が必要

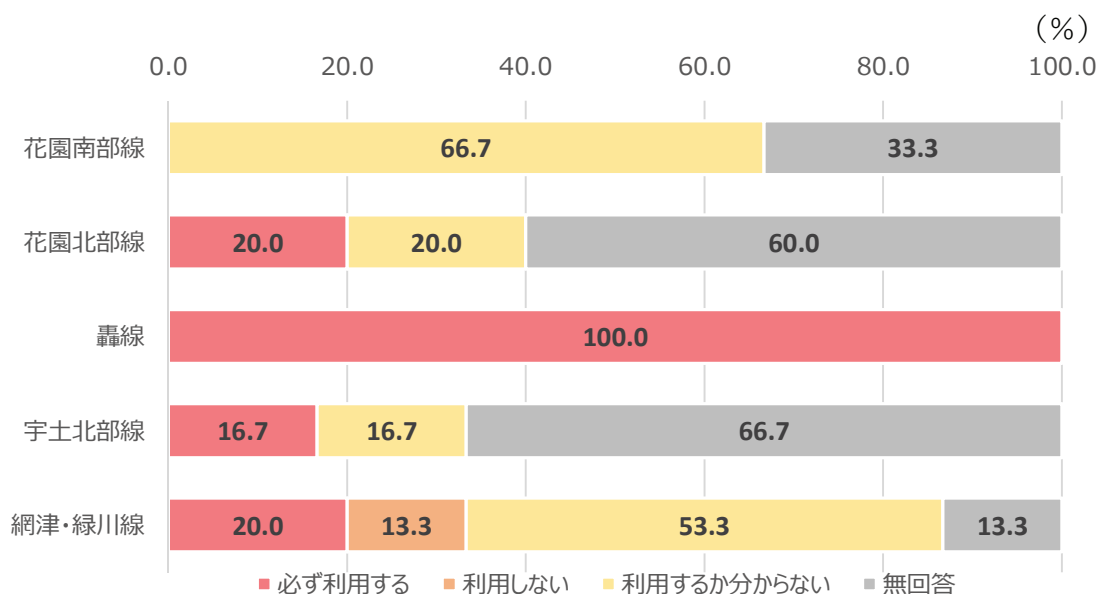
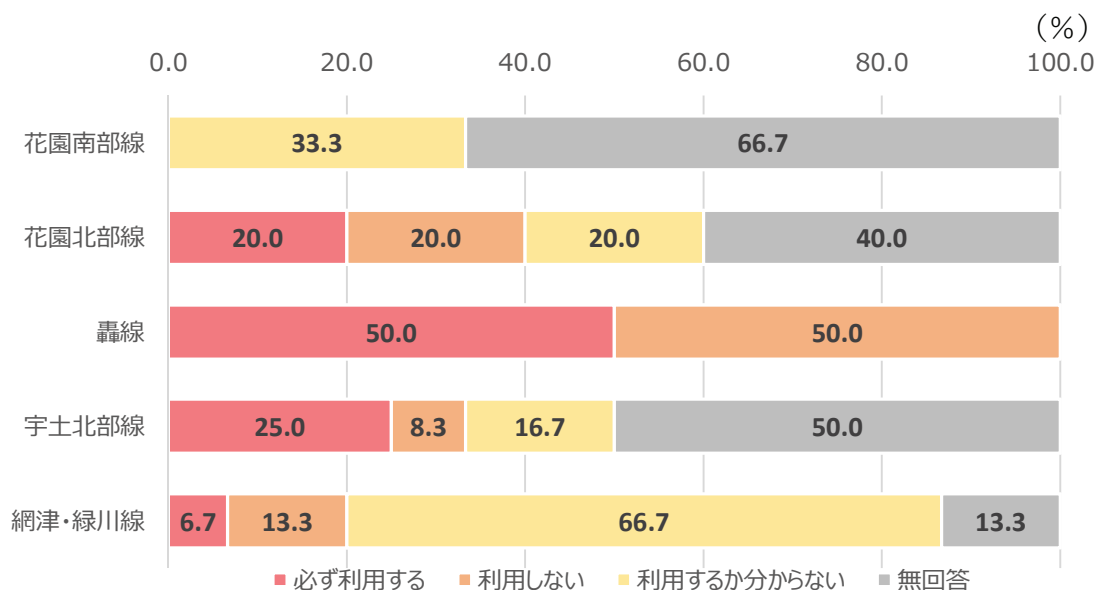


図 現在と同様予約も不要で、運行本数・曜日と同じだが、最寄り駅・路線バスのバス停までの運行



### 3-3 交通事業者ヒアリング調査

#### (1) 鉄道事業者

|      |                                                                                                                                                                                                  |
|------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 調査対象 | JR九州,網田駅 (NPO 法人網田倶楽部)                                                                                                                                                                           |
| 調査方法 | ■web                                                                                                                                                                                             |
| 調査期間 | ■令和3年9月1日(水)~10日(金)                                                                                                                                                                              |
| 調査内容 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域公共交通利用者の実態・ニーズ(利用者からの意見・要望)</li> <li>・運行上の問題,運行に関するドライバーの意見(改善点等)</li> <li>・将来展望(人材及び車両確保,制度面,事業継続に当たっての要望等) など</li> </ul> ※新型コロナウイルス感染症の影響が大きかった時期の状況 |

#### 1) 宇土駅(JR九州)

|                |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
|----------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 利用実態           | ■利用者層：主に通勤・通学 <ul style="list-style-type: none"> <li>・朝 通勤時間帯：06時40分~09時00分頃</li> <li>・夕 通勤時間帯：17時30分~20時30分頃</li> </ul> ■利用実態：宇土駅から熊本方面や八代方面(通学で小川駅へ)           ■利用実績：2020年度 <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 宇土駅：1,504人/日,住吉駅：100人/日程度,その他：100人/日未満</li> </ul> ※コロナの影響で利用者数は大きく減少                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| 鉄道が抱える課題や課題解決策 | ■経営環境について <ul style="list-style-type: none"> <li>・(コロナの影響関係なく)少子高齢化の進展,人口減少に加え将来の労働力不足や激甚化する自然災害など,経営環境は非常に厳しい</li> <li>・加えて,新型コロナウイルス感染拡大の影響で人の動きが止まり,web会議等生活様式も変化</li> <li>・従来,鉄道利用者の駅への流れに依存したビジネスモデルであったため,収入は大きく減少</li> </ul> → 長期的な交通ネットワーク維持のため,業務運営の効率化による徹底的なコスト削減が必要<br>例)電気代削減,空調費削減,利用者が少ない駅の通過等による効率化 など           ■今後の営業施策について <ul style="list-style-type: none"> <li>・安全,安心を最優先とした事業運営</li> <li>・「駅の価値をさらに高めるまちづくり」や「人の流れに依らない新規事業」への取り組み</li> <li>→ 駅の有効活用：自治体や企業等とタイアップしたコミュニティスペース化やカフェなど</li> <li>・ネットシフト推進を通じたイールドマネジメント※1強化：指定席の柔軟な運用など</li> <li>・他輸送機関との競争力を踏まえた切符の価格改定 など</li> </ul> |
| 事業継続にあたっての将来展望 | ・JR九州が運行する列車と宇土市運営のコミバス,ミニバス,タクシー等との接続(二次アクセス)の最適化 <ul style="list-style-type: none"> <li>・MaaS※2を活用した公共交通機関の利用者増</li> <li>・安全・安心なモビリティサービスを軸に地域の特性を通じたまちづくりを通じて九州の持続的な発展に貢献</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 地域公共交通に対する提案   | ・鹿児島本線(宇土駅)及び三角線沿線(緑川駅~赤瀬駅)のについての駅周辺活性化 ※公共施設,病院,住宅,商店等々 <ul style="list-style-type: none"> <li>・沿線や広場等を活用したまちのにぎわいづくり</li> <li>・当該線区の現状に関する事業者・自治体との相互理解の深度化</li> <li>・通勤通学利用を含む,地域の足としての利用促進に向けた自治体からのさらなる働きかけ</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |

※1 顧客の購入意欲に合わせて商品の価格と量を調節し,収益を最大化する戦略。

※2 「Mobility as a Service (モビリティ・アズ・ア・サービス)」の略称で,鉄道・バス・タクシーなど複数の交通機関のサービスをひとつのサービスとして結び付け,人々の移動を大きく変える概念

## 2) 網田駅(NPO 法人網田倶楽部)

|                |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|----------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 利用実態           | <p>■利用者層：通勤通学や高齢者の買い物・通院,観光利用など</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・7～8 時台：網田小中学校の通学,通勤が多い(通勤は上りが多い)</li> <li>・9～10 時台：高齢者や免許を持っていない方の通院・買い物利用者が多い</li> <li>・観光利用は県外から</li> </ul> <p>■利用実態：観光関連</p> <p>→ JR ウォーキング(200～300 人)やサンセットウォーキング(20～30 人)など月 1 回程度イベントを開催</p> <p>※JR ウォーキングの時は,駅⇄マリーナのシャトルバス</p> <p>■利用実績：網田小中学校利用者は 16 人程度(帰宅は 16 時ごろ,駅の交流施設で宿題)</p> <p>※午前中に 30 人程度利用し,定期利用者が多い</p> |
| 鉄道が抱える課題や課題解決策 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・二次交通との一体的利用</li> <li>→ 鉄道への自転車の乗り込み可を希望：折りたたむ必要あり</li> <li>・その他サービス</li> <li>→ 鉄道へのペットの乗り込み許可</li> <li>→ 県外利用者へのサービス拡充</li> <li>例) アミュプラザでの割引券やスタンプラリーなど</li> </ul>                                                                                                                                                                                            |
| 事業継続にあたっての将来展望 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・路線バスや乗合タクシーとの時間調整などの連携が必要</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| 地域公共交通に対する提案   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・行政によるPR活動の強化</li> <li>→ 駅舎のPR,地域にある物産・観光のPR</li> <li>例) 駅を基点とした観光マップ(御輿来海岸への案内など)</li> <li>・自治体連携による利用促進</li> <li>→ 熊本市や宇城市と連携した利用促進</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                |



## (2) バス事業者

|      |                                                                                                                                                                                                  |
|------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 調査対象 | 九州産交バス,産交バス,熊本バス                                                                                                                                                                                 |
| 調査方法 | ■web                                                                                                                                                                                             |
| 調査期間 | ■令和3年9月1日(水)~10日(金)                                                                                                                                                                              |
| 調査内容 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域公共交通利用者の実態・ニーズ(利用者からの意見・要望)</li> <li>・運行上の問題,運行に関するドライバーの意見(改善点等)</li> <li>・将来展望(人材及び車両確保,制度面,事業継続に当たっての要望等) など</li> </ul> ※新型コロナウイルス感染症の影響が大きかった時期の状況 |

### 1) 九州産交バス

|                  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
|------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 利用実態             | <ul style="list-style-type: none"> <li>■利用者層：学生や高齢者</li> <li>■利用時間帯：主に朝と夕方の通勤通学の時間帯</li> <li>■利用実態：通勤・通学・通院</li> <li>■利用頻度：通学の利用が高い</li> <li>■輸送実績の動向               <ul style="list-style-type: none"> <li>：2020年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、対前年比で86%,2021年度は変動はあるが同程度</li> <li>：1便当たり輸送人員は20人程度で減少傾向</li> </ul> </li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| 路線バスが抱える課題や課題解決策 | <ul style="list-style-type: none"> <li>■利用促進面               <ul style="list-style-type: none"> <li>・競合整理：運行の効率化,運行間隔の適正化</li> <li>・パターンダイヤ計画：運行間隔の適正化,安定した利便性の確保</li> </ul> </li> <li>■需要創出面               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ターゲットを絞った乗車券の創造(学生限定の往復乗車券)</li> <li>・定額制を売りにしたエリアフリー乗車券(さんこーたいむバス)                   <ul style="list-style-type: none"> <li>→以前,宇土市の学生限定のフリーバスを販売していたが,利用者が少なかったため廃止(松橋⇄桜町を500円で運行)</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>■経営面               <ul style="list-style-type: none"> <li>・乗務員不足                   <ul style="list-style-type: none"> <li>→乗務員約340名の2021年4月時点の平均年齢は48.5才であり,10年後は約半数が定年となる</li> <li>→乗務員不足を解決するために乗務員の採用を強化したい</li> <li>→そのためには,待遇改善(給与UP,休日増)が必要だが,その体力がない(現在,従業員の賞与をカットしている状況である)</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul> |
| 事業継続にあたっての将来展望   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・各交通モードのすみ分け               <ul style="list-style-type: none"> <li>→JR,バス,コミバス,タクシー等の交通モードが,市町村の移動規模に応じて役割を整理し,すみ分けることが必要</li> <li>→幹線(大量輸送)：JR</li> <li>幹線への支線：バス</li> <li>循環的市内移動：コミュニティバス,タクシー</li> </ul> </li> <li>・運行路線の維持               <ul style="list-style-type: none"> <li>→大型二種の担い手減少に伴う運転士不足で路線維持が困難な状況である</li> <li>→バス小型化,利便性の面で運行時間帯,運行頻度の担保するためには,20名/便以上の利用が無いエリア選定や1運行〇〇分以内などの条件をつける必要がある</li> </ul> </li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 地域公共交通に対する提案     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・幹線,支線,循環等のすみわけ</li> <li>・学生向けの交通費の支援               <ul style="list-style-type: none"> <li>→天草市が実施しているような高等学校への通学に係る交通費の支援(定期券代の2分の1)を実施 など</li> </ul> </li> <li>・小学生向けの乗り方教室については対応可能</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |

## 2) 産交バス

|                  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 利用実態             | <p>〔一般路線バス〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■利用者層：全体的に中高生や高齢者となっている</li> <li>■利用時間帯：主な利用時間帯としては、朝と夕方での利用<br/>※昼間時間帯の利用は少ない</li> <li>■利用実態： <ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>走湯線</u> 川口～桜町B T間での利用(令和3年7月末廃止)</li> <li>・<u>済生会病院線</u><br/>川尻～済生会病院・熊本中央病院間 済生会病院・熊本中央病～熊本市内間<br/>熊本市内での移動(令和3年7月末に熊本～川尻間へ短縮)</li> <li>・<u>砥用線</u> 砥用方面～松橋駅・宇土本町1丁目間で利用(通勤通学生)</li> <li>・<u>三角線</u> <u>三角～網田駅間(主に通学)</u>と<u>網田駅～宇土市間で利用が分離</u></li> <li>・<u>宇土駅松橋線</u> 松橋産交～宇土本町1丁目間での利用(宇土高校生)</li> </ul> </li> <li>■利用頻度 <ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>砥用線</u> 平日は宇土高校生の通学や通勤者が利用するため頻度は高い</li> <li>・<u>三角線</u> <u>通学時間以外についてはやや低め(JR 路線重複)</u></li> <li>・<u>宇土駅松橋線</u> 平日は宇土高校生の通学のため利用頻度は高い</li> </ul> </li> <li>■輸送実績の動向 <ul style="list-style-type: none"> <li>：2020年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、<u>対前年比で87%</u>、2021年度は変動はあるが同程度</li> <li>：1便当たり輸送人員は7.0人程度で減少傾向</li> </ul> </li> </ul> <p>〔コミュニティバス「行長しゃん号」〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■利用者層：主に高齢者</li> <li>■利用時間帯：万遍なく利用があるが、比較的午前中が多い</li> <li>■利用実態：商業施設又は宇土駅への利用</li> <li>■利用頻度：比較的固定された利用</li> <li>■輸送実績の動向 <ul style="list-style-type: none"> <li>：2020年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、<u>対前年比で80%</u>であったが2021年度は<u>現在無料運行を実施している影響で利用が大きく増加(約2倍)</u></li> <li>：1便当たり輸送人員は3.0人程度 → ミニバス運行等に伴う影響はなし</li> </ul> </li> </ul> |
| 路線バスが抱える課題や課題解決策 | <p>〔一般路線バス〕</p> <p>九州産交バスと同様</p> <p>※<u>三角線に関しては快速あまくさ号と競合区間が存在するため、それらの改善は考えられる</u></p> <p>〔コミュニティバス「行長しゃん号」〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■利用促進面 <ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>日曜日は運行していないため学生の利用ができない</u></li> </ul> </li> <li>■需要創出面 <ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>バスに乗るメリットの周知が必要</u></li> <li>・<u>商業施設とコラボしたイベントの実施</u></li> <li>・さらには、施設相互でお得な割引等の実施が必要</li> </ul> </li> <li>■運行面 <ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>運行便数について</u> <ul style="list-style-type: none"> <li>→利用目的である商業施設(トライアル・クロス 21)が比較的広範囲に点在してるため、<u>運行距離が長くなり、それにより運行便数に制限がかかる</u></li> <li>→また、運転手の休憩時間も短時間しか確保できない状況</li> <li>→運行当初はコンパクトに運行していたため、現在よりも運行便数を確保できていた</li> <li>→クロス 21 までの延伸は宇土市と市民の声によるもの</li> <li>→<u>循環バスは、所要時間・運行便数は重要なポイント</u></li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 事業継続にあたっての将来展望   | 九州産交バスと同様                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| 地域公共交通に対する提案     | <p>九州産交バスと同様</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>高齢者向けの乗り方教室</u>は実施した事例あり(玉名)</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |

### 3) 熊本バス

|                  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 利用実態             | <p>■利用者層：主に通勤通学での利用,さらには病院への通院</p> <p>■利用時間帯：朝夕の時間帯が主,昼間時間帯は少ない</p> <p>■利用実態：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・城南線</li> <li>・宇土市↔熊本市内の路線沿線（旧浜線）の中央病院などの移動が多い</li> <li>・イオンモール熊本で乗り換えて御船や甲佐方面へ通学する人もいる</li> <li>・宇土高校への通学者もいる</li> </ul> <p>■利用頻度：</p> <p>■輸送実績の動向</p> <p>：朝夕に関しては問題ないが,昼間の利用者は減少</p>                                                                                                                         |
| 路線バスが抱える課題や課題解決策 | <p>■利用促進面</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ダイヤ改正時の対応 <ul style="list-style-type: none"> <li>→沿線事業者への時刻表の配布や以前は住民への時刻表のポスティング等も行った</li> <li>→時刻表を持って,説明を行ったこともある</li> </ul> </li> </ul> <p>■経営面</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・運転手不足 <ul style="list-style-type: none"> <li>→利用者減少への対応や感染防止対策等を実施しながら利便性の確保,乗客数の多い朝夕時間帯を対象に必要な便数の増加等を図っていきたいと考えているが,運転手不足の問題が大きい</li> </ul> </li> </ul>                          |
| 事業継続にあたっての将来展望   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・他事業との連携 <ul style="list-style-type: none"> <li>→JR から派生する駅利用者やコミバスの利用客をどのようにカバーしていくかが重要である（乗り継ぎが重要）</li> </ul> </li> <li>・運行本数の確保 <ul style="list-style-type: none"> <li>→城南線：朝夕のみは運行本数を確保していきたい</li> <li>→昼間時間帯を城南営業所等で時間を併せてどうやってダイヤ編成していくかが課題</li> <li>→日曜日も運行なし</li> <li>※運行距離を短くして運行頻度を上げようとする,必要な運転手が増える可能性があり悩ましい</li> <li>※クロス 21UTO への対応は,利用者の要望なども踏まえて検討していきたい</li> </ul> </li> </ul> |
| 地域公共交通に対する提案     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・乗り方教室の実施</li> <li>・小学生への乗り方教室に関しては要望があれば対応する <ul style="list-style-type: none"> <li>→10~12 月は繁忙期のため,6~8 月が理想</li> <li>→一般向けの乗り方教室は人が集まりにくい可能性がある</li> </ul> </li> </ul>                                                                                                                                                                                                                         |

### (3) タクシー事業者

|      |                                                                                                                                                                                                  |
|------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 調査対象 | 宇城タクシー,中川タクシー,西田タクシー                                                                                                                                                                             |
| 調査方法 | ■web                                                                                                                                                                                             |
| 調査期間 | ■令和3年9月1日(水)～10日(金)                                                                                                                                                                              |
| 調査内容 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域公共交通利用者の実態・ニーズ(利用者からの意見・要望)</li> <li>・運行上の問題,運行に関するドライバーの意見(改善点等)</li> <li>・将来展望(人材及び車両確保,制度面,事業継続に当たっての要望等) など</li> </ul> ※新型コロナウイルス感染症の影響が大きかった時期の状況 |

#### 1) 宇城タクシー

|                          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
|--------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| タクシーの<br>利用実態            | <p>〔事業者の概要〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■保有車両台数：小型車両 11 台,ジャンボタクシー1 台</li> <li>■輸送実績：平均 10 数回/日・台程度 (3～4 割減少)</li> </ul> <p>〔利用実態〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■利用者層：ほぼ固定客 → 車の運転ができない高齢者が多い</li> <li>■利用時間帯：朝 9～10 時台の病院やスーパーの開店時間帯に利用が集中<br/>帰宅は昼頃 ※スーパー特売日の火曜日と木曜日の利用が多い</li> <li>■利用実態：昼間の通院・買い物利用などのみ(減少傾向)</li> <li>■利用頻度：高齢者は 1 回/週程度 ※毎日タクシーを利用し外出する人もいる</li> <li>■輸送実績の動向：出張利用や夜の利用が大きく減少</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| ミニバスの<br>利用実態            | <ul style="list-style-type: none"> <li>■利用実態：町内の買い物や通院利用がメイン(駅は少ない)</li> <li>■輸送実績の動向：               <ul style="list-style-type: none"> <li>→花園線は利用が多く,8～9割は固定客 ※免許返納者など新規利用者も存在</li> <li>→轟線は高齢化が進展し利用者が減少 ※新規も少なく,7～8 名の固定客のみ</li> <li>※行きはミニバス利用で,帰宅時はタクシー利用もある</li> </ul> </li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| ミニバスが<br>抱える課題や<br>課題解決策 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・免許返納者増加による需要の増加               <ul style="list-style-type: none"> <li>→団塊の世代が 70 歳代後半となり,免許返納が進むため,今後 10 年間は更に増加すると見込まれる</li> </ul> </li> <li>・ミニバスは固定路線のため,自宅から離れている人は利用できない               <ul style="list-style-type: none"> <li>→路線やバス停から離れている方の移動手段の確保が課題</li> </ul> </li> <li>・利用者から自宅近くで乗降したいという要望あり               <ul style="list-style-type: none"> <li>→可能な範囲で安全を確認し対応しているが,指定されているルートを外れることはできない</li> </ul> </li> </ul> <p>【轟線】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・隣近所の付き合いがあまりなく,個人の利用が多い印象</li> <li>・轟線は,町に近いので,タクシーで比較的に安価に移動できるため,ミニバスの利用は少ないとも考えられる</li> <li>・現在の便数を増やしても轟線の利用が増えるとは考えづらい</li> </ul> <p>【花園線】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現行ダイヤで十分</li> <li>・利用者間でのコミュニケーションが活発で,近所の方を誘って買い物に行かれるなど,集まって利用されることも多い</li> </ul> |
| 事業継続に<br>あたっての<br>将来展望   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・デマンドの乗合タクシーの導入               <ul style="list-style-type: none"> <li>→デマンドの乗合タクシーへの切り替えは,網田での利用状況を見て判断したい</li> <li>→区域運行にする場合,ルート選択などはアプリなどで効率化が必要</li> </ul> </li> <li>・乗り方教室の実施               <ul style="list-style-type: none"> <li>→高齢者には,路線バスやコミバス,ミニバスなど利用方法が分からない方も多い</li> </ul> </li> <li>・公共交通の乗降場所の整備               <ul style="list-style-type: none"> <li>→どこかにいれば乗ることができる公共交通の核となる場所が必要</li> <li>→ベンチや上屋等が整備されたもの(老人センターなど)</li> </ul> </li> <li>・キャッシュレス決済への対応               <ul style="list-style-type: none"> <li>→近年,年配の方でもキャッシュレス決済が進んでおり,70～80 歳代の方でも PayPay を利用</li> <li>→事業者にとっては,手数料がかかるため現金利用ありがたいが,利用者にとっての利便性は向上</li> <li>→キャッシュレス決済利用者は,昨年から 2 倍程度に増えている</li> <li>→くまモンの IC カードなど,買い物と共通のカードで,ポイントも溜まれば喜ばれるのではない</li> </ul> </li> </ul>      |

## 2)中川タクシー

|                  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
|------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| タクシーの利用実態        | <p>〔事業者の概要〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■保有車両台数：小型車両 9 台,ジャンボタクシー1 台</li> <li>■輸送実績：平均 10 回/日・台程度（コロナ前の半分程度）</li> </ul> <p>〔利用実態〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■利用者層：高齢者が中心</li> <li>■利用実態：宇土市内での通院や買い物利用<br/>※月に数回,熊本駅や三角済生会病院への利用あり<br/>※スーパー特売日の木曜日の利用が多い</li> <li>■利用頻度：高齢者は 1 回/週程度<br/>※毎日タクシーを利用し外出する人もいる</li> <li>■輸送実績の動向：出張利用や夜の利用が大きく減少</li> </ul>                                                                                                                                                 |
| ミニバスの利用実態        | <ul style="list-style-type: none"> <li>■利用者層：高齢者でほぼ固定客</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| ミニバスが抱える課題や課題解決策 | <ul style="list-style-type: none"> <li>■運行面 <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業者としては,タクシー利用が少ない土日も運行したい<br/>→ 一人暮らしの人からは土日運行の要望有</li> <li>・定時定路線での運行が対応しやすい</li> </ul> </li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| 事業継続にあたっての将来展望   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・運転免許返納者へのタクシー半額券（又は 1/3 補助）の配布<br/>→タクシー事業者にとっても有効であり,利用者にとっても公平性が保たれ,利便性もよい</li> <li>・バスルートやバス停の整備について<br/>→コミバス：ルートやバス停が決まっており,ルートやバス停から離れている人は,利用できず,不公平<br/>→のんなっせ：運行していない地域の方は,あきらめている状況<br/>※利用者から,できるだけ家の近くで乗降したいと要望があるが,既存路線バスの制約があり,改善できない</li> <li>・乗合バスの協働運行<br/>→路線バスから乗合バスに移行し,タクシー事業者 3 社で運行することで,より細かなサービスの提供が可能</li> <li>・デマンド運行について<br/>→網田でデマンド運行を始めるが,事業者としては,予約,配車,利用者への連絡など手間が増える<br/>→デマンド運行は,タクシーとは違い乗降場所が限定されることや, 予約状況によって多少時間の遅れが生じるものであることを,利用者に理解してもらう必要がある</li> </ul> |
| 地域公共交通に対する提案     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |



### 3)西田タクシー

|                              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
|------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>タクシーの利用実態</p>             | <p>〔事業者の概要〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■保有車両台数：小型車両 12 台,ジャンボタクシー1 台</li> <li>■輸送実績：平均 20 回/日・台程度(5 年前と比較して半分以下)</li> </ul> <p>〔利用実態〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■利用者層：高齢者が中心で,その他企業関係者<br/>→ 最近は若い人の利用者も増加傾向</li> <li>■利用時間帯：午前中の利用が主であり,病院や買い物で利用<br/>※現在は 20 時以降の利用はほぼなし</li> <li>■利用実態：基本的に宇土市内<br/>→病院：吉野整形外科,尾崎医院,金森医院など<br/>買い物先：宇土シティ,ダイレックス,フレッシュくまい等<br/>※コロナにより介護施設への送迎や通院利用が減少,会社関係の空港・ホテル送迎の利用がない</li> <li>■輸送実績の動向：病院等への利用が火～水に分散</li> </ul> |
| <p>ミニバスの利用実態</p>             | <ul style="list-style-type: none"> <li>■利用者層・利用頻度：70～80 代の女性の固定客が毎回利用<br/>※運転免許非保有者</li> <li>■輸送実績の動向：<br/>→ コロナの影響はなし<br/>→ 導入当初は通常タクシーへの影響も懸念したが,影響なし<br/>※行きはミニバス利用で,帰宅時はタクシー利用もある</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| <p>ミニバスが抱える課題や<br/>課題解決策</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>■運行面 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ミニバスのドライバーについて <ul style="list-style-type: none"> <li>・現在のミニバスの運行は 1 人のドライバーを固定して運行</li> <li>・ミニバスの運行の合間はタクシーに乗っているが,時間がないため収入が少ない状況<br/>→普通のドライバーと 4～5 万円の差がついている<br/>→現ドライバーは収入が安くても問題ないためよいが,その他のドライバーは嫌がる可能性がある</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>                                                                                                                                                 |
| <p>事業継続にあたっての<br/>将来展望</p>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・他事業者との連携について <ul style="list-style-type: none"> <li>→当初は 3 社共同で対応</li> <li>→運行路線の変更は運転手の負担にもなり,ミス発生が懸念されるため,各路線を分担して運行</li> <li>→運行を継続するにあたっては,ドライバーの確保が必要</li> <li>→利用者は低価格で利用でき満足</li> </ul> </li> <li>・デマンド型の乗合タクシーについて <ul style="list-style-type: none"> <li>→通常タクシーの予約と混在し,電話対応が困難であるため,現在の運行形態がベスト</li> </ul> </li> </ul>                                                                                                                   |
| <p>地域公共交通に対する<br/>提案</p>     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民へのタクシー券の配布 <ul style="list-style-type: none"> <li>→免許返納者に対する割引も考えられるが,実施する場合は 3 社共同での実施が必要</li> </ul> </li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |

#### (4) 福祉タクシー事業者

|      |                                                                                                                                                                                                  |
|------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 調査対象 | お出かけサポートすまいるタクシー,福祉タクシーあじさい,福祉タクシーマーガレット                                                                                                                                                         |
| 調査方法 | ■web                                                                                                                                                                                             |
| 調査期間 | ■令和3年9月1日(水)～10日(金)                                                                                                                                                                              |
| 調査内容 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域公共交通利用者の実態・ニーズ(利用者からの意見・要望)</li> <li>・運行上の問題,運行に関するドライバーの意見(改善点等)</li> <li>・将来展望(人材及び車両確保,制度面,事業継続に当たっての要望等) など</li> </ul> ※新型コロナウイルス感染症の影響が大きかった時期の状況 |

##### 1) お出かけサポートすまいるタクシー

|                    |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
|--------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 福祉タクシーの利用実態        | <b>■事業概要：</b><br>福祉車両を使い,介護認定を受けている人の支援(送迎や買い物代行サービス)<br>→事業開始して2年程度<br><b>■保有車両台数：1台(1人で運転,介助等)</b><br><b>※宇土市内には5事業者</b>                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 福祉タクシーの利用実態        | <b>■利用者層：</b> 高齢者が中心(介護認定者,障がい者手帳保有者,一人で歩行が困難な方)<br>→ 高齢者が約8割<br><b>■利用者数：</b> 4回/日程度 ※最近,病院への送迎が増加<br>→ 1人あたり1～2回/月利用<br><b>■利用実態：</b> 病院への送迎<br>→ 宇土市内：金森医院,尾崎医院,宇土中央クリニックなど<br>※宇土市民は基本的に宇土市内(数か月に1回,熊本市へ)<br>※付き添いも状況に応じて実施(付き添いを行うにあたって資格は必要なし。すまいるは資格持ちが付き添う)<br>→ 利用割合 自宅から病院：施設から自宅＝6：4<br>利用時間帯 朝8：30～,夕方15～16時が多い<br>→ その他,介護付き旅行サービスを提供(阿蘇,天草など)<br><b>■同乗者等の実態：</b> 病院へは家族の同乗が多い |
| 福祉タクシーが抱える課題や課題解決策 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・地元に貢献したいという思いであり,利用者が増加すれば車両も増加を考えている</li> <li>・買い物代行も基本的に福祉タクシー利用者と同一人であるが,買い物代行を知らない人が多い</li> <li>・知り合った方にはPRしているが,買い物代行がメインにしたいくない</li> <li>・HP等でPRは行っている</li> </ul>                                                                                                                                                                              |
| 事業継続にあたっての将来展望     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・起業前に宇土市などの行政機関と事前相談できるような体制づくり</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| 地域公共交通に対する提案       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内事業者5社が連携して,個人でなく法人化することで自家用有償旅客運送への対応などは考えられる</li> <li>・タクシーチケットの対象者拡大(1級者から2級者へ)や枚数増加ができないか</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                            |

## 2) 福祉タクシーあじさい

|                    |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|--------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 福祉タクシーの利用実態        | <p>■事業概要：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主は病院の送迎。その他：買い物,郵便局,銀行等の送迎</li> <li>・支援事業として,家の片づけも行っている</li> </ul> <p>■保有車両台数：1台（定員5名：車いす2台,付き添い2人が一緒に同乗できる）</p>                                                                                                                                               |
| 福祉タクシーの利用実態        | <p>■利用者層：障がい者,介護保険認定者,車イス利用者,歩行や不自由な方,一人で公共交通機関が利用できない人を対象</p> <p>■利用者数：R1：1,800人,R2：1,500人／年（125人／月）<br/>※付き添い含む</p> <p>■利用実態：宇土市内での移動と宇土市外への移動が半々程度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 宇土市内：施設利用者（照古苑,芝光苑,西城園など）</li> <li>→ 宇土市外：熊本市や宇城市の総合病院</li> </ul> <p>■同乗者等の実態：以前は旅行や施設からの一時帰宅等が多かったが,コロナの影響で減少</p> |
| 福祉タクシーが抱える課題や課題解決策 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・特殊車両が故障した時の補助,助成が欲しい</li> </ul> <p>※利用者の方の声</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・宇土市の福祉タクシー券（基本料金免除）は12枚つづりだが,月1～2回通院する方にとってはすぐに使用してしまう。月1回の片道分もない。</li> <li>熊本市は450円の割引だが,50枚つづりと多い</li> </ul>                                                                        |
| 事業継続にあたっての将来展望     | 福祉タクシー事業者の連携を強化して,利用者のニーズに添えていく                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 地域公共交通に対する提案       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・バスとの連携</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 家⇄駅・バス停まで送迎するとき,行きや帰りのJRは問題ないが,バスは時間が読めないため送迎が難しい。</li> </ul> <p>待つ場所もないバスと連携ができればいい</p>                                                                                                                           |



### 3) 福祉タクシーマーガレット

|                  |                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| タクシーの利用実態        | <p>■事業概要：送迎サービス（自宅から病院への送迎,施設や病院から自宅への送迎や買い物など）,買い物代行サービス<br/>→事業開始して3年経過（2018 年開始）</p> <p>■保有車両台数：1 台（1 人で運転,介助等）</p>                                                                                                                                                             |
| ミニバスの利用実態        | <p>■利用者層：一人で歩行困難な高齢者が中心</p> <p>■利用者数：3～4回/週程度<br/>※昨年度までは4～5回/週程度<br/>※買い物代行支援は2 回/週程度</p> <p>■利用実態：病院が9 割<br/>→ 宇土市から宇土市内や熊本市の病院への通院や転院時に利用<br/>→ 熊本市民が宇土市の病院に来る際の利用はない<br/>※代行サービス：夕食や朝食などの日用生活品が中心<br/>→ 買い物先は宇土シティや宇城市など</p> <p>■同乗者等の実態：家族の方の付き添いや病院からであれば看護師さんが同乗する場合がある</p> |
| ミニバスが抱える課題や課題解決策 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業継続のための支援,認知度向上 <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 事業者が増加し供給過剰状態</li> <li>→ 電話帳への掲載や HP に取り組んでいるが,認知度が広がらない（基本的に先行事業者の依頼）</li> <li>→ 先行事業者は病院とタイアップ等も実施</li> </ul> </li> </ul>                                                      |
| 事業継続にあたっての将来展望   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の方が年配の方が多いため,安心して利用できる環境整備が必要</li> </ul>                                                                                                                                                                                                |
| 地域公共交通に対する提案     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・通常の公共交通と違いドア to ドアで対応が可能</li> <li>・また,色々な所に手が届く点であるが,利用者が知らないのが問題</li> </ul>                                                                                                                                                               |

## 3-4 施設アンケート調査

### (1) 流動人口データ整理

|         |                                                                                                                                                                                                         |
|---------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 調査対象    | <b>■商業施設</b><br>宇土シティモール,クロス 21UTO など<br><b>■医療施設</b><br>宇土中央クリニック,福田医院,尾崎医院,金森医院 など<br><b>■福祉関連施設</b><br>宇土市老人福祉センター・西部老人福祉センター など<br>※人流データを踏まえて設定                                                    |
| 配布・回収方法 | ■郵送による配布・回収                                                                                                                                                                                             |
| 調査方法    | ■調査票への記入式                                                                                                                                                                                               |
| 調査期間    | ■令和3年8月23日(月)～9月3日(金)                                                                                                                                                                                   |
| 調査内容    | <b>■商業施設</b><br>・施設の実態,利用者の実態<br>・地域公共交通に求めるニーズ,今後の可能性 など<br><b>■医療施設</b><br>・移動等の現状及び課題,移動支援施策等の実態<br>・地域公共交通に求めるニーズ,今後の可能性 など<br><b>■福祉関連施設</b><br>・移動等の現状及び課題,移動支援施策等の実態<br>・地域公共交通に求めるニーズ,今後の可能性 など |

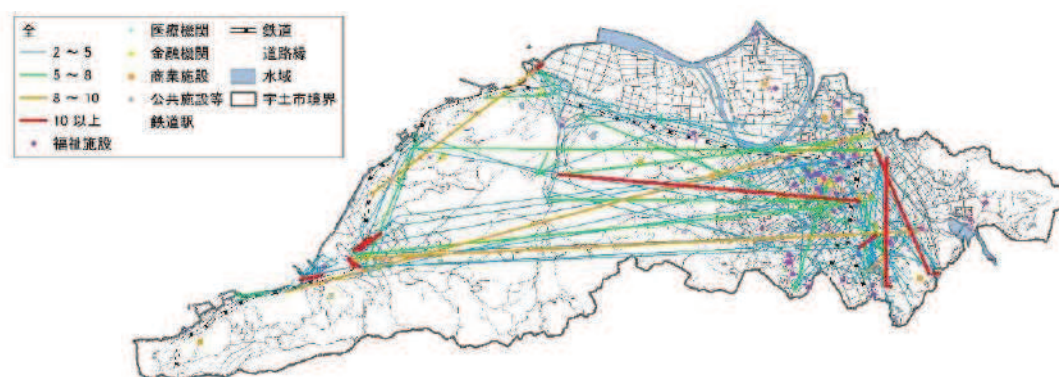
#### 1) データの概要

- ・株式会社 Agoop (ソフトバンクグループ) の「**ポイント型流動人口データ**」を活用
- ・ポイント型流動人口データは,スマートフォンアプリから収集される位置情報データを取得したものであり,15分ピッチでデータ取得
- ・位置情報データを**メッシュ単位で集計**することで,流動把握
- ・データ使用期間：**2020.11の1ヶ月間データ**

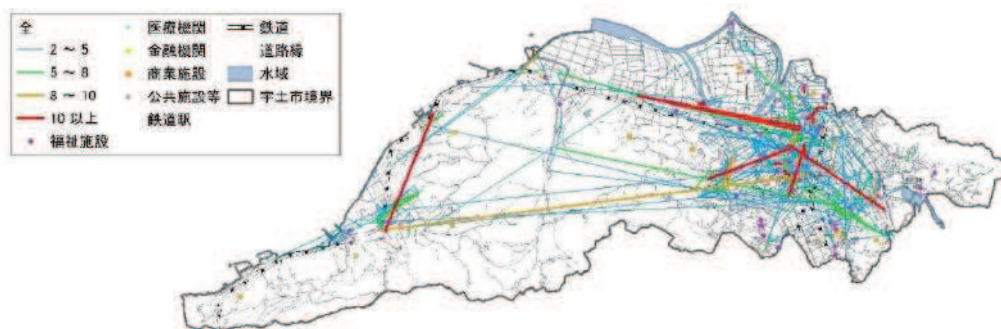
#### 2) データ整理結果

※流動を整理した線に関しては,メッシュの重心同士を結んだものであるため,施設などと一致しない

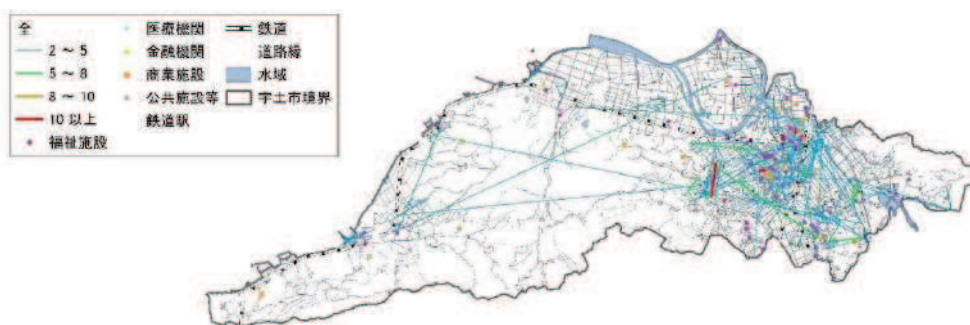
図 流動人口



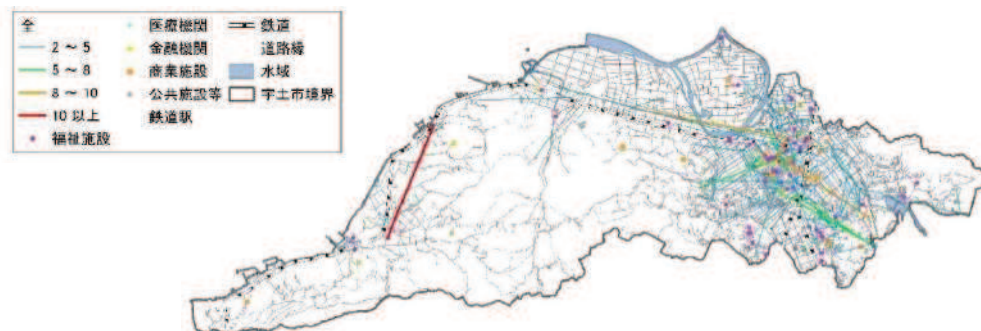
▲全体



▲平日



▲休日



▲朝時間帯



▲昼時間帯



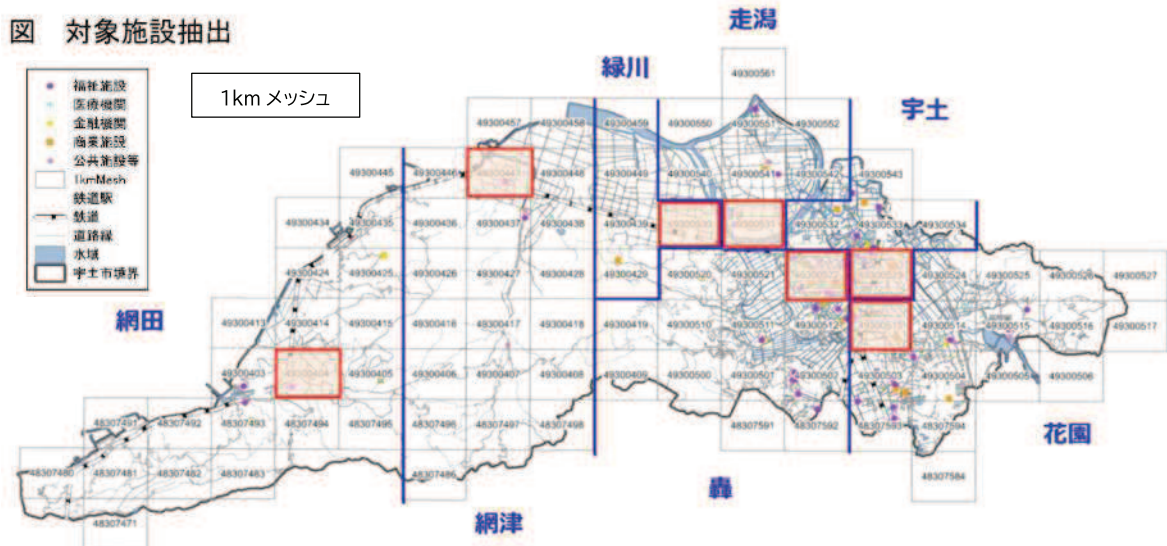
▲夕時間帯

## (2) 対象施設の抽出

### 1) 対象施設抽出の考え方

- ・流動人口データを基に,地区別に多くの人が集まる地域(1 kmメッシュ)を特定し,対象地域に立地する商業施設,医療施設,福祉施設を抽出。
- ・上記施設のうち,コンビニや小規模個人商店,障がい者施設や介護施設,保育園などは対象外。
- ・その他,歯科などについてはコミュニティバス「行長しゃん号」沿線やミニバス「のんなっせ」沿線の施設などについては対象。

図 対象施設抽出



### 2) 対象施設一覧

表 対象施設一覧

| 地域        | 分類   | 施設名                            |
|-----------|------|--------------------------------|
| 宇土<br>(轟) | 商業施設 | 株式会社コスモス薬品／ディスカウントドラッグコスモス宇土駅店 |
|           |      | フレッシュまい宇土店                     |
|           |      | マックスバリュ宇土店                     |
|           |      | 株式会社コスモス薬品／ディスカウントドラッグコスモス宇土店  |
|           |      | ダイレックス宇土店                      |
|           |      | 生活協同組合くまもとミニコープ宇土              |
|           | 医療機関 | 近藤歯科 矯正歯科                      |
|           |      | 松本歯科医院                         |
|           |      | 上野小児科医院                        |
|           |      | 森一歯科・矯正歯科医院                    |
|           |      | 中村歯科医院                         |
|           |      | もろが整形外科医院                      |
|           |      | 金森医院                           |
|           |      | 宇土中央クリニック                      |
|           |      | 吉野整形外科                         |
|           |      | 七川医院                           |
|           |      | 八木歯科医院                         |
|           |      | 福田医院                           |
|           |      | 本多医院                           |
|           |      | 村上歯科医院                         |
|           |      | 熊本パール総合歯科・矯正歯科・こども歯科クリニック宇土院   |
|           | 福祉施設 | 宇土市老人福祉センター                    |
|           |      | 社会福祉法人宇土市社会福祉協議会               |
| 花園        | 商業施設 | コメリパワー 宇土店                     |
|           |      | トライアル宇土店                       |
|           |      | 宇土シティモール                       |
|           | 医療機関 | むらかみ眼科クリニック                    |
| 走湯        | -    | -                              |
| 緑川        | 医療機関 | みどりかわクリニック                     |
| 網津        | 福祉施設 | 宇土市健康福祉館 (あじさいの湯)              |
| 網田        | 福祉施設 | 宇土市西部老人福祉センター                  |



### (3) 調査結果

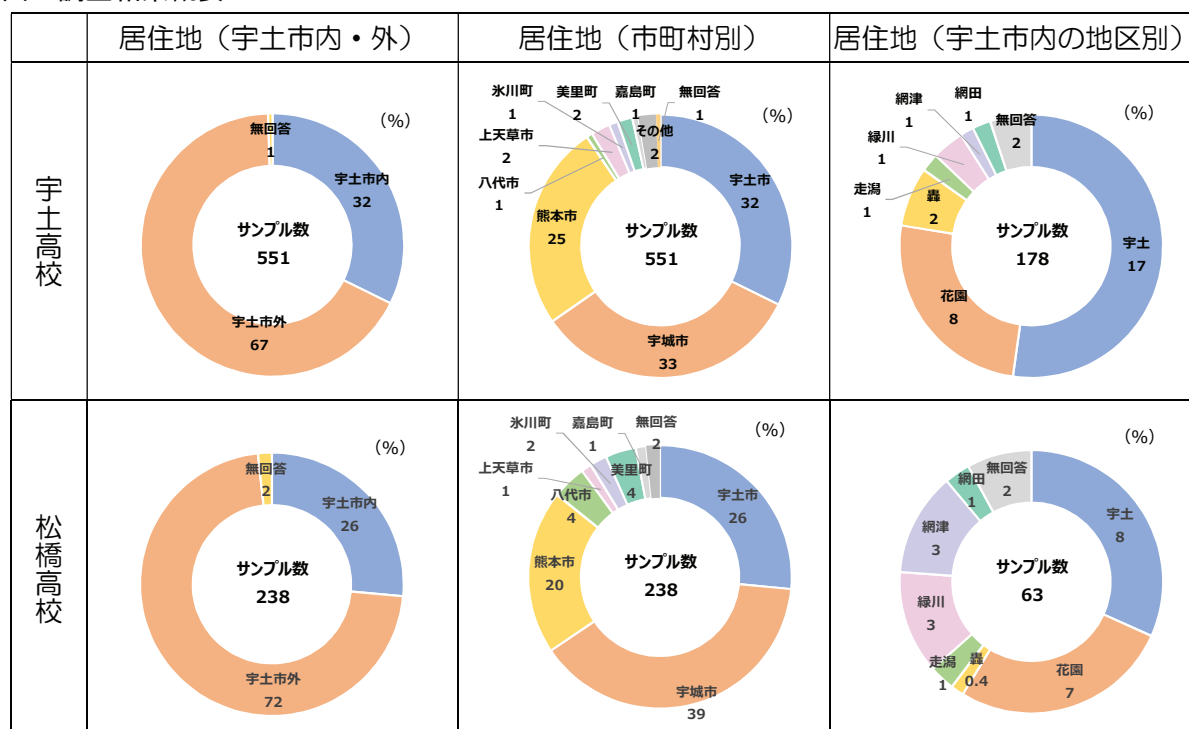
|                | 商業施設（3 施設からの回答）                                                                                                                                                                            | 医療施設（9 施設からの回答）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | 福祉施設（3 施設からの回答）                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
|----------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 施設の実態          | <b>■営業時間</b><br>基本的に 9:00 もしくは 10:00 から営業<br><b>■営業日</b><br>月曜日～日曜日を基本<br>※一部日曜日が定休日あり<br><b>■特売日</b> 年に 1 度、不定期など                                                                         | <b>■診察時間</b><br>基本的に 9:00 から診察開始<br><b>■診察日</b><br>月曜日～土曜日を基本<br><b>■予約制</b><br>3 / 9 施設で予約制あり                                                                                                                                                                                                                                                                                             | <b>■開館時間</b><br>基本的に 9:00～17:00<br>※21:00 までの施設あり<br><b>■開館日</b><br>月曜日～金曜日を基本<br><b>■休館日</b><br>土日祝日など                                                                                                                                                                                                    |
| 来訪者の実態等        | <b>■主な商圏</b><br>宇土市全域＋熊本市<br>※宇土市街地の店舗は宇城市等も商圏<br><b>■来訪者の属性</b><br>各年代万遍なく来訪<br>※高齢者が多い店舗も一部あり<br><b>■来訪者の交通手段</b><br>基本的に自動車<br><b>■公共交通での来訪実態</b><br>コミュニティバスやタクシーの利用は一部見られるものの、基本的に少ない | <b>■1 日当たりの外来者数</b><br>概ね 20～50 人（ただし、100 人程度の施設もあり ※熊本市からの来院もあり）<br><b>■来院の時間帯</b><br>基本的に午前中（9～12 時に集中）<br><b>■1 人あたりの来院頻度</b><br>1～4 回 / 月（1 回が約半分）<br><b>■来院者の居住地</b><br>宇土市全域 + α（宇城市など）<br><b>■来院者の属性</b><br>・宇土市内からの施設は高齢者が多い<br>・熊本市など広域的な利用が多い施設は各年代万遍なく利用<br><b>■来院者の交通手段</b><br>・基本的に自動車もしくは家族の送迎<br>※透析患者は施設の送迎<br><b>■公共交通での来院実態</b><br>・高齢者はタクシー利用<br>・路線バスやコミュニティバス等の利用は少ない | <b>■高齢者の移動実態</b><br>・網津、網引方面の方が、宇土市内の病院や銀行、買い物に行かれる際、センター送迎用の福祉マイクロバスやのんなっせを利用しているが、便数が少ない。<br>・買物、病院に行く方法として徒歩・マイカー・タクシー（宇土地区）産交バス（緑川・網田地区）又は当センター送迎用の福祉マイクロバスを利用している。<br>→ 課題：バス停まで距離があり、本数も少ない。センターのマイクロバスは曜日ごとに運行行程（月～金運行）が違っているので、希望する曜日に利用不可。<br><b>■買い物難民等の実態</b><br>・網津地区ではのんなっせを利用しているが、本数が少なく不便。 |
| 施設での取り組み等      | ・タクシー配車・待機への提供<br>・路線バスやコミュニティバスの待ち時間に対する休憩所の提供                                                                                                                                            | <b>■送迎サービス</b><br>2 / 9 施設で実施中 → 透析患者のみのサービスなど<br><b>■買い物支援事業等</b><br>実施している施設はなし<br><b>■その他独自に取り組んでいる移動支援施策</b><br>実施している施設はなし                                                                                                                                                                                                                                                            | <b>■買い物支援事業等</b><br>2 / 3 施設で実施<br>・網田方面の送迎の際宇土マリーナに買い物で立ち寄り（毎週水曜日）<br>・センターのマイクロバスは利用者（60 歳以上）の自宅近くまで送迎し、病院や買物をされる場合は、途中下車可能。またセンター利用者はバス料金無料。市内の多くの方に利用してもらえるように地域包括センターや関係機関に周知を依頼。<br><b>■その他独自に取り組んでいる移動支援施策</b><br>・あじさいの湯の送迎バスにて、各地域の高齢者の方を温泉へ送迎                                                    |
| 地域公共交通に求めるニーズ等 | ・コミュニティバスで来訪可能な施設では、<br>→コミュニティバスの増便、日祝日の運行、運行時間帯の見直し<br>・その他施設<br>→施設への路線バスやコミュニティバス、ミニバスの乗り入れ、施設近隣への停留所の設置<br><b>※施設と地域公共交通の結節性重視</b>                                                    | ・運行本数の充実<br>・施設へのバス乗り入れ                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | ・のんなっせの運行時間帯や本数の見直し<br>→ 温泉から帰宅時の便がない<br>・車内での手押し車を置くスペースの確保                                                                                                                                                                                                                                               |
| 地域公共交通との連携の可能性 | ・施設と連携した利用促進の実施<br>・施設内の待合所内での情報提供<br>・交通系 IC カードとの連携<br>・地域公共交通利用者に対する助成（施設内で使用可能な割引券の配布）                                                                                                 | ・施設内の待合所内での情報提供                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | ・あじさいの湯を経由するバスの増便<br>・福祉施設と連携して病院や買物に行きやすくなるような運行行程の検討<br>→気軽に安心して利用でき、高齢者が家にこもらず外に出やすく利用できるような公共交通機関となれば健康長寿に繋がる<br>・あじさい号・コミバス・ミニバスと産交バス・タクシー・JR がよりよく連携（テリトリーをなくす）                                                                                                                                      |

## (1) 調査結果概要

|         |                                                                             |
|---------|-----------------------------------------------------------------------------|
| 調査対象    | <b>■市内の高校</b><br>熊本県立宇土高等学校<br><b>■市外の高校</b><br>熊本県立松橋高等学校                  |
| 配布・回収方法 | <b>■学校を通じた配布・回収</b>                                                         |
| 調査方法    | <b>■調査票への記入式</b>                                                            |
| 調査期間    | <b>■令和3年9月1日（水）～9月10日（金）</b>                                                |
| 調査内容    | ・個人属性<br>・通学時の交通特性（利用交通手段、利用時間帯など）<br>・通学以外（帰宅時、休日などの私用）での公共交通利用状況及び行動特性 など |

- ・宇土高校の学生のうち、約 3 割が宇土市内に居住しており、その他宇城市や熊本市が多くなっています。
- ・地区別では、宇土地区や花園地区が多くなっていますが、各地区から通学する生徒が見られます。
- ・松橋高校でも同様の傾向で、約 3 割が宇土市内に居住しており、その他宇城市や熊本市が多くなっています。
- ・地区別では、宇土市区と花園地区が多くなっていますが、各地区から通学する生徒が見られます。

図 調査結果概要



## (2) 通学時の代表交通手段

- ・宇土高校の通学時の代表交通手段は、自転車が多く約 6 割を占めており、JR が約 2 割、路線バスが 6%となっています。
- ・宇土市内の居住者は、徒歩または自転車で通学していますが、網田地区からは JR で通学する生徒も見られるほか、緑川地区や網津地区、網田地区では「車で送迎」も見られる状況です。
- ・その他、宇城市や熊本市で比較的近くに住んでいる人は自転車で通学していますが、JR で通学する生徒も多く見られる状況です。
- ・松橋高校では、全体で自転車が約 5 割を占めていますが、JR で通学する生徒も約 3 割見られ、次いで「車で送迎」が 1 割強となっています。
- ・また、宇土市内から路線バスや JR で通学する生徒も見られます。

図 通学時の代表交通手段：居住地（市町村別）

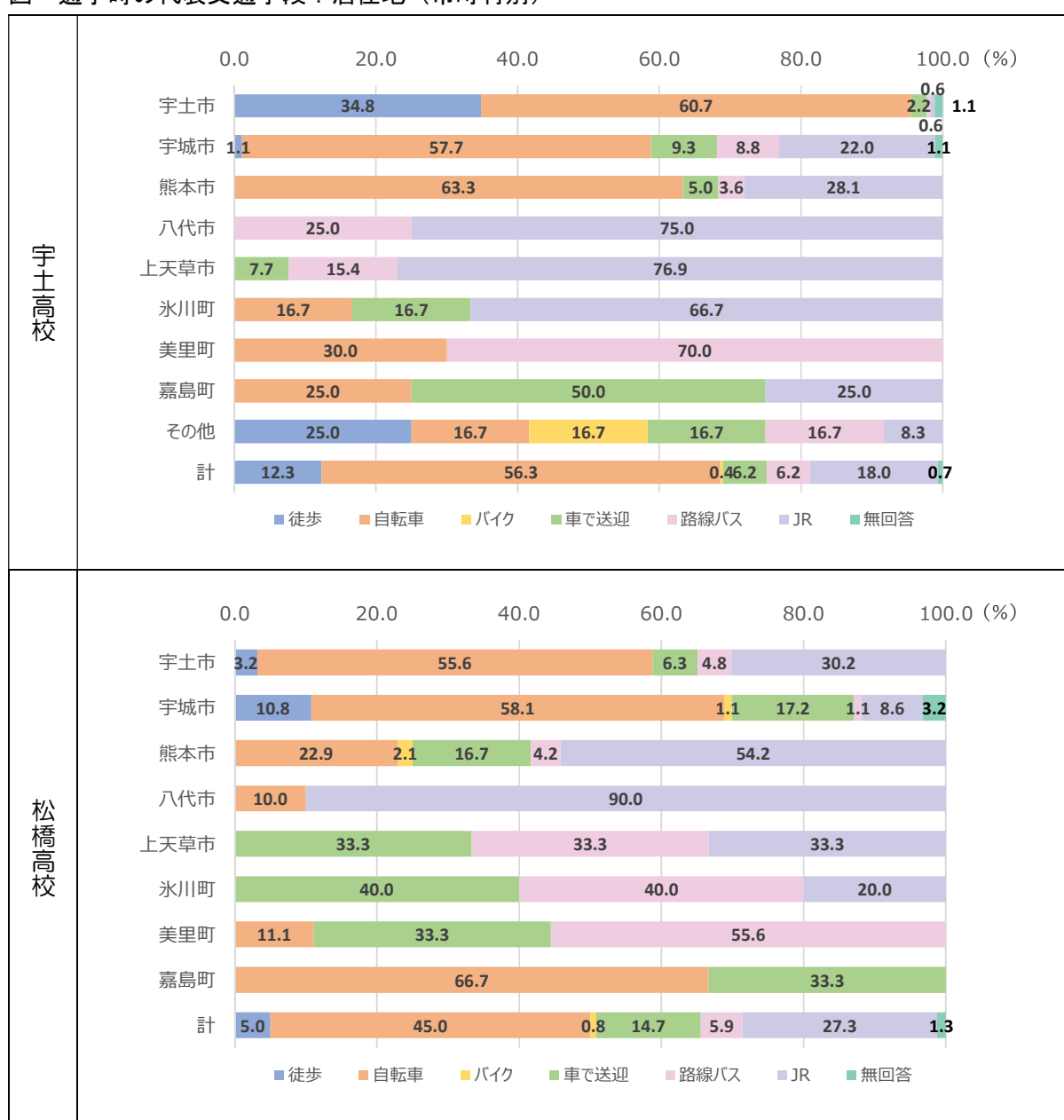
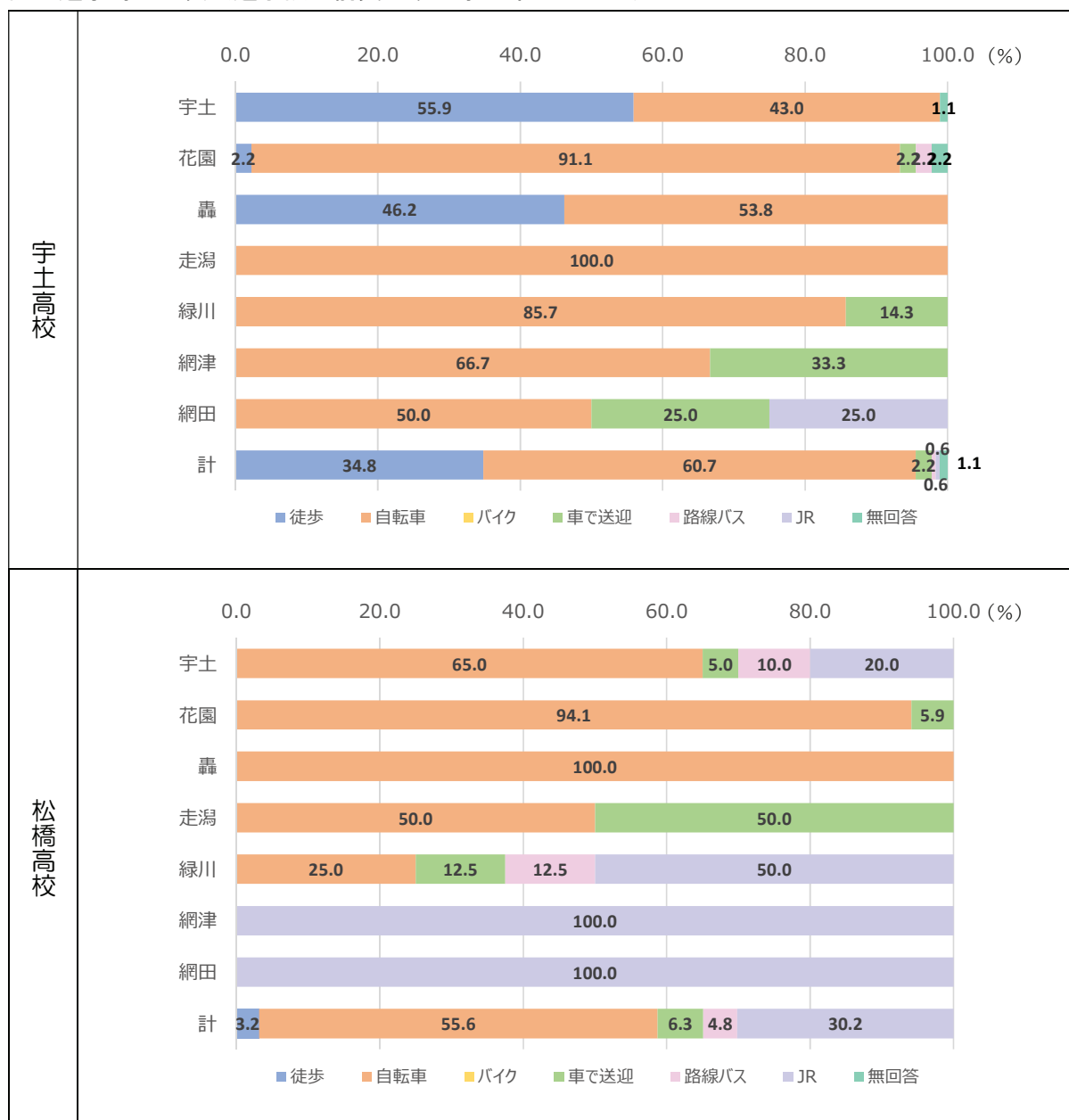


図 通学時の代表交通手段：前頁のうち宇土市内の地区別





### (3) 地域公共交通利用時のアクセス・イグレス手段

- ・自宅からバス停・駅までの交通手段は、路線バス利用者では徒歩が多い状況ですが、鉄道利用者においては、自転車や車で送迎も多い状況です。
- ・なお、路線バスと鉄道を乗り継いで通学している生徒は見られません。
- ・バス停から学校までの交通手段は、徒歩が最も多い状況です。
- ・鉄道駅から学校までの交通手段は、宇土高校では自転車が多くを占める一方、松橋高校では徒歩が多くなっています。

図 アクセス手段（自宅からバス停・駅までの交通手段）

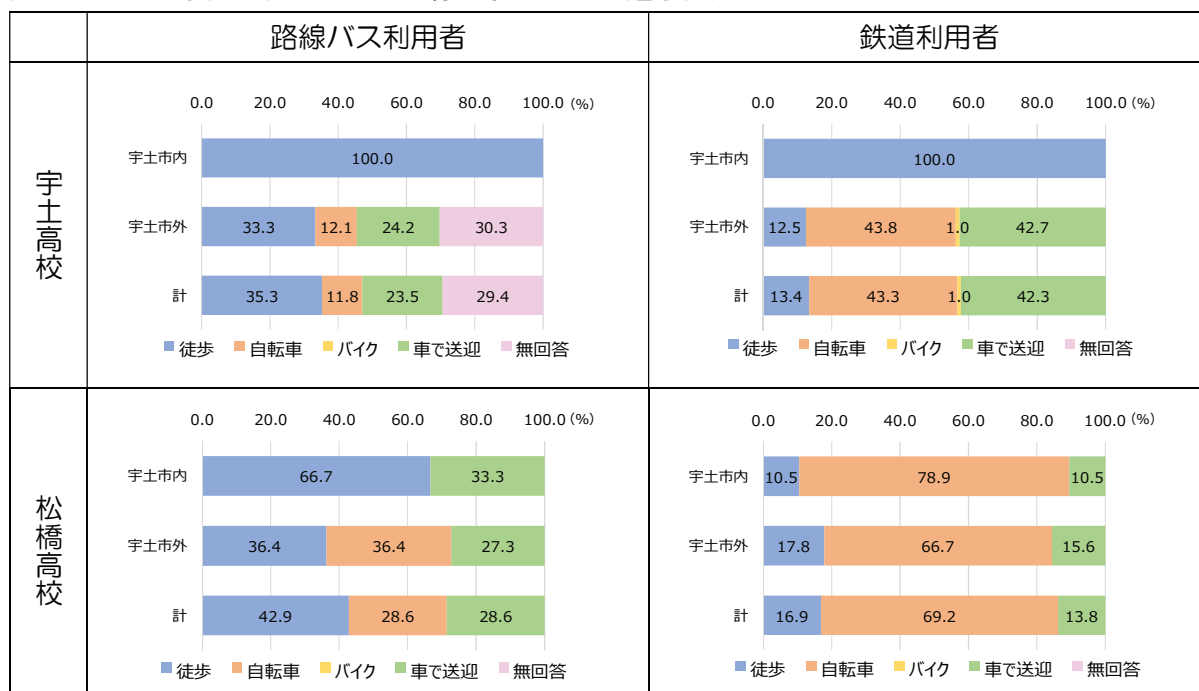
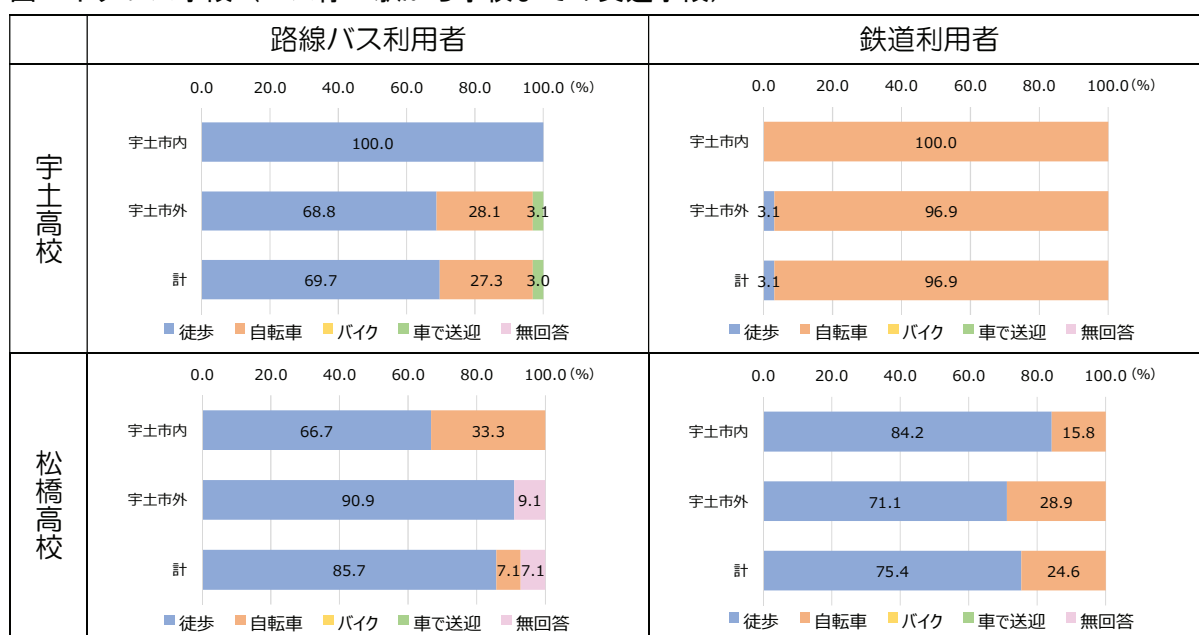


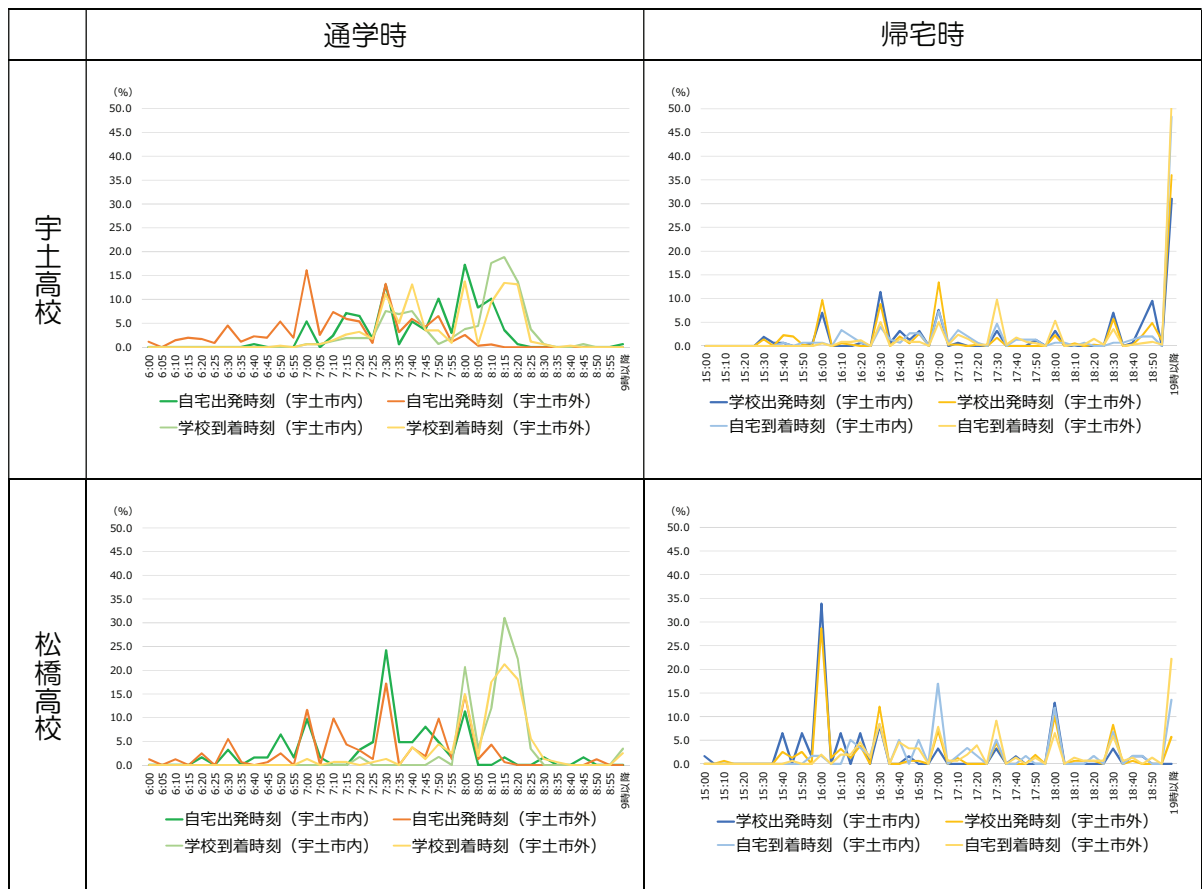
図 イグレス手段（バス停・駅から学校までの交通手段）



#### (4) 通学・帰宅時の移動時間帯

- ・通学時の移動時間帯として、宇土高校では、市内居住者は 7:00～8:00 に自宅を出発し、8:00～8:30 に学校に到着するのが多く見られます。
- ・一方、市外から通学する生徒は、7:00 以前に自宅を出発し、8:00 頃に学校に到着する生徒も多く見られます。
- ・松橋高校では、市内居住者と市外で移動時間帯が概ね一致している状況で、比較的公共交通で通学する生徒が多いことから、移動する需要が集中していることが想定されます。
- ・一方、帰宅時間帯は 16:00 以降で分散している状況で、多くの生徒が 19 時以降に自宅に到着する状況となっています。

図 通学・帰宅時の移動時間帯



## (5) 地域公共交通を利用しない理由と今後の利用意向(非利用者)

- ・地域公共交通を利用しない理由としては、両校とも「家が近い」が最も多くなっており、次いで松橋高校生は「家族が送迎してくれる」が多くなっています。
- ・その他理由においては同じような傾向となっており、「運賃が高い」を理由としている生徒は約1割、「公共交通の利用方法が分からない」を理由としている生徒は1割未満となっています。
- ・今後の地域公共交通の利用意向としては、宇土高校では約5割、松橋高校では約3割が「利用したいと思わない」と回答しており、「是非利用したい」と回答した人は数%となっています。
- ・特に、宇土高校に通学する市内居住者では利用意向が低い状況です。

図 利用しない理由（複数回答）

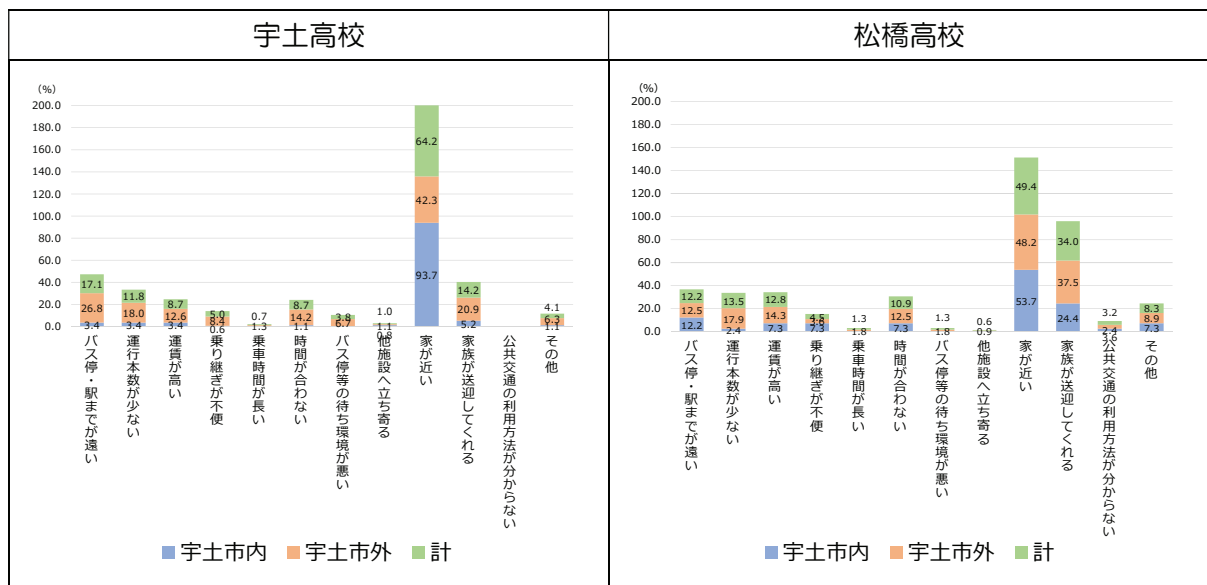
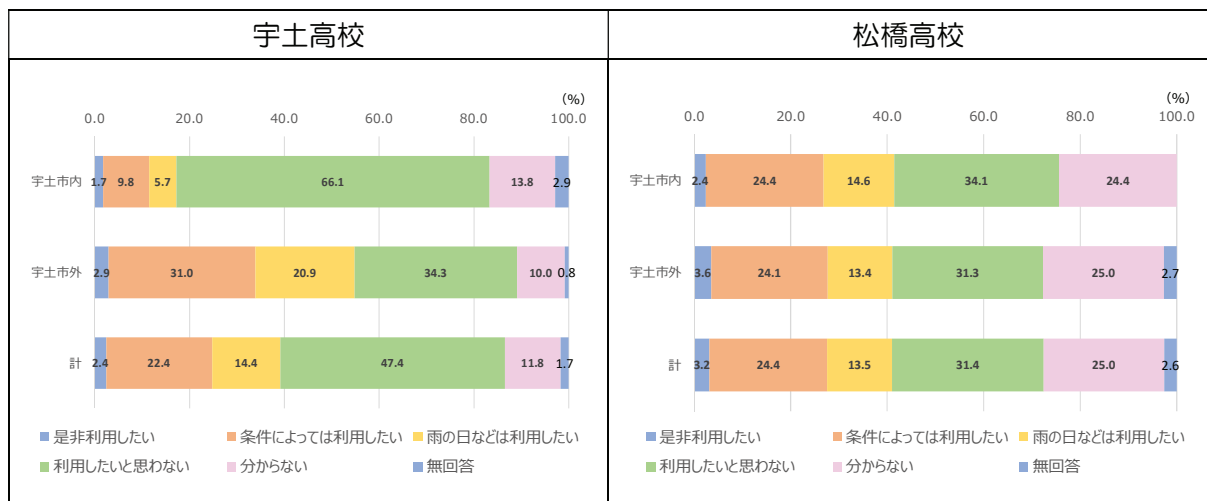


図 今後の利用意向



## (6) 地域公共交通の利用状況及び利用するにあたって重要な事項(全員)

- 日常生活における地域公共交通の利用状況は、週に1回以上利用する人が、両高校とも約2割未満となっています。
- 居住地別で比較すると、市内居住者の利用頻度が低い状況であり、通学等で利用しない地域公共交通を利用しないことで休日等での利用も少なくなることが想定されます。
- 利用するにあたって重要な事項としては、「運行本数の充実」や「運賃の安さ」が多くなっており、通学以外で利用するにあたっては費用面も大きく影響することが想定されます。
- その他、「分かりやすさ」に対する意見も比較的多くなっています。

図 地域公共交通の利用状況

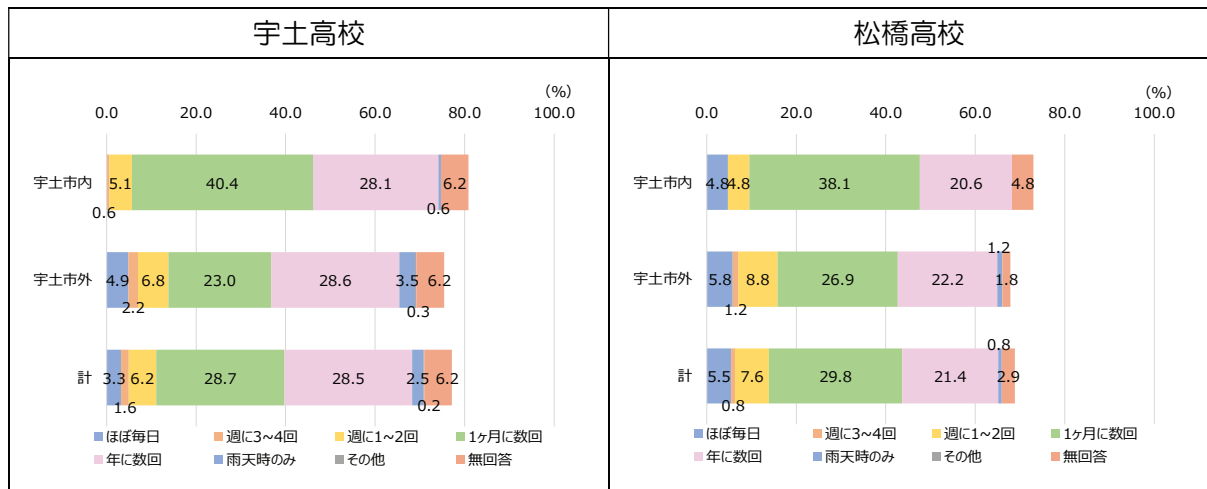
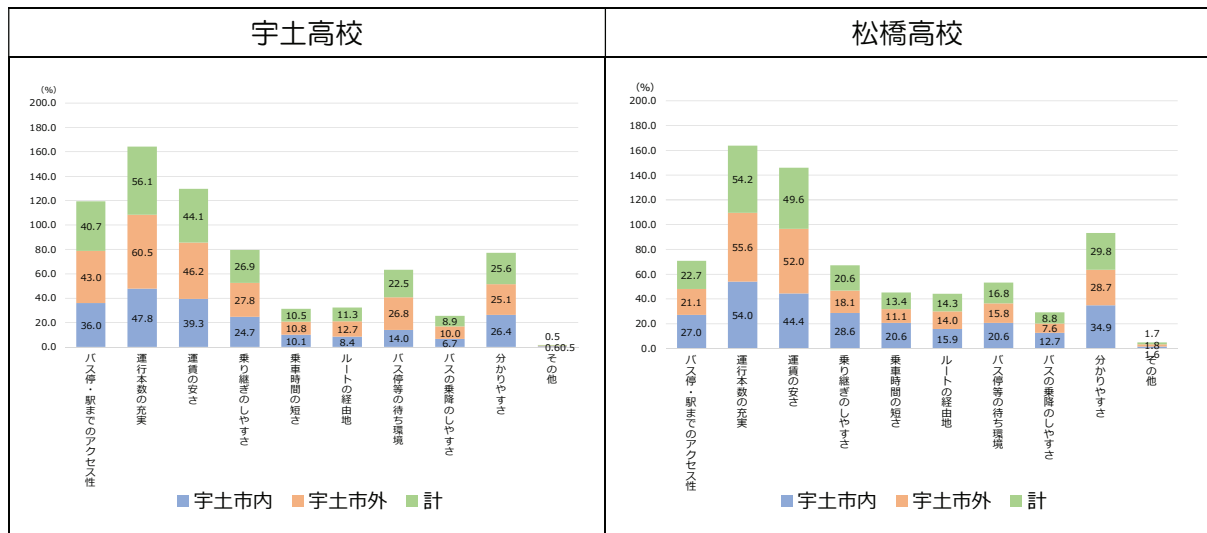


図 利用するにあたって重要な事項



## (7) 地域公共交通の維持に向けた協力意向(全員)

- ・地域公共交通の維持に向けた協力意向として、宇土高校に通学する市内居住者では約3割が「今まで利用していなかったが、今後はできるだけ利用しようと思う」と回答し、約2割が「今まで以上に公共交通を利用しようと思う」と回答するなど、継続的に情報発信を行うことで地域公共交通に対する意識の変化から行動の変化につながる事が想定されます。
- ・松橋高校に通学する市内居住者でも同様の傾向となっています。

図 地域別の協力意向

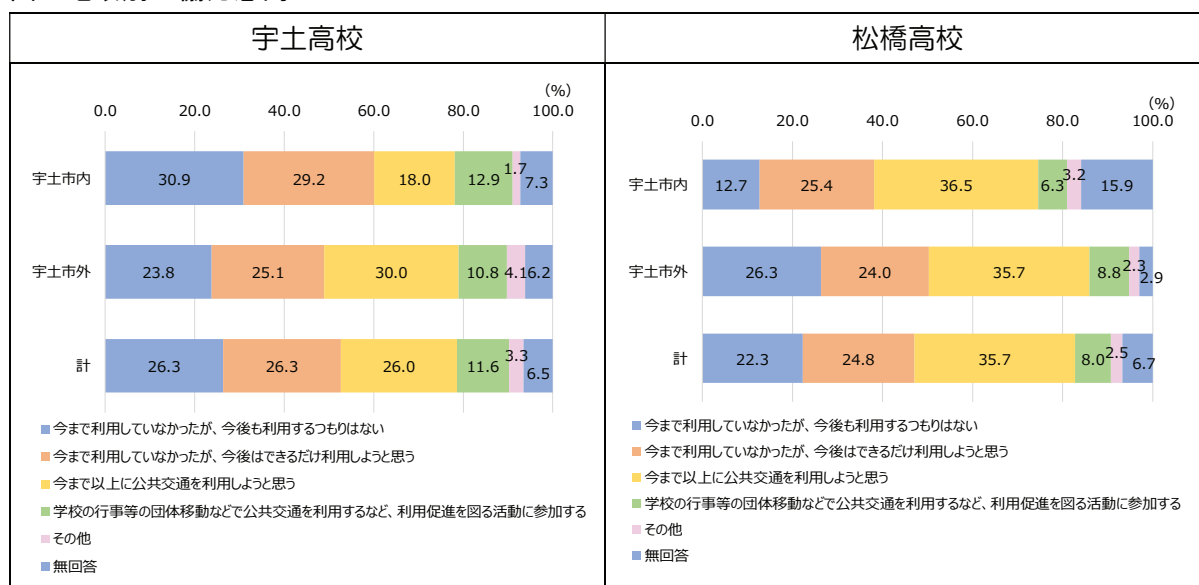
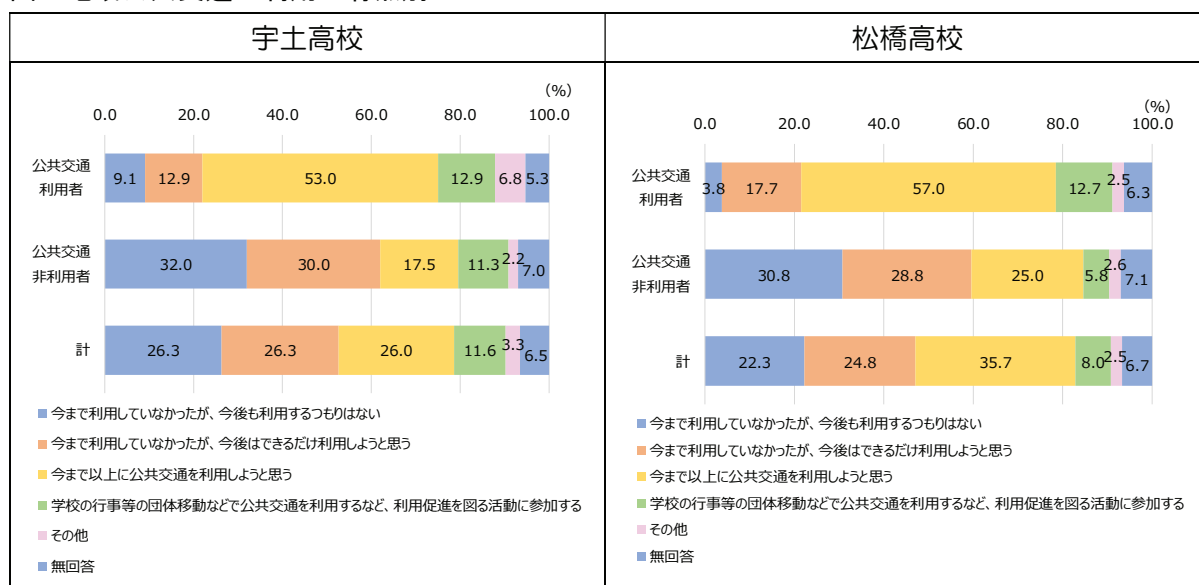


図 地域公共交通の利用の有無別



## (1) 宇土地区

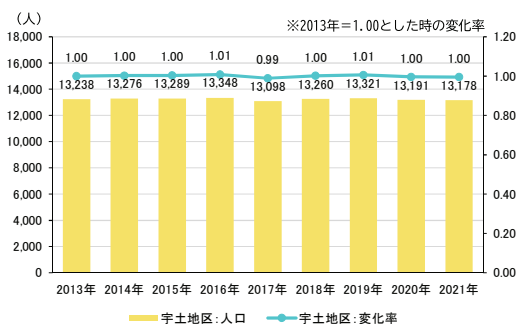
位置図



## 1) 地域の概況等

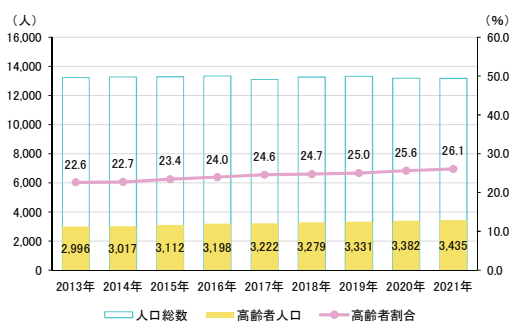
- 地区内の人口は、1万3千人程度で維持しています。
- 高齢者割合も微増傾向にあり、近年は全体の約26%が高齢者となっています。

図 地区内人口の推移と変化率



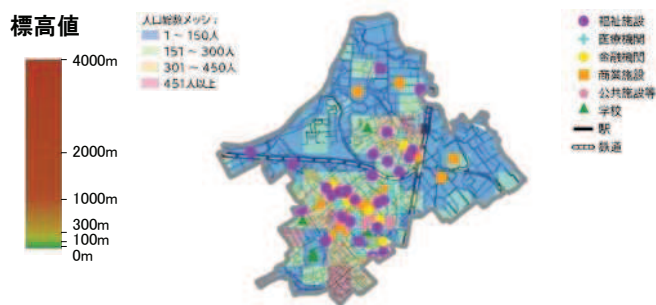
出典：国勢調査、住民基本台帳

図 高齢者割合の推移



出典：国勢調査、住民基本台帳

図 人口総数メッシュ・施設分布図



出典：国勢調査 250mメッシュ、国土地理院「電子国土 Web」

- 宇土駅を中心とした中心市街地には、様々な施設が立地しており、特に福祉施設や商業施設、医療機関が多く分布しています。
- 駅周辺は市街地が形成されていますが、北部側は農地が分布しており、人口分布も少ないです。

## 3) 地域公共交通の利用実態

- 地域公共交通の利用頻度をみると、「利用しない」が64.2%と最も多くなっていますが、「年に数回」の利用割合は他地域と比べると多いです。
- 普段利用する移動手段は、「車（運転）」の利用が63.0%と最も多く半数以上を占めており、公共交通の利用は少ないです。
- 他地区と比較して、宇土市街地に近い当該地区では「自転車」での移動が約1割と多く見られます。
- また、唯一「コミュニティバス」の利用が見られます。

図 地域公共交通の利用状況 (n=120)

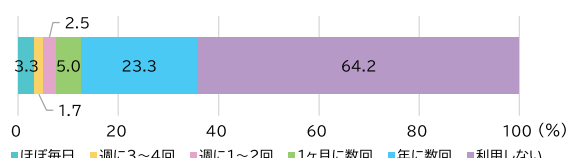
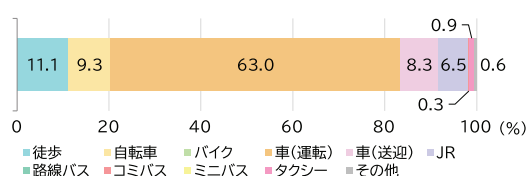


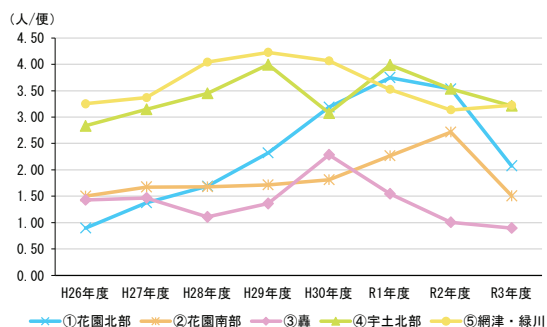
図 普段利用する移動手段 (n=324)



## 2) 地域公共交通の運行実態

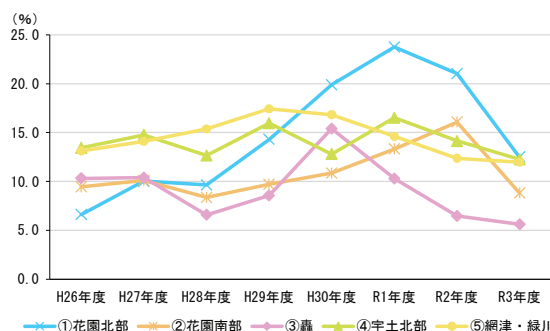
- 地区内は鉄道,路線バス,コミュニティバス(行長しゃん),ミニバス(のんなっせ)が運行しています。
- ミニバスの利用者数はおおむね現状維持であり,運賃収入割合も14%程度で推移しています。

図 ミニバス：一便当たりの利用者数



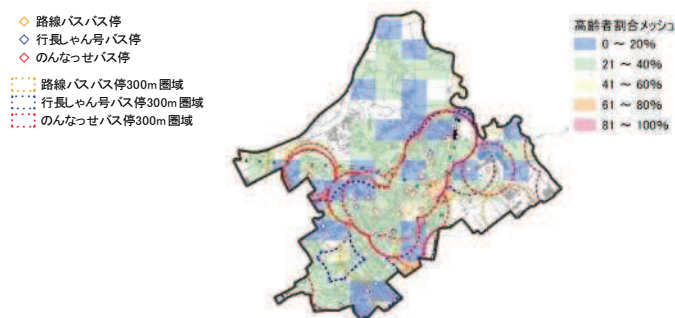
出典：宇土市資料

図 ミニバス：運行事業費に対する運賃収入割合



出典：宇土市資料

図 高齢者割合メッシュ・バス停圏域図



出典：国勢調査 250mメッシュ, 国土数値情報

- 宇土駅周辺ではサービスが重複しています。
- 面的には駅前周辺の市街地をカバーしているものの,北部側の開発が進む地域ではサービスが不十分な部分も見られます。

## 4) 地域公共交通に求めるニーズ

- 公共交通を利用しない理由は,「自家用車が楽」という理由や,「目的地まで直接行けない」ために公共交通を利用しない傾向にあります。
- 公共交通の利用において便利だと思う情報は,「時刻表」や「運行ルートと通過バス停名」の情報が重視される傾向にあります。

図 地域公共交通を利用しない理由 (n=105)

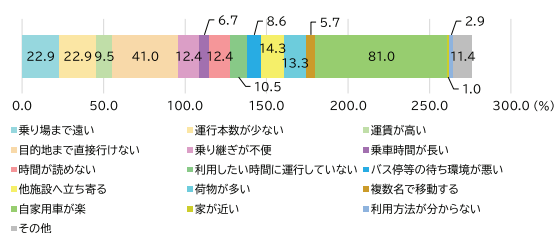
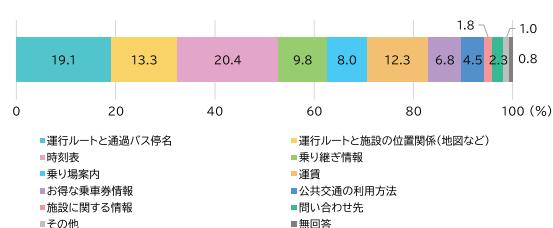


図 公共交通を利用するにあたって, 便利だと思う情報 (n=398)





## (2) 花園地区

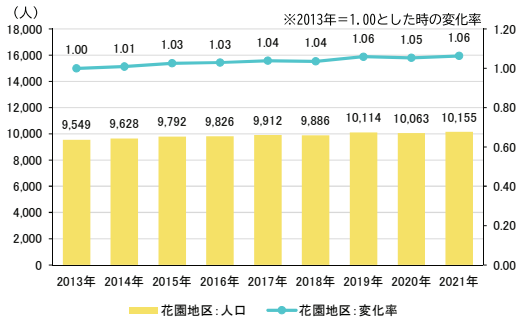
### 1) 地域の概況等

- 地区内の人口は、微増傾向にあります。
- 高齢者割合も微増傾向にあり、近年は全体の約 25%が高齢者となっています。

位置図

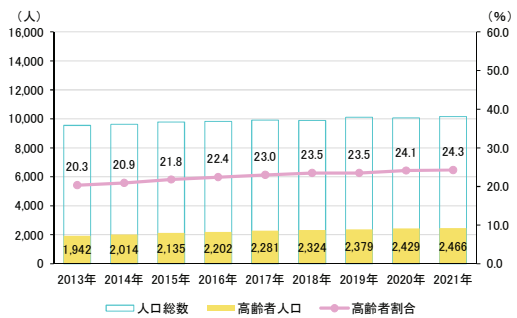


図 地区内人口の推移と変化率



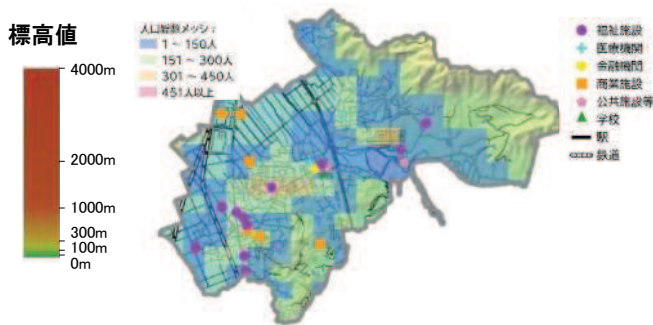
出典：国勢調査、住民基本台帳

図 高齢者割合の推移



出典：国勢調査、住民基本台帳

図 人口総数メッシュ・施設分布図



出典：国勢調査 250m メッシュ、国土地理院「電子国土 Web」

- 住宅地開発が盛んであったため、農地と住宅地が多く分布しています。
- 地区内には様々な施設が立地しており、その周辺に人口が分布しています。
- 地区内は商業施設と福祉施設が主に立地しており、医療機関や学校などもあります。

### 3) 地域公共交通の利用実態

- 地域公共交通の利用頻度をみると、「利用しない」が 67.4%と最も多くなっており、「年に数回」の利用割合は他地域と比べると多いです。
- 普段利用する移動手段は、「車（運転）」の利用が 69.7%と最も多く半数以上を占めており、公共交通の利用は少ないです。
- 他地区と比較して、宇土市街地に近い当該地区では、「自転車」での移動が約 1 割と多く見られます。

図 地域公共交通の利用状況 (n=92)

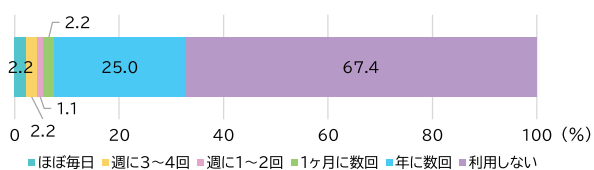
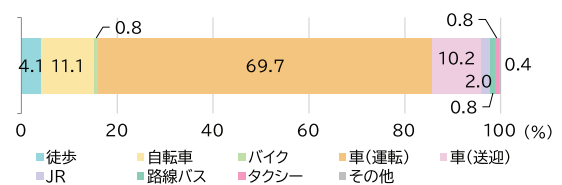


図 普段利用する移動手段 (n=244)

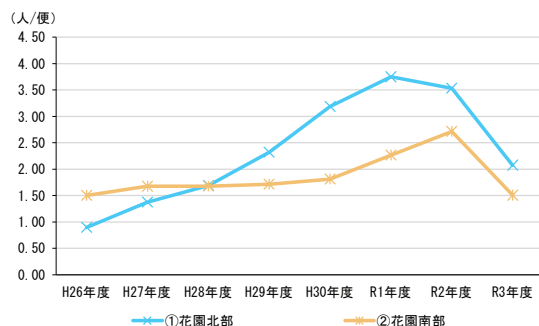




## 2) 地域公共交通の運行実態

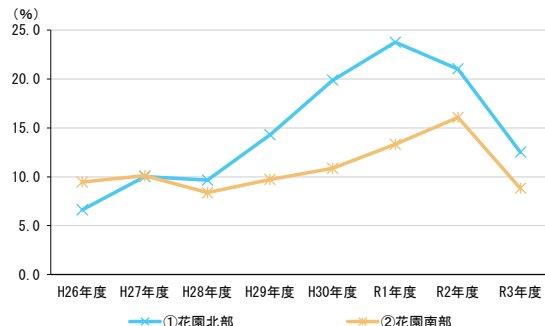
- 地区内は路線バス、コミュニティバス（行長しゃん）、ミニバス（のんなっせ）が運行しています。
- ミニバスの利用者数は年々微増傾向にあり、それに伴い運賃収入割合も増加しています。

図 ミニバス：一便当たりの利用者数



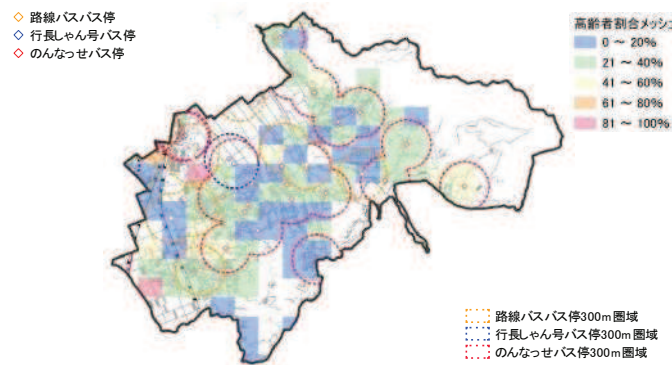
出典：宇土市資料

図 ミニバス：運行事業費に対する運賃収入割合



出典：宇土市資料

図 高齢者割合メッシュ・バス停圏域図



出典：国勢調査 250mメッシュ、国土数値情報

• 面的には多くの地域をカバーしているものの、バスの運行本数やバス停までのアクセス性に差があります。

## 4) 地域公共交通に求めるニーズ

- 公共交通を利用しない理由は、「自家用車が楽」という理由により、公共交通を利用しない傾向にあります。
- 公共交通の利用において便利だと思う情報は、「時刻表」や「運行ルートと通過バス停名」の情報が重視される傾向にあります。

図 地域公共交通を利用しない理由 (n=85)

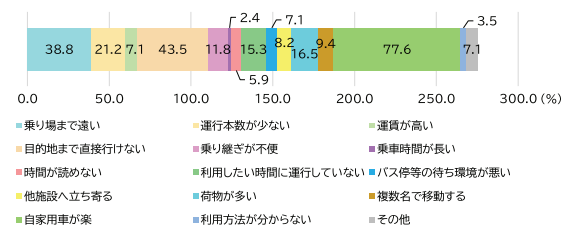
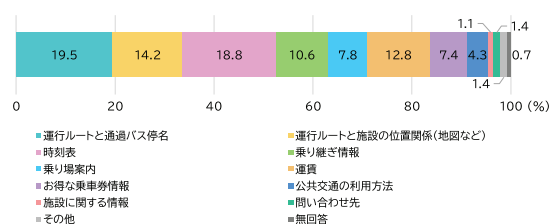


図 公共交通を利用するにあたって、便利だと思う情報 (n=282)



### (3) 轟地区

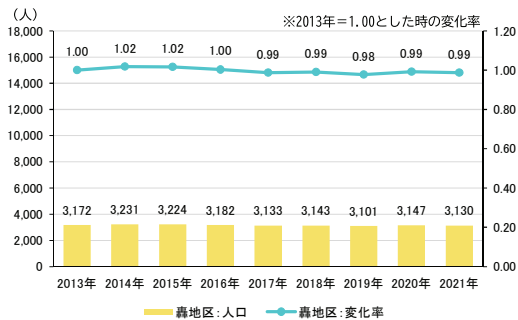
#### 1) 地域の概況等

- 地区内の人口は、3千人程度で維持しています。
- 高齢者割合も増加傾向にあり、近年は全体の約30%が高齢者となっています。

位置図

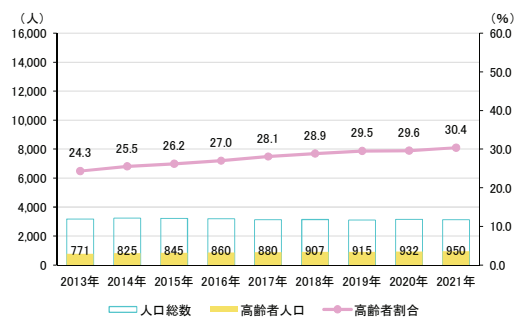


図 地区内人口の推移と変化率



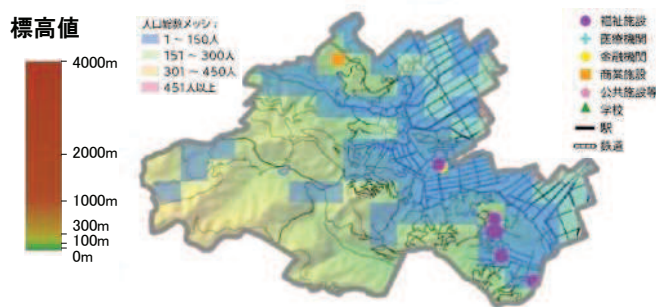
出典：国勢調査, 住民基本台帳

図 高齢者割合の推移



出典：国勢調査, 住民基本台帳

図 人口総数メッシュ・施設分布図



出典：国勢調査 250mメッシュ, 国土地理院「電子国土Web」

- 宇土地区に面する地域では、中心市街地に近いこともあり、多くの施設が立地しており、その周辺に農地が分布しています。
- 西側は森林地帯となっており、人口はほとんど分布していません。

#### 3) 地域公共交通の利用実態

- 地域公共交通の利用頻度をみると、「利用しない」が77.1%と最も多いです。
- 1ヶ月以内に複数回利用する割合は5.7%となっており、利用頻度が低いです。
- 普段利用する移動手段は、「車（運転）」の利用が68.8%と最も多く半数以上を占めており、公共交通の利用は少ないです。

図 地域公共交通の利用状況 (n=35)

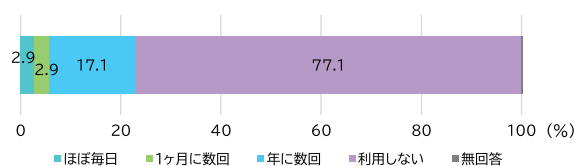
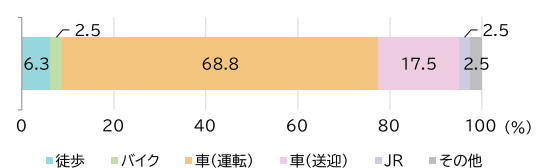


図 普段利用する移動手段 (n=80)

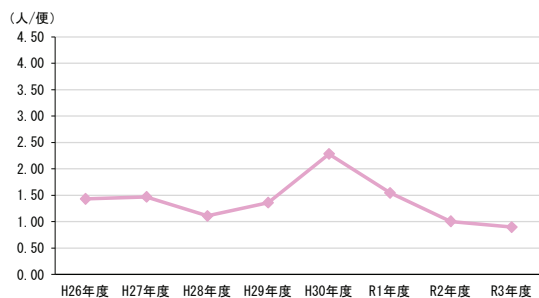


## 2) 地域公共交通の運行実態

- ・地区内は路線バス,コミュニティバス(行長しゃん),ミニバス(のんなっせ)が運行しています。
- ・ミニバスの利用者数はH30年度までは微増傾向にあったが,以降は減少傾向にあります。

図 ミニバス(轟線)

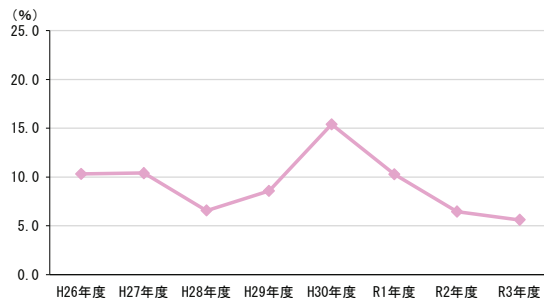
: 一便当たりの利用者数



出典: 宇土市資料

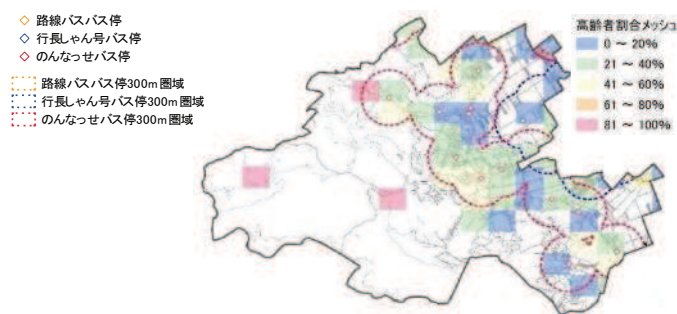
図 ミニバス(轟線)

: 運行事業費に対する運賃収入割合



出典: 宇土市資料

図 高齢者割合メッシュ・バス停圏域図



出典: 国勢調査 250mメッシュ, 国土数値情報

- ・面的には高齢者が分布する地域をおおむねカバーしているものの,バスの運行本数やバス停までのアクセス性に差があります。

## 4) 地域公共交通に求めるニーズ

- ・公共交通を利用しない理由は,「自家用車が楽」という理由により公共交通を利用しない傾向にあります。
- ・他地区と比べて,「乗り場まで遠い」ことが多く割合を占めています。
- ・公共交通の利用において便利だと思う情報は,「時刻表」や「運行ルートと通過バス停名」,「運行ルートと施設の位置関係(地図など)」の情報が重視される傾向にあります。

図 地域公共交通を利用しない理由 (n=33)

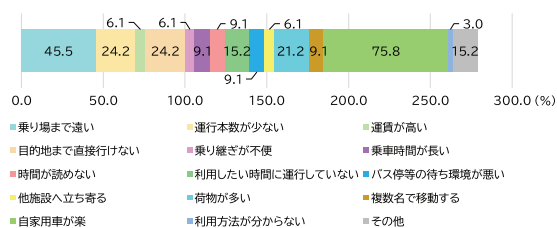
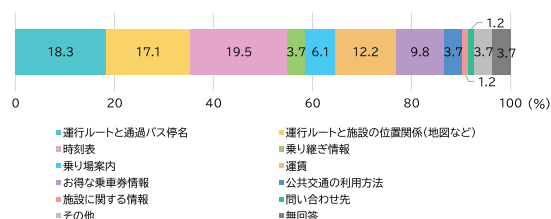


図 公共交通を利用するにあたって, 便利だと思う情報 (n=82)



#### (4) 走潟地区

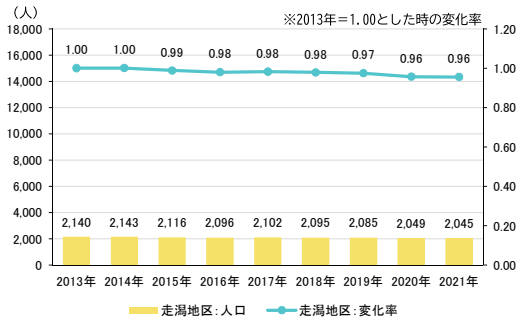
位置図



##### 1) 地域の概況等

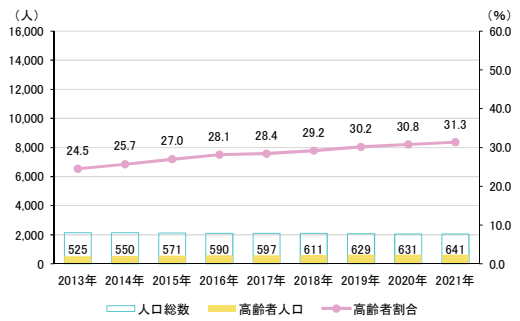
- 地区内の人口は、微減傾向にあります。
- 高齢者割合は増加傾向にあり、近年は全体の約 30%が高齢者となっています。

図 地区内人口の推移と変化率



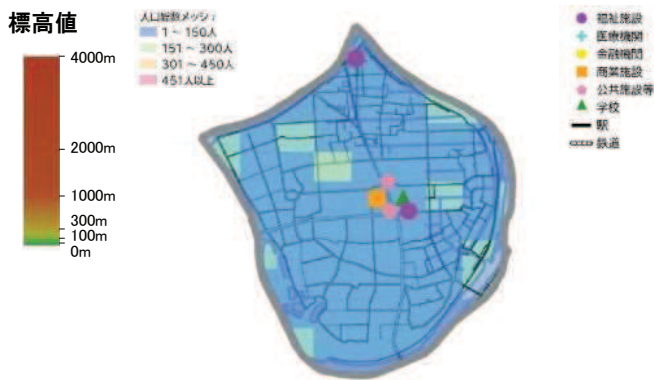
出典：国勢調査, 住民基本台帳

図 高齢者割合の推移



出典：国勢調査, 住民基本台帳

図 人口総数メッシュ・施設分布図



- 浜戸川で他地区と分離した地区であり、農地と住宅が混在しているため、分布する人口は少ないです。
- 走潟小学校中心に体育館や公民館などの施設が立地しています。

出典：国勢調査 250mメッシュ, 国土地理院「電子国土 Web」

##### 3) 地域公共交通の利用実態

- 地域公共交通の利用頻度をみると、「利用しない」が81.3%と最も多いです。
- 1ヶ月以内に複数回利用する割合は12.5%となっており、利用頻度が低いです。
- 普段利用する移動手段は、「車（運転）」の利用が75.8%と最も多く半数以上を占めており、「車（送迎）」と合わせてみると、より公共交通の利用は少ないです。

図 地域公共交通の利用状況 (n=16)

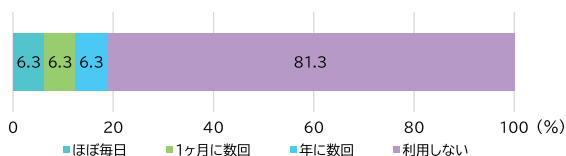
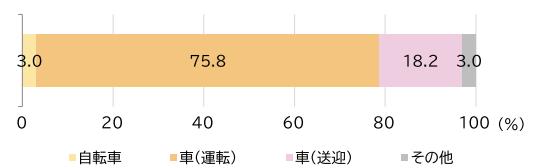


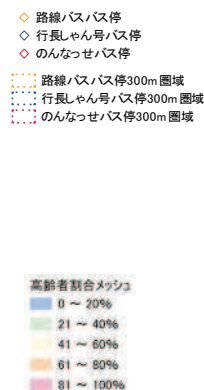
図 普段利用する移動手段 (n=33)



## 2) 地域公共交通の運行実態

- 地区内はミニバス（のんなっせ）が運行しています。
- コミュニティバス（行長しゃん）の運行はなく、既存の公共交通でおおむねの地域をカバーしていましたが、2021年8月の一部路線バスの廃止に伴い、ミニバスの運行区間の見直しを行いました。

図 高齢者割合メッシュ・バス停圏域図



出典：国勢調査 250mメッシュ、国土数値情報

図 走潟線バス路線廃止状況



出典：産交バス資料

## 4) 地域公共交通に求めるニーズ

- 公共交通を利用しない理由は、「自家用車が楽」という理由により公共交通を利用しない傾向にあります。
- 他地区と比べて、「乗り場まで遠い」ことが占めています。
- 公共交通の利用において便利だと思う情報は、「時刻表」や「運行ルートと通過バス停名」の情報が重視される傾向にあります。

図 地域公共交通を利用しない理由 (n=14)

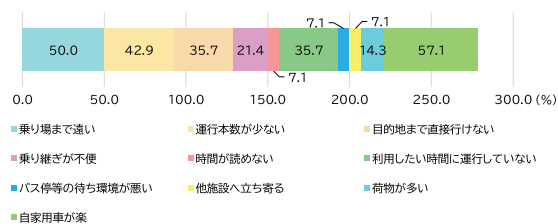
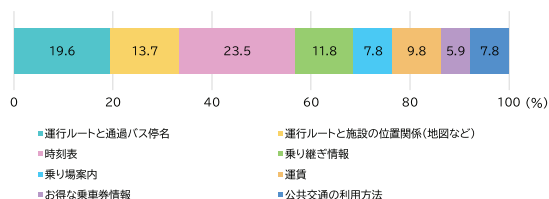


図 公共交通を利用するにあたって、便利だと思う情報 (n=51)





## (5) 緑川地区

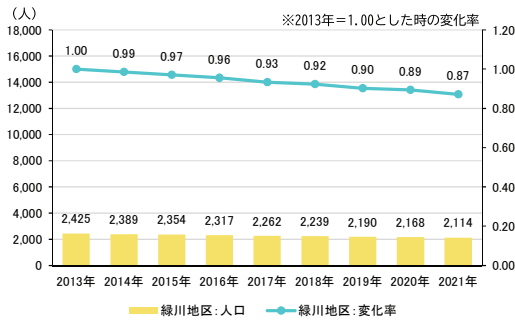
位置図



### 1) 地域の概況等

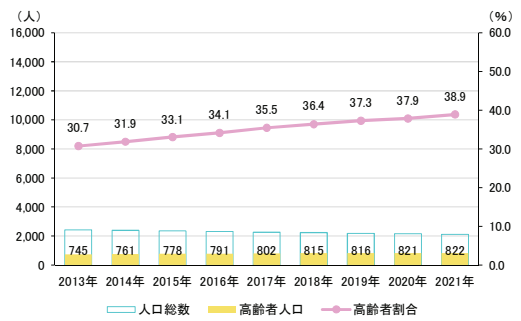
- 地区内の人口は、減少傾向にあり、2013年と比較して2021年には約300人減少しています。
- 高齢者割合も増加傾向にあり、近年は全体の約40%が高齢者となっています。

図 地区内人口の推移と変化率



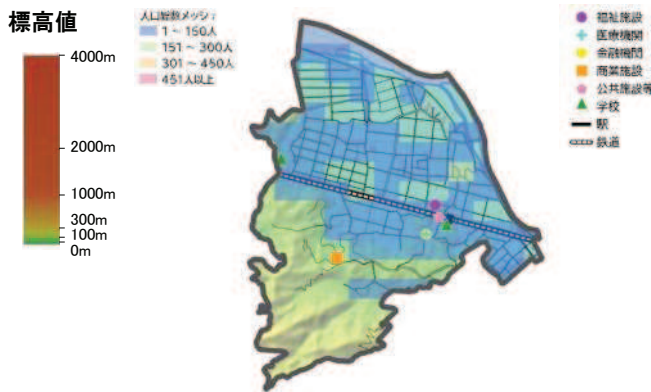
出典：国勢調査, 住民基本台帳

図 高齢者割合の推移



出典：国勢調査, 住民基本台帳

図 人口総数メッシュ・施設分布図



- 緑川駅を境界に、北側が農地、南側が森林地帯となっており、農地内には小規模な集落が形成されています。
- 緑川駅周辺に施設が立地しています。

出典：国勢調査 250mメッシュ, 国土地理院「電子国土 Web」

### 3) 地域公共交通の利用実態

- 地域公共交通の利用頻度をみると、「利用しない」が81.8%と最も多いです。
- 1ヶ月以内に複数回利用する割合は9.1%となっており、利用頻度が低いです。
- 普段利用する移動手段は、「車（運転）」の利用が91.7%と最も多くほとんどの割合を占めており、「車（送迎）」と合わせると、より公共交通の利用は少ないです。

図 地域公共交通の利用状況 (n=11)

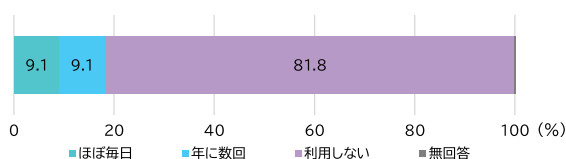
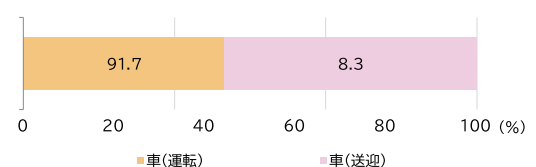


図 普段利用する移動手段 (n=24)

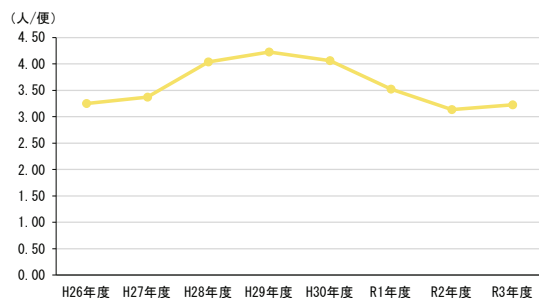


## 2) 地域公共交通の運行実態

- 地区内は鉄道,路線バス,ミニバス（のんなっせ）が運行しています。
- ミニバスの利用者数は H29 年度までは微増傾向にありましたが,以降は減少傾向にあります。

図 ミニバス（網津・緑川線）

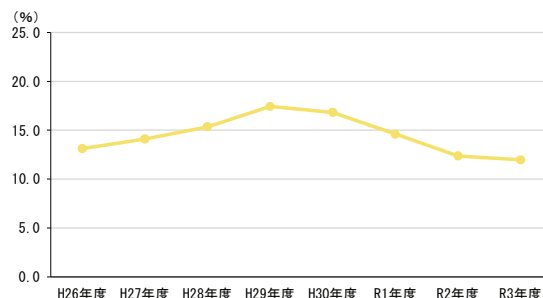
：一便当たりの利用者数



出典：宇土市資料

図 ミニバス（網津・緑川線）

：運行事業費に対する運賃収入割合



出典：宇土市資料

図 高齢者割合メッシュ・バス停圏域図

- ◇ 路線バスバス停
- ◇ 行長しゃん号バス停
- ◇ のんなっせバス停
- 路線バスバス停300m圏域
- 行長しゃん号バス停300m圏域
- のんなっせバス停300m圏域



- 高齢者割合メッシュ
- 0 ~ 20%
- 21 ~ 40%
- 41 ~ 60%
- 61 ~ 80%
- 81 ~ 100%

- 面的には多くの地域をカバーしているものの,バスの運行本数やバス停までのアクセス性に差があります。

出典：国勢調査 250mメッシュ, 国土数値情報

## 4) 地域公共交通に求めるニーズ

- 公共交通を利用しない理由は,「自家用車が楽」という理由により公共交通を利用しない傾向にあります。
- 公共交通の利用において便利だと思う情報は,「時刻表」や「運行ルートと通過バス停名」,「運行ルートと施設の位置関係（地図など）」の情報が重視される傾向にあります。

図 地域公共交通を利用しない理由 (n=10)

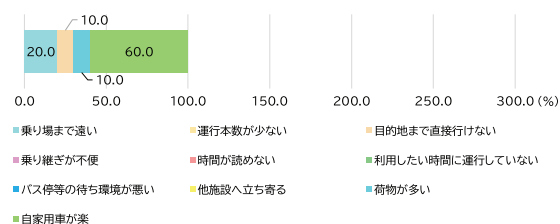
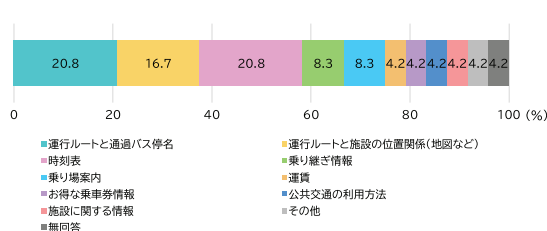


図 公共交通を利用するにあたって, 便利だと思う情報 (n=24)



## (6) 網津地区

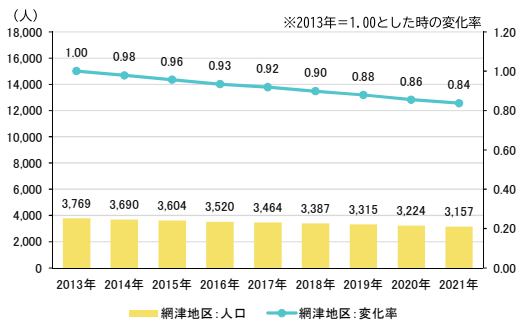
位置図



### 1) 地域の概況等

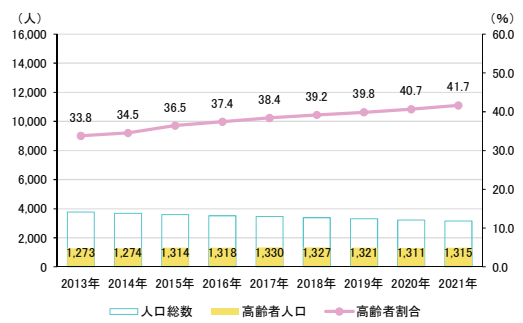
- 地区内の人口は、減少傾向にあり、2013 年と比較して 2021 年には約 600 人減少しています。
- 高齢者割合も増加傾向にあり、近年は全体の約 40%が高齢者となっています。

図 地区内人口の推移と変化率



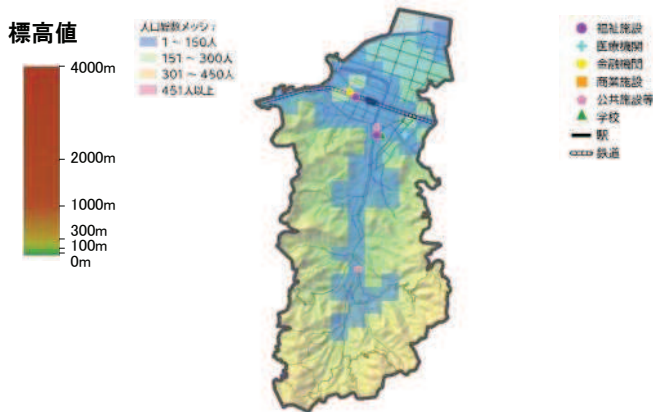
出典：国勢調査, 住民基本台帳

図 高齢者割合の推移



出典：国勢調査, 住民基本台帳

図 人口総数メッシュ・施設分布図



出典：国勢調査 250mメッシュ, 国土地理院「電子国土 Web」

- 地区内は南部の森林地帯が大部分を占めており、鉄道（三角線）と主要地方道である県道 58 号沿いに人口が分布しています。
- 住吉駅周辺に福祉施設などが分布していますが、商業施設が地区内に立地していないため、買い物は地区外への移動が必要になると考えられます。

### 3) 地域公共交通の利用実態

- 地域公共交通の利用頻度をみると、「利用しない」が 82.1%と最も多いです。
- 1 ヶ月以内に複数回利用する割合は 3.6%となっており、利用頻度が低いです。
- 普段利用する移動手段は、「車（運転）」の利用が最も多く 73.0%で半数以上を占めており、「車（送迎）」と合わせると、より公共交通の利用は少ないです。

図 地域公共交通の利用状況 (n=28)

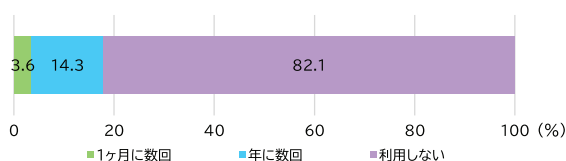
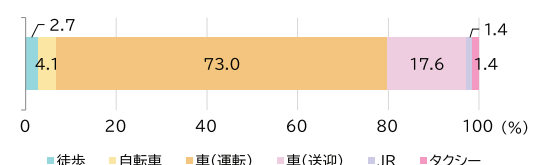


図 普段利用する移動手段 (n=28)



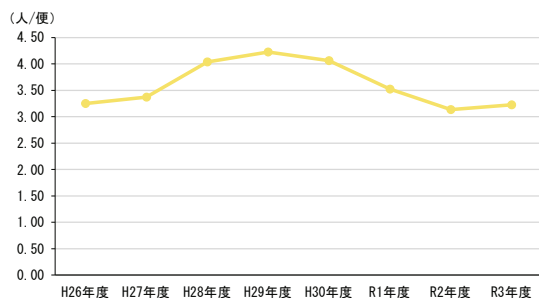


## 2) 地域公共交通の運行実態

- 地区内は鉄道,路線バス,ミニバス（のんなっせ）が運行しています。
- ミニバスの利用者数はH29年度までは微増傾向にあったが,以降は減少傾向にあります。

図 ミニバス（網津・緑川線）

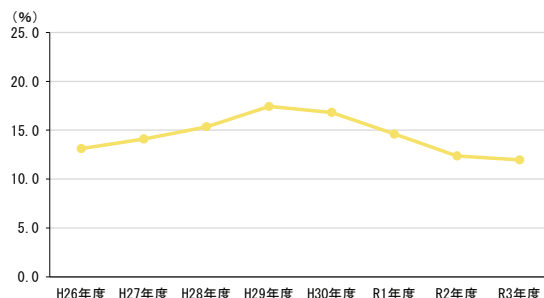
：一便当たりの利用者数



出典：宇土市資料

図 ミニバス（網津・緑川線）

：運行事業費に対する運賃収入割合



出典：宇土市資料

図 高齢者割合メッシュ・バス停圏域図

- ◇ 路線バスバス停
- ◇ 行長しゃん号バス停
- ◇ のんなっせバス停
- 路線バスバス停300m圏域
- 行長しゃん号バス停300m圏域
- のんなっせバス停300m圏域



- 高齢者割合メッシュ
- 0 ~ 20%
- 21 ~ 40%
- 41 ~ 60%
- 61 ~ 80%
- 81 ~ 100%

- 面的にはミニバスにより,多くの地域をカバーしているものの,バスの運行本数やバス停までのアクセス性に差があります。

出典：国勢調査 250mメッシュ, 国土数値情報

## 4) 地域公共交通に求めるニーズ

- 公共交通を利用しない理由は,「自家用車が楽」という理由により公共交通を利用しない傾向にあります。
- 公共交通の利用において便利だと思う情報は,「運行ルートと通過バス停名」や「運賃」,「時刻表」の情報が重視される傾向にあります。

図 地域公共交通を利用しない理由 (n=27)

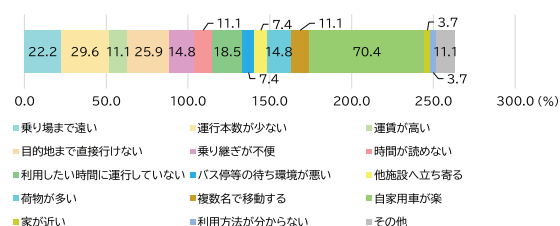
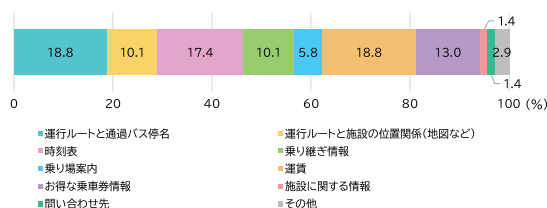


図 公共交通を利用するにあたって, 便利だと思う情報 (n=69)



## (7) 網田地区

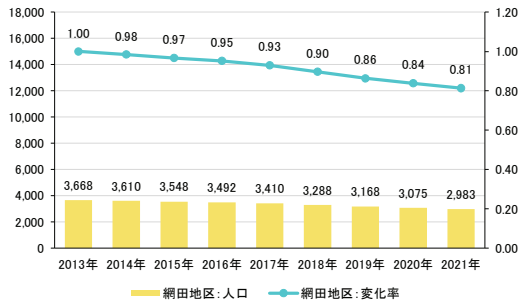
位置図



### 1) 地域の概況等

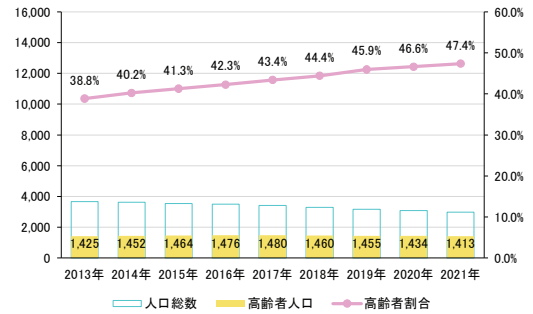
- 地区内の人口は、減少傾向にあり、2013年と比較して2021年には約700人減少しています。
- 高齢者割合も増加傾向にあり、近年は全体の約50%が高齢者となっています。

図 地区内人口の推移と変化率



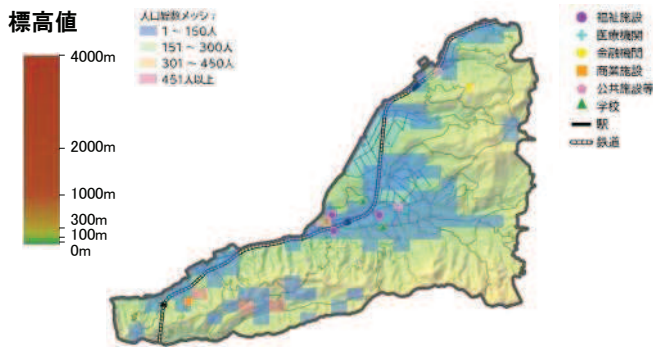
出典：国勢調査, 住民基本台帳

図 高齢者割合の推移



出典：国勢調査, 住民基本台帳

図 人口総数メッシュ・施設分布図



出典：国勢調査 250mメッシュ, 国土地理院「電子国土Web」

- 北部の海沿いに農地が分布し、南部は森林地帯がほぼ占めています。
- 地区内には、肥後長浜駅と網田駅、赤瀬駅があり、網田駅周辺に福祉施設などが立地しています。

### 3) 地域公共交通の利用実態

- 地域公共交通の利用頻度をみると、「利用しない」が60.0%と最も多いですが、「年に数回」の利用割合は他地域と比べると多いです。
- 普段利用する移動手段は、「車（運転）」の利用が75.7%と最も多く半数以上を占めており、「車（送迎）」と合わせてみると、より公共交通の利用は少ないです。
- 一方、他地域と比べ「JR」の利用が多く見られます。

図 地域公共交通の利用状況 (n=15)

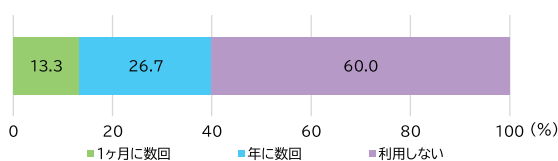
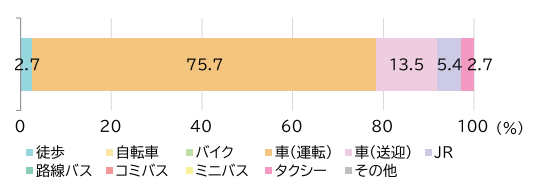


図 普段利用する移動手段 (n=37)

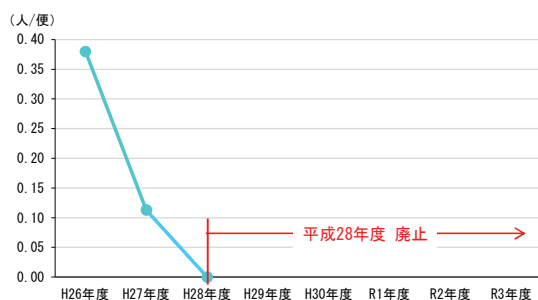


## 2) 地域公共交通の運行実態

- ・地区内は鉄道と路線バス、デマンドバスが運行しています（ミニバスは H28 年度に廃止）。
- ・肥後長浜駅、網田駅、赤瀬駅の一日の平均乗客数は宇土駅や住吉駅と比較して著しく少ないです。

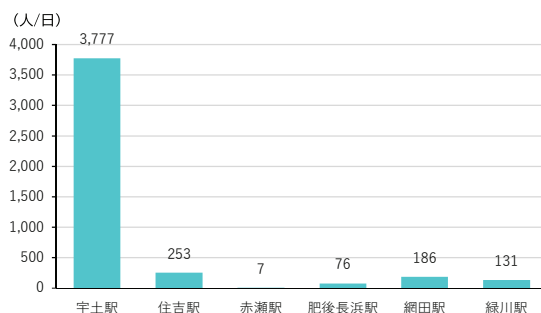
図 ミニバス（網田線）

：一便当たりの利用者数



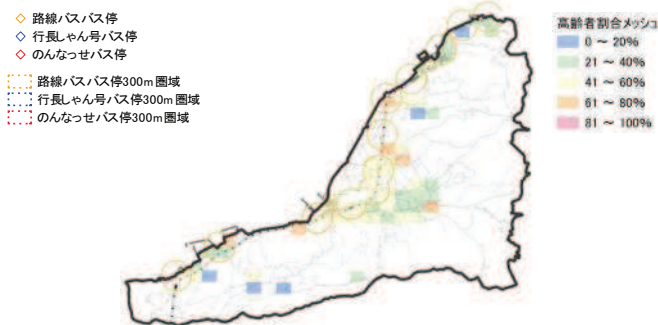
出典：宇土市資料

図 宇土市内駅別一日の平均乗車数（2018 年）



出典：国土数値情報

図 高齢者割合メッシュ・バス停圏域図



出典：国勢調査 250mメッシュ, 国土数値情報

- ・高齢者が分布する地域が面的にカバーできていないエリアがあり、公共交通空白地域が見られます。

## 4) 地域公共交通に求めるニーズ

- ・公共交通を利用しない理由は、「自家用車が楽」という理由により公共交通を利用しない傾向にあります。
- ・また、「目的地まで直接行けない」ことも理由として多く見られます。
- ・公共交通の利用において便利だと思う情報は、「運賃」や「運行ルートと通過バス停名」、「時刻表」の情報が重視される傾向にあります。

図 地域公共交通を利用しない理由（n=13）

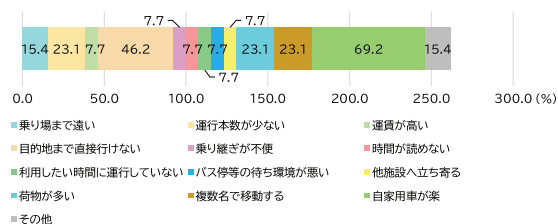
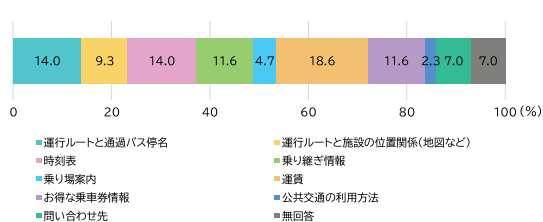


図 公共交通を利用するにあたって、便利だと思う情報（n=43）



## (8) 地区別の現況等の整理結果

|      | ①地域の概況等                                                                                                         | ②地域公共交通の運行実態                                                                                                                            | ③地域公共交通の利用実態                                                                                                                                                                                                           | ④地域公共交通に求めるニーズ                                                                                                                                                                  |
|------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 宇土地区 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・地区内の人口は、現状維持</li> <li>・高齢者割合も微増傾向にあり、近年は全体の約26%が高齢者となっている</li> </ul>    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・鉄道、路線バス、コミバス、ミニバスが運行</li> <li>・面的には駅前周辺の市街地をカバーしているものの、北部側の開発が進む地域ではサービスが不十分な部分も見られる</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・公共交通を利用しない割合は64.2%と最も多いが「年に数回」の利用割合は他地域と比べると多い</li> <li>・移動手段は、「車（運転）」の利用が多く、公共交通の利用は少ない</li> <li>・他地区と比較して、宇土市街地に近いため、「自転車」利用が見られる</li> <li>・唯一、「コミュニティバス」の利用が見られる</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「自家用車が楽」という理由や、「目的地まで直接行けない」ために公共交通を利用しない傾向にある</li> <li>・公共交通の利用において、「時刻表」や「運行ルートと通過バス停名」の情報が重視される</li> </ul>                           |
| 花園地区 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・地区内の人口は、微増傾向にある</li> <li>・高齢者割合も微増傾向にあり、近年は全体の約25%が高齢者となっている</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・路線バス、コミバス、ミニバスが運行</li> <li>・面的には既存の公共交通が多く、地域をカバーしている</li> </ul>                                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・公共交通を利用しない割合は67.4%と最も多いが「年に数回」の利用割合は他地域と比べると多い</li> <li>・移動手段は、「車（運転）」の利用が多く、公共交通の利用は少ない</li> <li>・他地区と比較して、宇土市街地に近いため、「自転車」利用が見られる</li> </ul>                                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「自家用車が楽」という理由により公共交通を利用しない傾向にある</li> <li>・公共交通の利用において、「時刻表」や「運行ルートと通過バス停名」の情報が重視される</li> </ul>                                          |
| 轟地区  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・地区内の人口は、現状維持</li> <li>・高齢者割合も増加傾向にあり、近年は全体の約30%が高齢者となっている</li> </ul>    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・路線バス、コミバス、ミニバスが運行</li> <li>・面的には既存の公共交通が高齢者の分布する地域をおおむねカバーしている</li> </ul>                       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・公共交通を利用しない割合(77.1%)に対して、1ヶ月以内に複数回利用する割合は5.7%となっており、公共交通の利用頻度は低い</li> <li>・移動手段は、「車（運転）」の利用が最も多く、半数以上を占めている</li> </ul>                                                          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「自家用車が楽」という理由により公共交通を利用しない傾向にある</li> <li>・他地区と比べて「乗り場まで遠い」ことが多く割合を占めている</li> <li>・公共交通の利用において、「時刻表」や「運行ルートと通過バス停名」等の情報が重視される</li> </ul> |
| 走湯地区 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・地区内の人口は、微減傾向にある</li> <li>・高齢者割合は増加傾向にあり、近年は全体の約30%が高齢者となっている</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ミニバスが運行</li> <li>・路線バスの廃止に伴い、ミニバスの運行区間の見直しが行われたが、既存の公共交通でおおむねの地域をカバーしている</li> </ul>             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・公共交通を利用しない割合(81.3%)に対して、1ヶ月以内に複数回利用する割合は12.5%となっており、公共交通の利用頻度は低い</li> <li>・移動手段は、「車（運転）」の利用が最も多く、半数以上を占めている</li> </ul>                                                         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「自家用車が楽」という理由により公共交通を利用しない傾向にある</li> <li>・他地区と比べて「乗り場まで遠い」ことが多く割合を占めている</li> <li>・公共交通の利用において、「時刻表」や「運行ルートと通過バス停名」の情報が重視される</li> </ul>  |
| 緑川地区 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・地区内の人口は、減少傾向</li> <li>・高齢者割合も増加傾向にあり、近年は全体の約40%が高齢者となっている</li> </ul>    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・鉄道、路線バス、ミニバスが運行</li> <li>・面的には既存の公共交通が多く、地域をカバーしている</li> </ul>                                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・公共交通を利用しない割合(81.8%)に対して、1ヶ月以内に複数回利用する割合は9.1%となっており、公共交通の利用頻度は低い</li> <li>・移動手段は、「車（運転）」の利用がほとんどの割合を占めている</li> </ul>                                                            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「自家用車が楽」という理由により公共交通を利用しない傾向にある</li> <li>・公共交通の利用において、「時刻表」や「運行ルートと通過バス停名」等の情報が重視される</li> </ul>                                         |
| 網津地区 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・地区内の人口は、減少傾向</li> <li>・高齢者割合も増加傾向にあり、近年は全体の約40%が高齢者となっている</li> </ul>    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・鉄道、路線バス、ミニバスが運行</li> <li>・面的には既存の公共交通が多く、地域をカバーしている</li> </ul>                                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・公共交通を利用しない割合は(82.1%)に対して、1ヶ月以内に複数回利用する割合は3.6%となっており、公共交通の利用頻度は低い</li> <li>・移動手段は、「車（運転）」の利用が最も多く、半数以上を占めている</li> </ul>                                                         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「自家用車が楽」という理由により公共交通を利用しない傾向にある</li> <li>・公共交通の利用において、「運賃」や「運行ルートと通過バス停名」等の情報が重視される</li> </ul>                                          |
| 網田地区 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・地区内の人口は、減少傾向</li> <li>・高齢者割合も増加傾向にあり、近年は全体の約50%が高齢者となっている</li> </ul>    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・鉄道、路線バス、デマンドバスが運行</li> </ul>                                                                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・公共交通を利用しない割合は60.0%と最も多いが「年に数回」の利用割合は他地域と比べると多い</li> <li>・移動手段は、「車（運転）」の利用が最も多く、半数以上を占めている</li> <li>・他地域と比べ、「JR」の利用が多く見られる</li> </ul>                                           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「自家用車が楽」という理由や、「目的地まで直接行けない」ために公共交通を利用しない傾向にある</li> <li>・公共交通の利用において、「運賃」や「運行ルートと通過バス停名」等の情報が重視される</li> </ul>                           |